



2025年度

南蔵王南手城幹線・7-1

福山市 東深津町四丁目 地内

自転車通行空間整備工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計		第1回変更
	工事延長	L=235.4m	
	道路幅員	W=16.0m	
	排水工	L=176.6m	
	舗装工	A=386m ²	
	縁石工	L=96.1m	
	集水柵工	N=9基	
	道路植栽撤去工（高木）	N=30本	
	道路植栽撤去工（低木）	A=167m ²	
	信号機設備移設工	N=2台	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、自転車通行空間整備工事（南蔵王南手城幹線・7-1）に適用する。また、本特記仕様書に「令和7年度改訂交通信号機等工事共通仕様書」（別紙）を含むものとする。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和6年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 地権者への承諾

- ・地権者に官地内の境界杭等の有無を確認すること。境界杭等がある場合は工事完了後、復旧することとし、地権者が境界杭等はないと回答をした場合であっても、境界杭等の有無を確認しながら、施工しなければならない。受注者は地権者と現地で立会を行い、境界杭等の有無、位置等の確認を行うこととし、事前、事後に写真記録を行い、適切に管理すること。
- ・受注者は、工事着手に先立ち、地権者に民地への出入の位置を確認し、歩道切り下げ箇所、民地進入路の位置や勾配について監督員と協議すること。

第5節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第6節 情報共有システム

- 1 本工事は、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
- 4 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
- 5 受注者は、情報共有システムの利用にあたり、情報共有システム利用手引に基づき運用すること
- 6 工事情報共有システムの完了後のデータ受取方法について
作成者：受注者
納品方法：CD、DVD
作成方法：「情報共有システム→共有書類・検査支援→一括ダウンロードしたデータ」

第7節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第8節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第2章 材料

第1節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章 施工条件

第1節 関係機関との協議

- ・協議先機関名：広島県警察本部、福山東警察署
- ・協議内容：信号機設備の移設、通信ケーブル配線について
- ・協議先機関名：福山市上下水道局
- ・協議内容：工事に支障となる配水管について
- ・協議先機関名：中国電力（株）
- ・協議内容：工事に支障となる電柱移設について
- ・協議先機関名：西日本電信電話（株）
- ・協議内容：工事に支障となる架空ケーブル移設、埋設ケーブルについて
- ・協議先機関名：福山ガス（株）
- ・協議内容：工事に支障となるガス管について

第2節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第3節 借地

- ・面積：100m²
- ・期間：床掘、構造物据付、埋戻しまでの期間
- ・復旧方法：借地範囲を整地して返すこと。

第4節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第5節 建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

1 建設廃棄物処理計画書

- ・ 廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
- ・ 廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）
- ・ 運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
- ・ 各処分場の現地確認写真
- ・ 建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し

2 再生資源利用計画書

3 再生資源利用促進計画書

(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

1 再生資源利用実施書

2 再生資源利用促進実施書

3 建設廃棄物処理実施書

- ・ マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し
(マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。)
- ・ 収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第6節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

・ 当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

・ 搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

・ 実施伝票は原本を提出すること。

第7節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
- ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

第8節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
- 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
- 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
- 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - (2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
- 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第9節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

- ・令和6年8月 広島県 土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 施工管理

第1節 樹木のせん定及び伐採時の施工管理

- 1.) 高木（せん定・伐採）（H=3.0m以上）
施行前・施工中・施工後の状況を写真管理すること。
せん定樹木の幹周（胸高約1.20m）を測定し写真管理すること。
- 2.) 清掃
施行前・施工状況・施工後の状況を写真管理すること。
- 3.) 処分
積込前と積込後の状況を写真管理する。
- 4.) 伐採
施工前・施工状況・施工後の状況を写真管理すること。

第5章 その他

第1節 再資源化利用計画の現場掲示について

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2節 信号機設備移設工について

- ・「交通信号等工事共通仕様書」（第1章 第1適用範囲）に記載されている「広島県警察本部」は「福山市福山道路・幹線道路課」と読み替える。信号機通信ケーブル配線工事の施工者は広島県警本部の信号機工事指名業者であること。（下請業者も可とする）
- ・本工事は信号機通信ケーブルを移設する工事であり、信号の現示調整は特に要しないものと考ええる。そして、間接工費のうち技術者間接費及び機器間接費は見込んでいない。移設に伴い適用の必要が生じる場合は、発注者と受注者との協議対象とする。

第3節 福山市週休2日適用工事について

本工事は、持続可能な建設産業に向けた労働環境の改善を目的とする週休2日適用工事の対象工事です。詳細については、別紙（土木関連工事における福山市週休2日適用工事の実施について）によるものとします。

第4節 その他項目

- ・「交通信号等工事共通仕様書」に記載されている（第1章 第4工事現場の管理）に記載されている「1 主任（監理）技術者の配置等」、「2 現場代理人の配置等」については、福山市建設政策課が公表している主任（監理）技術者、現場代理人の適正配置によるものとする。
- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

土木関連工事における福山市週休2日適用工事の実施について

- 1 福山市週休2日適用工事の実施に係る用語の定義は次の各号に定めるものとする。
 - (1) 「週休2日」とは、次のアからウまでに定める区分に応じ、各条件を満たすものをいう。
 - ア 「完全週休2日(土日)」とは、対象期間の全ての週(原則として、土曜日から金曜日までの7日間とする。以下同じ。)毎に現場閉所又は現場休息(以下「現場閉所等」という。)を原則として土曜日及び日曜日に指定し、1週間に2日以上現場閉所等を行うものをいう。
 - イ 「月単位の週休2日」とは、対象期間内の全ての月毎に現場閉所等の日数が、4週8休(現場閉所等の割合が28.5%(8日/28日)以上)のものを用いる。以下同じ。)以上であるものをいう。
 - ウ 「通期の週休2日」とは、対象期間内において現場閉所等の日数が4週8休以上のものを用いる。
 - (2) 「現場閉所」とは、巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。
 - (3) 「現場休息」とは、分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。
 - (4) 「対象期間」とは、工事着手日(準備期間(契約上の工事の始期から現場事務所などの設置、測量、本体工事又は仮設工事のいずれか最も早い日までの期間をいう。)を除く。)から工事の完成日(後片付け期間(契約図書に基づく工事目的物の施工が全て完了し、余剰資材等の撤去、現場の清掃等、工事の完成検査を受けるために必要な作業を行う期間をいう。)を除く。)までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。
 - ア 年末年始6日間及び夏季休暇3日間
 - イ 工場製作のみが行われている期間
 - ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間
 - (5) 「発注者指定型」とは、週休2日適用工事として発注者が指定するものをいう。
 - (6) 「受注者希望型」とは、受注者が工事着手前に、発注者に対して週休2日適用工事として取り組む旨を申し出たものをいう。
- 2 週休2日は、次のアからウまでに定める区分に応じ、各号に定めるところにより実施するものとする。
 - ア 完全週休2日(土日)
 - 1 (1)アに定めるところにより実施するものとする。ただし、対象期間内のうち、日数が7日に満たない週においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことで実施できるものとする。
 - イ 月単位の週休2日
 - 1 (1)イに定めるところにより実施するものとする。ただし、暦上の土曜日及び日曜日の現場閉所等では4週8休に満たない月又は日数が28日に満たない月においては、当該

月の対象期間内の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことにより実施できるものとする。

ウ 通期の週休2日

1 (1)ウに定めるところにより実施するものとする。

- 3 受注者は、受注した工事が発注者指定型の場合は、工事着手までに監督員に対し、実施する週休2日の区分について申し出るとともに、現場閉所（現場休息）計画表兼実績表（様式1）（以下「計画表」という。）を提出するものとする。
- 4 受注者は、受注した工事が受注者希望型の場合は、工事着手までに監督員に対し、週休2日実施の有無及び実施する週休2日の区分について申し出るとともに、実施する場合は計画表を提出するものとする。なお、工事着手前に週休2日を実施しない旨を申し出た場合は、工事着手後の週休2日を実施する旨の申出は受け付けないものとする。
- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所等を行う場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。
 - (1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
 - (2) その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日適用工事である旨を標示板の見えやすい位置に記載して工事現場に設置しなければならない。この場合において、記載内容は、別記様式に定めるものを基本とするものとする。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所等の状況を記入し、現場閉所等の状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月7日（7日が閉庁日の場合は翌開庁日）まで及び工事完成後速やかに、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。
- 10 発注者指定型の工事の経費の補正は次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 土木工事

月単位の週休2日の経費を見込んで発注し、現場閉所等の実績に基づき、完全週休2日（土日）を達成したと認めた場合は、完全週休2日（土日）の補正係数を適用して変更契約し、月単位の週休2日を達成できなかった場合は、月単位の週休2日の補正係数を除いて変更契約を行うものとする。

(2) 港湾工事

月単位の週休2日の経費を見込んで発注し、現場閉所等の実績に基づき、月単位の週休2日を達成できなかった場合は、月単位の週休2日の補正係数を除いて変更契約を行うものとする。

- 11 受注者希望型の工事の経費の補正は次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 土木工事

週休2日の経費は見込まず発注し、現場閉所等の実績に基づき、達成した週休2日の区分に応じて完全週休2日（土日）（港湾工事を除く。）又は月単位の週休2日の補正係数を適用して変更契約を行うものとする。

(2) 港湾工事

週休2日の経費は見込まず発注し、現場閉所等の実績に基づき、月単位の週休2日を達成したと認めるとき、当該週休2日の補正係数を適用して変更契約を行うものとする。

12 土木工事（港湾工事を含む。）に係る経費の補正については、次の各号に掲げる現場閉所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数、別表土木工事市場単価の補正係数（港湾工事を除く。）及び土木工事標準単価の補正係数の表に定める補正係数を用いるものとする。ただし、港湾工事（港湾土木請負工事積算基準を適用した工事）については、月単位の週休2日を達成した場合に限り、第2号に定める補正係数及び別表港湾工事市場単価の補正係数の表に定める補正係数により、経費の補正を行うものとする。

(1) 完全週休2日（土日）

ア 労務費	1.02
イ 共通仮設費	1.02
ウ 現場管理費	1.03

(2) 月単位の週休2日

ア 労務費	1.02
イ 共通仮設費	1.01（港湾工事を除く。）
ウ 共通仮設費	1.02（港湾工事に限る。）
エ 現場管理費	1.02（港湾工事を除く。）
オ 現場管理費	1.03（港湾工事に限る。）

13 12(1)ア及び12(2)アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工及び港湾請負工事積算基準に係る標準賃金（船舶製作工を除く。）とする。

14 土木工事については、完全週休2日（土日）又は月単位の週休2日を達成したとき、港湾工事については、月単位の週休2日を達成したときに工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

15 週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

16 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

別表

土木工事市場単価の補正係数（港湾工事を除く。）

名称	区分	補正係数	
		月単位 の週休2日	完全 週休2日 (土日)
鉄筋工		1.02	1.02
ガス圧接工		1.01	1.01
インターロッキングブロック工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02	1.02
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.01
道路標識設置工	設置	1.00	1.00
	撤去・移設	1.01	1.01
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
法面工		1.01	1.01
吹付砕工		1.01	1.01
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.01	1.01
道路植栽工		1.02	1.02
公園植栽工		1.02	1.02
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.02
橋面防水工		1.01	1.01
薄層カラー舗装工		1.00	1.00
グルーピング工		1.00	1.00
軟弱地盤処理工		1.01	1.01
コンクリート表面処理工 （ウォータージェット工）		1.01	1.01
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
砂基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
碎石基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
組立マンホール設置工		1.01	1.01
小型マンホール工		1.00	1.00
取付管及びます設置工	ます設置工	1.00	1.00
	取付管布設及び支管取付工	1.01	1.01

港湾工事市場単価の補正係数

名称	補正係数
	月単位 の週休2日
底面工	1.01
マット工（アスファルトマット設置・ゴム系マット設置）	1.00
支保工	1.02
足場工	1.01
鉄筋工	1.02
吊鉄筋工	1.02
型枠工	1.02
コンクリート打設工（ポンプ車打設）	1.02
コンクリート打設工（ポンプ車打設以外）	1.02
止水板工	1.02
上蓋工	1.02
伸縮目地工	1.01
係船柱取付	1.02
防舷材取付	1.02
車止・縁金物取付	1.02
係船柱撤去	1.02
防舷材撤去	1.02
車止撤去	1.02
電気防食取付	1.02
防砂目地板取付工（陸上施工）	1.02
防砂目地板取付工（水中施工）	1.02
吸出し防止工（陸上施工・海上施工）	1.02
港湾構造物塗装工（係船柱・車止・縁金物）	1.01
ペトロラタム被覆	1.02
現場鋼材溶接・切断工（陸上施工・海上施工）	1.02
現場鋼材溶接・切断工（水中施工）	1.02
かき落とし工	1.02
汚濁防止膜設置・撤去・移設	1.01
汚濁防止枠設置・撤去	1.01
灯浮標設置・撤去	1.01
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船あり・水中目視点検）	1.00
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船なし）	1.02
異形ブロック製作型枠工	1.02
異形ブロック製作コンクリート打設工	1.02
異形ブロック製作給熱養生	1.01

土木工事標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		月単位の週休2日	完全週休2日(土日)
区画線工		1.02	1.02
高視認性区画線工		1.02	1.02
橋梁塗装工		1.01	1.01
構造物とりこわし工	機械	1.01	1.01
	人力	1.02	1.02
コンクリートブロック積工		1.02	1.02
排水構造物工		1.02	1.02

(1)



(2)

週休2日適用工事

この工事は、建設産業の労働環境を改善するため、週休2日の確保に取り組む工事です。

発注者：福山市〇〇〇〇〇〇課
受注者：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

(A 3 サイズ以上)

交通信号機等工事共通仕様書

(令和7年度改訂)

第1章 総則

第1 適用範囲

- 1 本仕様書は、広島県警察本部が発注する交通安全施設の新設、改良及び改修並びに移設等の電気・電気通信工事に適用する。ただし、灯火式道路標識に係る工事は適用外とする。
- 2 特殊な工事については、別に定める仕様書によるものとする。
- 3 設計図書及び特記仕様書に記載された事項は、本仕様書に優先するものとする。

第2 用語の定義

- 1 監督職員
監督職員とは、請負工事の施工において、その指定を受けた発注者側の職員をいう。
- 2 指示
指示とは、発注者側の発議により監督職員が請負者に対し、監督職員の所掌事務に関する方針、基準などを示し実施させることをいう。
- 3 現場代理人
現場代理人とは、請負者が施工する工事について、工事現場の管理をつかさどる総括責任者をいう。

第3 一般事項

- 1 信号設備工事（以下「本工事」という。）は、広島県契約規則、広島県建設工事執行規則、広島県土木工事共通仕様書、設計図書の最新版及び本仕様書により施工すること。
なお、本工事の工期には、検査期間として14日間を見込んでいる。
- 2 本工事の施工に関し、建設業法等に抵触する行為は厳に行わないこと。また、建設業法に違反する一括下請契約、いわゆる裏ジョイント契約その他不適切な形態により工事を実施する等契約当事者間の信頼を損なう行為は行わないこと。
- 3 本工事は、電気設備の技術基準、及びその他関係規定に適合するように施工すること。
- 4 本工事に使用する機器、材料はすべて形式指定のもの、又は同等以上のものとする。
- 5 本工事の施工に際し、設計図面と現場との確実な照査を実施し、施工目的を達成すること。
なお、照査を行う中で、疑義等が生ずる場合については、監督職員へ直ちに連絡し、事前に指示を受けること。
- 6 本工事施工に伴う道路占用協議、共架申請、河川占用許可申請、専用回線申込の手続きは、原則、発注者において行う。ただし、これらの協議又は申請に際し必要となる資料について、別途、監督職員の指示がある場合については、当該資料の作成をしなければならない。
- 7 本工事施工に伴う道路使用許可申請、給電の新規及び廃止申込、諸報告、その他上記6以外の手続きは請負者において行い、給電申込の契約者名は管轄警察署長とすること。
なお、本工事の施工において設備の増減等に伴い、受電電力契約の変更が必要となる場合には、次のとおり請負者において変更契約を行うこと。
 - (1) 負荷設備の総消費電力が1kva未満となる場合（公衆街路灯Bから公衆街路灯Aに変更する。）
 - (2) 負荷設備の総消費電力が1kva以上となる場合（公衆街路灯Aから公衆街路灯Bに変更する。）
 - (3) 負荷設備に増減等があり、総消費電力が変動となる場合で、変更前後の総消費電

力が1kva未満の場合（公衆街路灯Aの変更契約をする。）

- 8 本工事完成後2箇年度（設置年度末日から起算）以内に、施工又は機器、材料の不良に基づく故障等が生じた場合には、請負者の責任において完全に修理すること。
- 9 請負者は、本工事完成後1箇年度（設置年度末日から起算）は、信号機設備の機能を保持するため、次に掲げる点検等を必要に応じて行うこと。
 - (1) 機器の点検
 - (2) レンズ及び灯器のしき掃
 - (3) 電球取替
 - (4) その他信号設備の機能保持に必要な手入れ

10 現場説明資料の配付

入札説明書、設計図面、仕様書などの現場説明資料の配付については、原則、データ情報を電子メールにて送信することにより行う。よって、送信を希望するアドレス先を発注者へ通知するとともに、変更がある場合については直ちに発注者（工事担当課）へ申し出ること。

なお、データ情報を受信した指名業者にあつては、直ちに「指名業者名」「担当者名」「連絡先」及び「受信を完了した旨の内容」を付記し、送信アドレス先へメールを返信すること。

また、やむを得ず外部記録媒体により現場説明資料の配付を受けようとする場合には、現場説明日の前日（前日が閉庁日の場合には、直近の開庁日）の12時までに発注者（工事担当課）へその旨を事前連絡するとともに、配付を受けようとする外部記録媒体内のデータについては全て消去し、ウイルスチェックを確実に実施した後、当日提示すること。事前連絡がない場合、外部記録媒体による配付には応じられない場合があるので、十分注意すること。

11 工事仕様書等の情報流出防止

発注者から配付する（配付形態はデータ、ペーパーを問わない。）仕様書や図面などの情報について、次のことを確実に遵守し、情報流出の防止に万全を期すること。

- (1) 発注者から配付を受けたデータ情報（以下「データという。」）の取扱い

ア ウイルスチェックの実施

データを取り扱うパソコンはもちろん、データを取り扱うパソコンと同一ネットワークで接続されているパソコンについては、最新のパターンに更新されたウイルス対策ソフトをインストールし、常時ウイルスチェックが行われる環境を整備すること。

イ ファイル共有ソフトの使用禁止

データを取り扱うパソコンへは「Winny」に代表されるファイル共有ソフト等は、絶対にインストールしないこと。

ウ 外部記録媒体の紛失防止

データを保存したメモリースティックなどの外部記録媒体を持ち出す場合には、持ち出し記録簿を作成する等外部記録媒体の管理体制を確立して、当該媒体の紛失防止に徹底を期すること。

- (2) ペーパー情報の取扱い

ア ペーパーの紛失防止

ペーパー情報の所在確認はもちろん、社外に持ち出す場合は、出社時、帰社時等適宜その所在を確実に確認し、外部記録媒体と同様に紛失防止に徹底を期すること。

イ スキャナーを使用したペーパー情報の取り込み

スキャナーを使用し、ペーパー情報を取り込む場合は、取り扱うパソコンのウイルスチェック及びファイル共有ソフトがインストールされていないことを確実に確認して、情報流出防止に万全を期すること。

- (3) 自宅での作業の禁止（当課が配付したものに限る。）

情報流出の多くは、データを自宅へ持ち帰って作業中に、ウイルス対策の行われて

いないパソコンやファイル共有ソフトを介し、インターネット上に流出している。したがって、データはもちろん、ペーパーについても自宅へ持ち帰っての作業については禁止する。

(4) その他

万一、当課が配付等した情報が外部へ流出した場合、又は流出した可能性がある場合には、監督職員まで直ちに通報すること。

- 12 信号灯器の更新等、工事完了直後から工事目的物を使用しなければならないときは、発注者は引渡し前であっても工事目的物の全部又は一部を使用することができる。
- 13 設計図書及び仕様書等で不明、又は疑義のある事項、あるいは本仕様書に記載のないことで本工事に必要と認められるものは、あらかじめ監督職員の指示を受けること。
- 14 請負金額2千万円以上の工事は、原則として中間検査の対象とし、検査日は別途監督職員が連絡する。

第4 工事現場の管理

1 主任（監理）技術者の配置等

- (1) 建設業法第26条の規定により請負業者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者又は専任の監理技術者については、適切な資格、技術力等を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事する者で、請負業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものに限る。）を配置すること。
- (2) 請負者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の監理技術者は、次のいずれかとする。なお、発注者から請求があったときは、資格を証明する書類を提示すること。

ア 建設業法第15条第2号イ又はロに該当する者

イ 建設業法第15条第2号ハの規定により国土交通大臣が同号イ又はロに掲げる者と同等以上の能力を有するものと認定した者であって、次のいずれかに該当する者

(ア) 監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者

(イ) 平成16年2月29日以前に交付を受けた監理技術者資格者証を有する者

(ウ) 平成16年2月29日以前に監理技術者講習を受け、平成16年3月1日以後に監理技術者資格者証の交付を受けた者であって、監理技術者資格者証及び指定講習受講修了証を有する者

- (3) 主任（監理）技術者の専任期間等

専任が義務付けられた工事に配置される技術者の専任期間について、次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは専任を要しないものとする。

なお、工期の終期が到来する前に工事完成検査が終了した場合の配置期間は、引渡しを受けた日までとする。

ア 契約書上の工期の始期から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事等が開始されるまでの間）

イ 工事用地等の確保が未了、自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間

ウ 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間

なお、工場製作の過程を含む工事の工場製作過程においても、建設工事を適正に施工するため、主任（監理）技術者がこれを管理する必要があるが、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の主任（監理）技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。

エ 工事完成後、検査が終了し、事務手続きなどの残務があり、引渡しを受けるまでの期間

(4) 主任（監理）技術者の変更の特例

次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは、主任（監理）技術者の変更ができるものとする。

ア 受注者の責によらない理由により工事中止または工事内容の大幅な変更が発生し工期が延長されたとき

イ 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点

なお、いずれの場合も発注者と請負者との協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか、交代前後における主任（監理）技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、工事の規模、難易度等に応じ一定期間重複して工事現場に設置するなど、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められることが必要である。

(5) 主任（監理）技術者の兼務制限

ア 請負金額4,500万円以上及び建設業法第26条第2項が適用されない工事

(ア) 建設業法施行令第27条第2項が適用される密接な関係のある公共工事で、当該工事箇所相互の距離が10km程度で同一の市町内（安芸郡4町については、同一市町として取り扱う。以下同じ。）であれば本件工事を含め2件の兼務を可能とする。

※ 密接な関係のある工事とは、工作物に一体性又は連続性が認められる工事又は施工にあたり相互に調整を要する工事（資材の調達を一括で行う場合や工事の相当部分を同一の下請け業者で施工する場合を含む。）をいう。

※ 工事箇所間の距離の算定に当たっては、複数箇所を合併して発注する場合を含め、最も近接する施工箇所を距離算定の基礎とする。

※ 本運用による取扱いの対象となる工事箇所は、複数箇所を合併して発注する場合を含め、全て同一の市町内でなければならない。

なお、請負金額が1億円未満のとき、次の条件を全て満たす場合も、本件工事を含め2件の兼務を可能とする。

a 工事現場間が、一日の勤務時間内に巡回可能な距離で、かつ工事現場において災害・事故その他の事象が発生した場合に、工事現場間の移動時間がおおむね2時間以内であること。

b 下請次数が3を超えないこと。

c 連絡員を工事現場に配置すること。

d 工事現場の施工体制を情報通信技術（CCUS等）を利用する方法により確認するための措置を講じていること。

e 人員配置計画書を作成し、各工事現場及び営業所に備え置くこと。

f 工事現場の状況の確認をするために必要な映像及び音声の送受信が可能な情報通信機器（スマートフォンやタブレット端末等）が設置され、かつ当該機器を用いた通信を利用することが可能な環境が確保されていること。

g 上記のほか、監理技術者制度運用マニュアルにおける専任特例1号に係る条件を満たすこと。

(イ) 兼務の届出に当たり、下請工事の予定を明らかにすること。

(ウ) 工事現場不在時の連絡体制が確保されていること。

イ 請負対象設計金額4,500万円未満の工事

兼務制限なし。

2 現場代理人の配置等

(1) 請負者は、請負者と直接的な雇用関係を有する者を現場代理人として選定し、本

工事施工中は、常時本工事現場に配置すること。ただし、次に掲げる条件をいずれも満たす場合は、建設工事請負契約約款（以下「約款」という）第10条第3項に規定する「現場代理人の工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がなく、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認めた場合」として取扱う。

ア 請負金額4,500万円未満の建設工事であること。

イ 監督職員等と携帯電話等で常に連絡が取れること。

(2) 現場代理人は、常に工事が安全に行われるよう現場管理を行うこと。また、災害防止については万全の措置を執り、特に火気の取扱いについては厳に注意すること。

(3) 次の要件を満たす場合、他の公共工事の現場における現場代理人又は主任技術者との兼務を認める。

ア 請負金額4,500万円以上の工事

(ア) 建設業法施行令第27条第2項が適用可能な工事で、同一の専任の主任技術者が当該工事の監理を行うことが認められるものであること。

(イ) 兼務する公共工事が、本件工事を含め2件以内であること。

(ウ) 兼務する工事箇所が全て同一の市町内であること。

(エ) 工事現場不在時の連絡体制が確保されていること。

(オ) 兼務する工事が同一の発注者によるものでない場合は、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しを提出できること。

(カ) 監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること。

イ 請負金額4,500万円未満の工事

(ア) 兼務する公共工事が、本件工事を含め5件（災害復旧工事及び路線委託に係る件数を除く。）以内であること。

(イ) 兼務する工事箇所が全て同一の市町内であること。

(ウ) 工事現場不在時の連絡体制が確保されていること。

(エ) 兼務する工事が同一の発注者によるものでない場合は、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しを提出できること。

(オ) 監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること。

(4) 本工事現場において他の工事がある場合には、常に相互協調して紛争を起ささないよう留意すること。

(5) 本工事施工中は、道路使用の適正、交通の危険防止などに十分留意すること。

3 工事施工に際し、他の者が所管する工作物等に障害、損傷を与えた場合、又は第三者の生命、身体に危害を与えた場合は、速やかに監督職員に報告のうえ適切に処置すること。

4 工事中は、一般通行人に見え易い場所に「信号工事中」等の標示板を設置すること。

5 信号の滅灯を伴う工事施工に当たっては、あらかじめ管轄警察署に交通規制の一時解除の申請を行うこと。

6 請負者は、工事完了に際しては速やかに仮設物を撤去し、後片付け及び清掃を行うこと。

7 建設廃棄物処理関係

本工事から発生する建設廃棄物は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）」及び「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号。以下「廃棄物処理法」という。）」を遵守し適正に処理すること。

建設リサイクル法で義務付けのある建設工事を実施する場合、元請け業者は、本工事により発生する特定建設資材廃棄物（特定建設資材（コンクリート、アスファルト・コンクリート、木材）が廃棄物になったものをいう。）については、当該廃棄物を基準に従って工事現場で分別（分別解体等）し、再資源化等適正に処理しなければならない。

建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税されるので適正に処理すること。

なお、建設廃棄物の処理費用には広島県産業廃棄物埋設税相当額を見込んでいる。

- 8 暴力団等の不当要求及び工事妨害（以下「不当介入」という。）の排除について
 - (1) 暴力団等から不当介入を受けた場合は、その旨を直ちに報告し、所轄の警察署に届け出ること。
 - (2) 発注者及び所轄の警察署と協力して不当介入の排除対策を講じること。
 - (3) 排除対策を講じたにも関わらず、工期に遅れが生じるおそれがある場合は、発注者と工程に関する協議を行うこと。
 - (4) 発注者と工程に関する協議を行った結果、工期に遅れが生じると認められた場合は、約款第21条の規定により、発注者に工期延長の請求を行うこと。
 - (5) 暴力団等から不当介入による被害を受けた場合は、その旨を直ちに報告し、被害届を速やかに所轄の警察署に提出すること。
 - (6) 当該被害により、工期の遅れが生じるおそれがある場合は、発注者と工程に関する協議を行うこと。その結果、工期に遅れが生じると認められた場合は、約款第21条の規定により、発注者に工期延長の請求を行うこと

9 立入調査の実施について

発注者は、請負人が工事の施工にあたり遵守しなければならない法令上の義務が適正に履行されているか立入調査を行うことができる。

請負人は発注者又は発注者の指名する者が工事現場、現場事務所又は営業所に立入調査を実施する場合は、これを受け入れなければならない。

10 その他留意事項

- (1) 工事用資機材等の運搬において過積載にならないようにすること。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者に資材の搬入を行わせないこと。
- (3) ダンプカーのさし枠装着等による違法行為は行わせないこと。
- (4) 工事中の安全確保について、建設機械施工安全技術指針は、国土交通省大臣官房技術調査課及び国土交通省総合政策局建設施工企画課長通知（平成17年3月31日）を参考とすること。
- (5) 交通誘導は必ず工事ヤードの内側で向かってくる通行車両に対面して行うこと。また、交通整理機材を効果的に活用し、事故に遭わないよう常に通行車両に注意して誘導にあたること。
- (6) 短時間の工事資器材積卸しなどによる停車は、車道のできる限り左側端に沿うようにして行い、絶対に歩道上には停車しないこと。また、工事施工により歩道上に車両を停める場合は道路使用許可を得て行い、あらかじめカラーコン等で駐車スペースを確保して交通整理員の誘導により安全に行うこと。

第5 提出書類等

1 電力関係

請負者は、受電の新規、変更及び廃止申込書を電力会社へ提出する前に監督職員へその写しを提出し、内容の確認を受けること。また、受電の新規、変更及び廃止の完了後、速やかに契約番号及び使用開始年月日等の必要事項が記載された関係書類の写しを電力会社から受領し、監督職員へ提出すること。

なお、受電の変更に伴い供給地点特定番号の変更を把握した場合は、監督職員へ速やかに報告すること。

2 保管指示のある撤去品の取扱い

請負者は、工事施工に伴う既存施設の撤去品のうち保管の指示があるものは指定場所に返納するとともに、信号機等搬入完了届を提出すること。

3 工事写真

工事写真は広島県が定める写真管理基準の最新版に従うこととし、次のことに留意

すること。

- (1) 信号柱の基礎等、不可視となる出来形部分については、出来形寸法が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
なお、基礎工事については床掘り、基礎砕石工、コンクリート打設の各段階における完了時点を撮影すること。
- (2) 写真は全て鮮明であること。また、工事前後の違いが確実に分かるように撮影し、一見して判別し難い施工部位は矢印等で表記すること。
- (3) 各工事場所毎に施工中の写真を1枚以上添付すること。
- (4) 写真には、工事関係者以外の人物が写り込まないこと。
- (5) 信号柱の基礎及び管路埋設の施工に係る工事写真は、監督職員に電子データを提出すること。

4 施工計画書

請負者は、工事着手前（工事始期日以降30日以内）に工事目的物を完成するために必要な手順や工法等について次の項目が記載された施工計画書を作成し、監督職員へ提出しなければならない。ただし、本工事に関係のない項目及び簡易な工事については、監督職員の承諾を得て記載内容の一部を省略することができる。

- (1) 工事概要
- (2) 計画工程表
- (3) 現場組織表
- (4) 指定機械
- (5) 主要船舶・機械
- (6) 主要資材
- (7) 施工方法（主要機械、仮設備計画、工事用地等を含む）
- (8) 施工管理計画
- (9) 安全管理
- (10) 緊急時の体制及び対応
- (11) 交通管理
- (12) 環境対策
- (13) 現場作業環境の整備
- (14) 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法
- (15) その他

受注者は、施工計画書に、次の事項を追加して記載しなければならない。

- (16) 段階確認に関する事項
- (17) 現場環境改善等の実施内容
- (18) 安全・訓練の活動計画

請負者は、施工計画書の内容に変更が生じた場合には、その都度当該工事を着手する前に変更に関する事項について、変更計画書を作成し提出すること。

監督職員が指示した事項については、請負者はさらに詳細な施工計画書を提出しなければならない。

5 工事履行報告

約款第11条の履行報告は、工期が1ヶ月を越えるものについて、工事の進捗状況を毎月7日までに監督職員に書面をもって報告すること。

6 出来形管理基準

出来形管理基準は別紙1のとおりとする。

請負者は、出来形を出来形管理基準に定める測定項目及び測定基準により実測し、別紙3信号機等設置図で定める設計値と実測値を対比して記録した出来形表又は出来形図を作成し、管理するものとする。記録は中間検査時及び完成検査時に監督職員に提出すること。

7 工事カルテ作成・登録

請負者は、受注時又は変更時の請負金額が500万円以上の工事においては、工事実績情報サービス（CORINS）に基づき、登録、途中変更、竣工、訂正時に工事実績情報として「工事実績データ」を作成し、監督職員の確認（サイン又は押印）を受けたうえ、登録時は契約締結の日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、途中変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、竣工時は工事完成後10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。

なお、現場管理費率に「CORINS登録にかかる費用」を見込んでいる。なお、途中変更時の登録が必要な場合とは、工期の変更、技術者の変更があった場合とする。

8 建設リサイクル

請負者は、建設リサイクル法第9条第1項に規定する「対象建設工事（下記《対象建設工事の定義》参照）」については、次の各号の規定を遵守しなければならない。

- (1) 請負者は、本工事により発生する特定建設資材廃棄物（特定建設資材（アスファルト・コンクリート、コンクリート及び木材）が廃棄物になったものをいう。）について、建設リサイクル法及び廃棄物処理法を遵守し、適正に処理しなければならない。
- (2) 対象建設工事を請け負おうとする者は、建設リサイクル法第12条第1項に基づき、同法第10条第1項第1号から第5号までに掲げる事項について記載した書面を交付して説明しなければならない。

※ 「分別解体等の計画等」「工程表」を添付すること、

- (3) 請負契約の当事者は、建設リサイクル法第13条及び「特定建設資材に係る分別解体等に関する省令」（平成14年国土交通省令第17号。以下「省令」という。）第7条に基づき、①分別解体等の方法、②解体工事に要する費用、③再資源化等をするための施設の名称及び所在地、④再資源化等に要する費用について、請負契約に係る書面に記載し、署名又は記名押印して相互に交付しなければならない。
- (4) 対象建設工事の落札者は、次の事項に留意し、落札決定通知の日から5日以内に、発注者（工事担当課）に対して、「法第12条第1項に基づく書面」を提出し、建設リサイクル法第10条第1項第1号から第5号までに掲げる事項について説明（事前説明）をした後、発注者（契約担当課）に対して、「法第13条及び省令第7条に基づく書面」を提出しなければならない。

対象建設工事の落札者がこれらの書面をこの期間内に提出しない場合、契約を締結することができないものとし、落札者が落札しても契約を締結しないもの（契約締結拒否）として取扱う。

なお、この場合、当該落札者は、契約保証の措置を行うために要する費用その他一切の費用について、発注者に請求できない。

ア 「法第12条第1項に基づく書面」及び「法第13条及び省令第7条に基づく書面」は、広島県の調達情報のホームページ中、様式集の建設副産物関係様式により作成すること。（<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>）

イ 「法第13条及び省令第7条に基づく書面」中の「解体工事に要する費用」及び「再資源化に要する費用」は直接工事費とすること。

ウ 「法第13条及び省令第7条に基づく書面」中の「再資源化に要する費用」は、特定建設資材廃棄物の再資源化に要する費用とし、再資源化施設への搬入費に運搬費を加えたものとする。

- (5) 請負者は、その請け負った工事の全部若しくはその主たる部分又は他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事以外の部分を他の建設業を営む者に請け負わせようとするときは、当該他の建設業を営む者に対して、法第12条第2項に基づき、法第10条第1項第1号から第5号までに掲げる事項について、告知書様式で告げなければならない。
- (6) 請負者は、契約締結後14日以内に、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利

用促進計画書」を作成し、施工計画書に含め本工事の監督職員に提出しなければならない。

(7) 請負者は、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」に従い特定建設資材廃棄物が適性に処理されたことを確認し、工事完成時に、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」を本工事の監督職員に提出しなければならない。

(8) 請負者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、次の事項を書面に記載し、監督職員に報告しなければならない。

なお、書面は「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」を兼ねるものとする。

- ・ 再資源化等が完了した年月日
- ・ 再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・ 再資源化等に要した費用

(9) 本工事で発生した建設資材廃棄物は、広島県及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設で処理すること。ただし、建設資材廃棄物が、破碎等（選別を含む）により有用物となった場合、その用途に応じて適切に処理するものとする。

有用物とは有価物たる性状を有するものをいい、客観的に利用用途に応じて適正な品質を有していなければならない。

(10) 本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処理費）は、前号に掲げる施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

《対象建設工事の定義》

「対象建設工事」とは、次の（ア）に示す特定建設資材を使用した若しくは使用する予定又は特定建設資材の廃棄物が発生する（イ）の工事規模の建設工事をいう。

（ア）特定建設資材（1品目以上）

- ① コンクリート
- ② コンクリート及び鉄から成る建設資材
- ③ 木材
- ④ アスファルト・コンクリート

（イ）工事規模

工事の種類	規模の基準
建築物解体工事	床面積の合計 80㎡以上
建築物新築・増築工事	床面積の合計 500㎡以上
建築物修繕・模様替工事	請負代金の額 1億円以上
建築物以外の工作物工事	請負代金の額 500万円以上

（注）解体・増築の場合は、各々解体・増築部分に係る床面積をいう。

9 「現場代理人及び主任技術者等指名(変更)届」を契約締結後14日以内に提出すること。

10 保険の付与及び事故の補償

(1) 請負者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法、健康保険法及び中小企業退職金共済法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。

(2) 請負者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。

(3) 請負者は、請負代金額300万円以上の場合は、建設業退職金共済制度における共済証紙（以下「共済証紙」という。）の購入状況等を書面により、工事請負契

約締結後原則 1 か月以内（電子申請方式による場合にあっては、工事請負契約締結後原則 40 日以内）に発注者（契約担当課）に提出しなければならない。また、請負者は、建設業退職金共済制度について、建設キャリアアップシステムの活用等により技能労働者等の就労状況を適切に把握し、これに基づく履行状況について、工事完成後、速やかに掛金充当実績総括表を作成し検査職員に提出しなければならない。報告に当たって、共済証紙を販売する金融機関が発行する発注者用掛金収納書を添付することとし、共済証紙を購入しなかった場合（請負契約額の増額変更等があった場合で、共済証紙の追加購入をしなかった場合を含む。）には、その理由を書面により発注者（契約担当課）に報告すること。

11 火災保険等

工事目的物及び工事材料を必要に応じ、火災保険又は建設工事保険等に附すること。この場合、発注者の指示がある場合については、当該証券等の写しを提出すること。保険契約期間は、契約日の翌日（工期始）から目的物引渡日までとすること。ただし、受注工事毎に附する保険ではなく、請負者が一定の期間内に受注する工事全体に対する保険の場合で、工期途中で保険契約満了日を迎える場合には、新契約を締結するなど不測の事態に対応できるよう万全を期すること。

12 工事を下請に施工させる場合

(1) 「県工事を下請に施工させる場合の留意事項」（建設工事関係要領等、広島県発行）を遵守し、元請、下請関係の適正化を図ること。

(2) 請負者は、この工事を施工するために下請契約を締結したときは、特定建設業の許可の有無にかかわらず、また、当該下請契約の請負代金の額の多寡にかかわらず、遅滞なく建設業法施行規則（昭和 24 年建設省令第 14 号）第 14 条の 6 の例によって各下請人の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、その写しを発注者に提出しなければならない。また、工事を施工するために締結した下請負契約について、広島県土木工事共通仕様書に従って記載した施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを監督職員に提出しなければならない。なお、施工体系図及び施工体制台帳の内容に変更を生じた場合は、その都度変更した施工体系図及び施工体制台帳の写しを発注者に提出しなければならない。

施工体制台帳の写しには、下請業者との注文請書、下請業者の建設業許可証、工事に必要となる資格者証等、雇用関係証明書類及び作業員名簿を添付すること。

(3) この工事の施工に際して、やむを得ず工事の一部（主体的部分を除く。）を第三者に請け負わせようとする場合は、極力広島県内に主たる営業所・本店を有する業者に発注するものとする。

(4) 社会保険等未加入対策の取扱いは次のとおりとする。

ア 請負者は、次に掲げる届出の義務を履行していない建設業者等（建設業法（昭和 24 年法律第 100 号）第 2 条第 3 項に規定する建設業者及び同法第 3 条第 1 項ただし書の政令で定める軽微な建設工事のみを請け負うことを営業とする者をいい、当該義務がない者を除く。以下「社会保険等未加入建設業者」という。）を下請負人（同法第 2 条第 5 項に規定する下請負人をいう以下同じ。）としてはならない。

(イ) 健康保険法（大正 11 年法律第 70 号）第 48 条の規定による届出の義務

(ロ) 厚生年金保険法（昭和 29 年法律第 115 号）第 27 条の規定による届出の義務

(ハ) 雇用保険法（昭和 49 年法律第 116 号）第 7 条の規定による届出の義務

イ アの規定にかかわらず、請負者は、次の各号に掲げる下請負人の区分に応じて、当該各号に定める場合は、社会保険等未加入建設業者を下請負人とすることができる。

(1) 受注者と直接下請契約（建設業法第 2 条第 4 項に規定する下請契約をいう。

以下同じ。）を締結する下請負人で次のいずれにも該当する場合

- ・ 当該社会保険等未加入建設業者を下請負人としなければ工事の施工が困難となる場合その他の特別の事情があると発注者が認める場合
- ・ 発注者の指定する期間内（原則 30 日）に、当該社会保険等未加入建設業者がアに掲げる届出の義務を履行した事実を確認することができる書類（以下「確認書類」という。）を、受注者が発注者に提出した場合
- (イ) (ア)に掲げる下請負人以外の下請負人で次のいずれかに該当する場合
 - ・ 当該社会保険等未加入建設業者を下請負人としなければ工事の施工が困難となる場合その他の特別の事情があると発注者が認める場合
 - ・ 発注者が受注者に対して確認書類の提出を求める通知をした日から 30 日（発注者が、受注者において確認書類を当該期間内に提出することができない相当の理由があると認め、当該期間を延長したときは、その延長後の期間）以内に、受注者が当該確認書類を発注者に提出した場合

13 主要資材の購入

- (1) 資材を購入しようとする場合は、極力広島県内に主たる営業所を有する業者に発注するものとする。
- (2) 請負者は資材を購入しようとするときは、あらかじめ購入先の名称、所在地及び資材名等を「主要資材購入先名簿」により監督職員を通じて発注者に通知するものとする。

14 工事目的物の引き渡し

工事目的物の引き渡しについて、工事完成検査終了時に工事目的物の引渡しを行う際、引渡書を監督職員に提出すること。

15 建設発生土処分

当該工事により建設発生土の発生が見込まれる場合、記仕様書で指定する場所に搬出するものとし、完了後に伝票の写しを提出すること。

16 産業廃棄物管理票（マニフェスト）の提示

適正な廃棄物処理を確認するため、請負者は、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を提示しなければならない。提示する産業廃棄物管理票は「D票」又は「E票」とする。

なお、工期内に当該「D票」又は「E票」の提示が困難である場合については、当面当該「A票」を提示し、後日、当該「D票」又は「E票」を提示すること。

17 建設副産物情報交換システムへの登録

最終工事請負金額が 100 万円以上の工事については、建設副産物情報交換システム（COBRIS）へ登録すること。登録に際しては、副産物の発生しない工事についても対象とする。登録対象工事については、施工前に当該システムにより作成した「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を施工計画書に含め、完成時に同様に作成した「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」をそれぞれ監督職員へ提出すること。なお、これにより難しい場合には、監督職員と協議すること。

当該システムの利用及び操作方法については、(財)日本建設情報総合センターのホームページ (<http://www.recycle.jacic.or.jp/index.html>) を参照のこと。

18 信号制御に係る設定表

信号制御機の設定変更を伴う工事及び信号制御機を新設・更新する工事については、運用開始前までに監督職員へ設定表を提出し確認を受けるとともに、運用開始後は補正事項等を整理の上、速やかに監督職員に提出すること。

また、信号制御機について、第 4 章「分離発注工事」に定める製造工事を行う場合は、製造工事の受注者が行うこと。

19 信号制御機等の錠

信号制御機等の錠については、発注者が承認したものに限る。請負者は、次の事項が分かる一覧表（様式不問）を作成し、当該錠を発注すること。

- ・ 工事番号及び監督職員氏名

- ・ 錠の品番、大きさ及び数量
- ・ 錠を使用する交差点名
- ・ 錠を使用する機器名及びメーカー

また、信号制御機等について、第4章「分離発注工事」に定める製造工事を行う場合は、当該機器の製造工事の受注者が行うこと。

20 信号制御機の製造及び改造

信号制御機の製造及び改造は、設計図書の現示階梯図で指定するとおり行うこと。

21 信号灯器の更新等、工事完了直後から工事目的物を運用するときは、請負者は工事完了後ただちに別紙2のチェックシートによる確認を行うこと。また、確認後のチェックシートは遅滞なく発注者へ電子メール、FAX又は持参により提出すること。

22 請負代金内訳書

請負者は、約款第3条に規定する請負代金内訳書を作成し、発注者に提出しなければならない。

23 その他

上記のほか、別に発注者が指示した場合、当該書類を提出すること。

第2章 共通工事

第1 土木工事

1 障害物処理

障害物の処理は次により施工すること。

- (1) 工事の支障となる障害物は、監督職員の指示に従って処理する。
- (2) 工事のため道路を掘削する場合は、事前に関係機関と地下埋設物占用協議を行うなど打ち合わせを行い、不測の事態に備えること。
- (3) 既存の電機工作物、給排水管、ガス管等の埋設物が露出する場合は、当該管理者の立ち会いを求め、損傷しないよう十分注意する。

2 掘削

掘削は次によるほか、道路管理者及び所轄警察署長の許可条件に従うこと。

- (1) 舗装の取り壊しは、コンクリートカッター等を使用して必要部分のみをカットする。
- (2) ブロック舗装のブロック平板は、損傷しないよう丁寧に取り扱い、支障のない位置に整理する。
- (3) みぞ掘り、つぼ掘りをし、又はえぐり掘りをしてはならない。
- (4) 掘り上げ土は、舗装部（又は衣土）、上層土及び下層土を区分してたい積し、飛散しないように注意する。
- (5) 工事のため、路面の排水を妨げないようにする。また、工事に支障を及ぼす雨水、わき水、たまり水などは、第三者に支障を与えないように排水する。
- (6) 掘削は所定の深さまで行き、石や突起物を取り除き床面を平坦にならし、底固めとする。
- (7) 道路横断箇所の掘削は、横断部の1/2又は1/3ずつ掘削し、その部分の埋設及び埋戻し完了後、次の掘削に移り、常に道路の片側部分の交通を確保する。

3 覆土及び埋戻し

埋設完了後の埋戻し工事は次によるほか、道路管理者及び所轄警察署長の許可条件に従うこと。

- (1) 掘削箇所は、必ず当日中に埋戻しを行い、安全な覆土を施し、交通その他に開放する。
- (2) 掘削土を埋戻す場合は、下層土は下層に、上層土は上層に確実に埋戻しする。
- (3) 掘削土をそのまま埋戻すことが不適当な場合には、他の良質な土砂を埋戻す。
- (4) 砂利道の表面仕上げを行う場合には、路面表土をもって掘削前の路面と同じように締め固める。
- (5) 所定の支持力が得られるようランマー、木たこ等で20cmごとに突き固めるか、水締めをしながら埋戻す。

4 路面復旧

路面復旧については、道路管理者その他の許可条件により完全に復旧すること。

なお、本復旧までの間は、アスファルト又はレミファルト等で仮復旧し、交通の支障とならないように努めること。

第2 基礎工事

基礎工事は、別紙3信号機等設置図に従い、次により施工すること。

1 床掘工事

第1「土木工事」に準じて施工すること。

2 基礎砕石工

所定の深さに掘り下げ床付面を平たんにならし、再生砕石を施して十分締め固めながら所定の厚さに仕上げるものとする。

なお、割栗石又は玉石を使用する場合は小端立として敷並べ、この上に目潰し砂利

を施し、十分締め固めながら所定の厚さに仕上げる。

仕上げ厚は普通地盤の場合、10 cm とする。

3 基礎コンクリート工

(1) 材料

コンクリート工事に用いる材料は、原則として J I S 認定工場で製造したレディーミクストコンクリートを使用する。

コンクリートの強度は、設計基準強度 18 - 8 とする。

(2) コンクリート工事

コンクリート工事は、次により施工すること。

ア 打ち込み

コンクリートの打ち込みに際しては、管類、その他打ち込み材を移動させないように注意し、適当な器具で突き固める。

イ 養生

コンクリート打ち込み後は、急激な温度変化（特に低温）、乾燥、荷重、衝撃等の有害な影響を受けないよう十分これを保護する。

ウ 型わく

型わくは、コンクリート部材の位置、形状及び寸法に正しく一致させ、堅固で荷重、乾湿、振動の影響によって狂いの起こらない、かつ安全にこれを取り外すことができ、またモルタル漏れのない構造とする。コンクリートが必要な強度を発揮するまで存続した後、構造物に衝撃や振動を与えないよう静かに取り外す。取り外し後、コンクリートの不良個所を発見した場合は、監督職員の指示に従い、念入りに補修する。

エ モルタル仕上げ

モルタル仕上げの指示がある箇所は、コンクリートにモルタルが密着するように仕上げる。モルタルの調合は容積調合で、普通、セメント：砂 = 1 : 2 又は 1 : 3 とする。

第3章 信号機等設置工事

第1 信号専用柱工事

1 建柱

- (1) 建柱位置は、設計図によるほか、詳細については監督職員の指示による。
なお、柱から基礎側端までのコンクリートかぶり厚は10cm以上確保する。
- (2) 建柱は原則として砂締め（スパイラルダクトと柱の隙間に砂を充填し、水を注入して固める）又はベース式により行い、特に指定する場合以外は、支線、支柱、根かせを使用しない。
- (3) 根入れは「柱長の1/6以上」とする。ただしベース式の場合は除く。
- (4) 電柱には、必要に応じて足場ボルトを設ける。

2 反射材

コンクリート柱は指定の反射シートを、鋼管柱は指定の反射シート又は反射ステッカーを別紙3信号機等設置図のとおり取付けること。なお、反射シートの合わせ部は車両の進行方向に対し柱を挟んで反対側でかつ金具の引っ張りが出張内側にならないよう施工すること。

3 電柱札

信号柱には、柱番号（県警〇号柱）、柱の製造年月（西暦で表記）、製造メーカー、規格が分かる電柱札を取り付けること。なお、表示には不滅インク、刻印等の滅失しないものを使用すること。

4 鋼管柱の耐食処理及び地際補強

(1) 直管及び曲管

鋼管柱の地際部は、工場製作段階で補強管の取付、及び変性エポキシ樹脂塗料又はそれと同等以上の耐食効果のある塗装を行うこと。塗装する範囲は鋼管柱の地際部から上下20cmまでの範囲とする。

また、基礎上部が地盤面と同等の高さとなる非舗装の場合は、地際部に雨水等が溜まらないように、モルタル金ごてにより信号柱に向けて適切な排水勾配をつけて表面仕上げをすること。

なお、基礎上は目視できるように、土砂等を被せずに施工すること。

(2) ベース式

鋼管柱の地際部は、工場製作段階で補強管の取付、及び変性エポキシ樹脂塗料又はそれと同等以上の耐食効果のある塗装を行うこと。塗装する範囲は鋼管柱の最下部から45cmまでの範囲とし、プレート部も含むものとする。また、アンカーボルトの露出部には保護キャップを取り付け、キャップとプレートの隙間には防水処理を施すこと。

第2 信号機等取付工事

1 信号制御機取付工事

(1) 取付位置

制御機の設置位置は、設計図書及び別紙3信号機等設置図に従い、詳細については監督職員の指示による。なお、原則として制御機の横方向が道路と平行で、取付位置は車両の進行方向に対し柱を挟んで反対側になるように設置し、歩行者等の通行の支障とならないようにすること。

(2) 取付方法

制御機の取付方法は、自立式又は電柱抱込式とする。

ア 自立式は、別紙3信号機等設置図の制御機基礎に設置する。また、制御機内底面のケーブル入線部は防湿対策を施すこと。

イ 電柱抱込式は、付属の取付金具を使用すること。

ウ 他所管の電柱に取り付ける場合は、設置条件を遵守し、毀損したり障害を与え

ないようにする。

エ 扉は原則として歩道側から開け配管が障害となり十分な扉の開閉ができないことのないよう施工すること。

- (3) 接地工事
第3章第3-5「接地工事」に準拠する。

2 信号灯器取付工事

- (1) 取付位置等
信号灯器（以下「灯器」という。）の取付位置は、設計図書及び別紙3信号機等設置図によるほか、詳細については監督職員の指示による。
- (2) 取付方法
ア 付属のバンド、ブラケット又は、自立ポール等の取付金具を使用する。
イ 他所管の電柱に取り付ける場合は、取付条件を遵守し、毀損したり障害を与えないようにする。
ウ 灯器が、強風、地震にも十分耐えるよう堅固に取り付ける。
エ 車両用灯器のアーム長が3m以上の場合は、振れ止め金具を取付けること。

- (3) 接地工事
第3章第3-5「接地工事」に準拠する。なお、自立式歩行者用灯器はリブプレートに接地線を電氣的、機械的に堅固に接続すること。

3 押ボタン箱取付工事

- (1) 取付位置
押ボタン箱の種別、取付位置は、設計図書及び別紙3信号機等設置図に従い、押ボタン箱の取付方向については監督職員の指示による。
- (2) 取付方法
押ボタン箱の取付方法は、自立式又は電柱抱込式とし、「信号制御機取付工事」に準じて施工する。
- (3) 接地工事
第3章第3-5「接地工事」に準拠する。

4 車両感知器取付工事

- (1) 取付位置
車両感知器の種別、取付位置は、設計図書及び別紙3信号機等設置図に従い、詳細については監督職員の指示による。
- (2) 取付方法
車両感知器制御機筐体の取付方法は、自立式又は電柱抱込式とし、「信号制御機取付工事」に準じて施工する。また、車両感知器送受器の取付は「信号灯器取付工事」に準じて施工する。
- (3) 接地工事
第3章第3-5「接地工事」に準拠する。

5 視覚障害者用付加装置取付工事

- (1) 取付位置
視覚障害者用付加装置の取付位置は、設計図書及び別紙3信号機等設置図に従い、詳細については監督職員の指示による。
- (2) 取付方法
視覚障害者用付加装置制御機筐体の取付方法は、自立式又は電柱抱込式とし、「信号制御機取付工事」に準じて施工する。
スピーカーは専用アームに取付け、スピーカーの位置が横断歩道中心線上となるよう設置する。
- (3) 誘導音出力
南北方向に横断する歩行者に対して「ピヨ」及び「ピヨピヨ」、東西方向に横断する歩行者に対して「カッコー」及び「カカッコー」を音響出力すること。
- (4) 接地工事

第3章第3-5「接地工事」に準拠する。

(5) 運用開始

運用開始（更新時を除く）は竣工検査に合格した後とし、それまでは試験調整時以外に音を鳴らしてはならない。

6 その他留意事項

(1) 使用するターンバックル

信号灯器や車両感知器などの支持に使用するターンバックルについては、脱落防止措置が執られたものを使用すること。

(2) 信号灯器などの取り外し

信号灯器や車両感知器などの取り外しの際には、補強ステー等が脱落しないようロープ等で結び部品に至るまでの脱落防止措置を講ずること。また、取り外し中は交通規制を確実に実施し、歩行者や車両等への接触事故を未然に防ぐこと。

(3) バンド類の取付

配管等を固定するため地上高2.5m未満の位置で自在バンド等を使用するときは、出張り部の向きを調整し、歩行者等が接触する恐れのないよう配慮すること。

第3 配線工事

1 一般事項

(1) 電線の途中接続、電線管内での接続は、絶対に行わない。

(2) 電線と機器端子との接続は、緩むおそれのないように、二重ナット又はスプリングワッシャを使用し、十分締め付ける。

なお、より線の場合は圧着端子を使用する。

(3) 機器筐体内では電線を束線バンド、ビニールテープ等で束ね、整頓し、後の改良や保守業務を行う者が作業しやすいようにしておくこと。

2 架空配線工事

(1) 地上高

架空配線が道路を横断する場合は、地表上6m以上とし、歩道上で交通に支障がない場合は基本的に5m以上とする。また軌道を横断する場合は、給電線との間隔を0.6m以上とし、その他については「電気設備の技術基準の解釈について」第68条の規定に従い施工すること。

(2) 架空配線の引き留め

吊線は、支持点にシンプル、巻付クリップ等を使用し堅固に取り付け、この場合、配線に無理がないようにする。なお、引き留め時にメッセンジャーワイヤーが切断される場合は、別紙3信号機等設置図のとおりビニル絶縁電線(IV2.0mm²)とアースクランプにより切断部を接続すること。

(3) 灯器への入線（引き下げ）

灯器への配線の引き下げは、ケーブル支持金物及びツツミ形碍子等により柱に接触しないよう引き下げるほか、灯器内に余長を確保する。

(4) 接続端子函の取付

制御機立ち上がり配線と架空配線、又は灯器引き下げ配線と架空配線との接続用に、防水形の接続端子函を原則として地上高5m以上の位置に取り付ける。

なお、端子数及び取り付け柱の指定は、設計図による。

(5) 制御機立ち上がり配線

制御機からの立ち上がりケーブルは、電線管で防護し、柱上の接続端子函に接続する。

なお、電線管の先端は、雨水等の浸入を防止する処置を施すと共に、電線管及びプラントチューブがU字状になる部分については最下部に水抜き穴を施すこと。

(6) 他所管の電柱に取り付ける場合は、取付条件を遵守し、毀損したり障害を与えないようにする。また、信号機用のケーブルであることが判るよう指定のケーブル表示札を、別紙3信号機等設置図のとおり取付けること。

3 地中配線工事

地中配線にて行う場合は、次により施工すること。

- (1) 使用管路
ケーブルの埋設は管路式とし、内部に浸水しないよう施工すること。
使用する管路の形状、寸法は別途指定する。
- (2) ハンドホール等
ケーブルの接続箇所、分岐箇所及び屈折箇所には、ハンドホールを設けることとし、その形状、寸法は別途指定する。
- (3) 管路の埋設位置
管路の埋設位置については設計図によるほか、詳細については監督職員の指示による。
なお、管路の位置を示す埋設シートを管路の上部に敷設すること。
- (4) 埋設の土かぶり
土かぶりは、歩道部では0.6m以上、車道部では1.2m以上とする。ただし、保安上支障がなく、かつ道路に関する工事の実施上支障がない場合で、監督職員の指示を得た場合はこの限りでない。
- (5) 埋設土工事
管路埋設土工事に関しては、第2章「共通工事」に準拠する。

4 電線引込工事

電線引込工事は、次により施工すること。

- (1) 屋外配電盤の取付
制御機の直近の所定位置に自動遮断機、積算電力計、タイムスイッチ等必要に応じた装置を内蔵した防水形屋外配電盤を取り付ける。
工事設計書において停電対策用配電盤（窓なし）を指定している場合、通電状況を確認することができる表示灯、発電機用ケーブル差込口及び抜け防止コンセントを備えること。
- (2) 電源引込線の入線（引き下げ）
電源引込線の接続点から屋外配電盤、及び制御機までの配線は、電線管で保護する。

5 接地工事

金属筐体、メッセンジャーワイヤーはD種接地（接地抵抗100Ω以下）を施すこと。

なお、信号制御機筐体以外の接地は、信号制御機筐体の接地極と共通接地とするが、これが不可能な場合は独立接地とする。自立式機器筐体は原則として独立接地とする。

6 その他留意事項

- (1) 信号制御機、その他機器の設置及び配線等の接続に際し、雨水や虫等の侵入の恐れがある部位については、防水及び侵入防止の処理を施すこと。
- (2) 配線の確実な確認
配線の間違ひは、信号機の誤動作・滅灯などを引き起こし、これに起因する交通事故に発展する恐れがある。現場では、複数の作業員によるチェック体制を確立するとともに、平素から事故を未然に防ぐための信号機関係設備の構造研究や事故事例の検証を行い、作業員の能力向上を図るよう社内教養を徹底すること。
なお、灯器コモン線は接続不良であっても正常な動作をしているように見える場合があるため、端子接続時は特に注意すること。
- (3) 作業完了後の動作確認
信号制御機、信号灯器など交通安全施設機器を新設、更新等したときは、現示階梯図等の設定表に基づいて、目視、制御機内のパネル・ランプ等により動作確認を漏れなく確実に行うこと。
- (4) 工事機材の適正な使用

工事で使用する工具や重機等の工事機材は、取扱説明書等で示された正しい方法により使用すること。

第4章 分離発注工事

第1 分離発注工事の内容

分離発注とは、信号機の設置等工事を、機器の製造、改造等（以下「製造工事」という。）と製造工事を除く設置等の工事（以下「設置工事」という。）とで分担し、施工する工事をいう。

第2 用語の定義

1 機器

機器とは、次のものをいう。

- (1) 制御機
- (2) 配電盤
- (3) 視覚障害者用付加装置
- (4) 車両用灯器
- (5) 歩行者用灯器
- (6) 押ボタン箱
- (7) 車両感知器
- (8) その他設計図書で特に指定するもの

2 製造工事

製造工事とは、機器のうち設計図書で指定されたものの製造、改造、試験調整する工事をいう。

3 設置工事

設置工事とは、機器及び材料を使用し信号機の設置等をする工事をいう。

第3 工事の範囲等

1 製造工事

製造工事は、次により施工すること。

- (1) 機器の製造
設計図書に基づき指定された機器を製造すること。
- (2) 機器の改造
信号の制御や付加機能のために機器に必要な改造を行うこと。
- (3) 試験調整
現場に設置された機器が正常に動作するよう試験調整するほか、設定表がある場合は当該設定表に従い動作するように設定を行うこと。
- (4) 作業完了後の動作確認
製造工事は機器が現場において正常に動作することをもって完成とするため、信号制御機、信号灯器など交通安全施設機器を新設、更新等したときは、現示階梯図等の設定表に基づいて、目視、制御機内のパネル・ランプ等により動作確認を漏れなく確実にを行うこと。
- (5) その他
機器の納入場所は、別途発注する設置工事の工事現場を原則とし、時期等について設置工事の受注者と連絡調整を行うこと。

2 設置工事

設置工事は、次により施工すること。

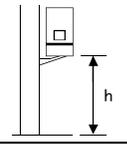
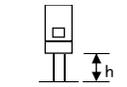
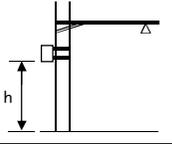
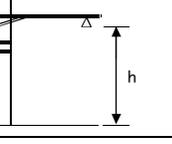
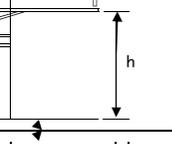
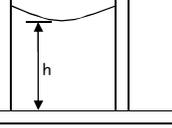
- (1) 土木工事
第2章「共通工事」に準拠する。
- (2) 基礎工事
第2章「共通工事」に準拠する。

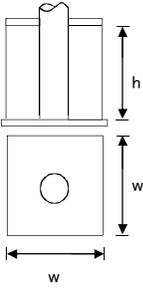
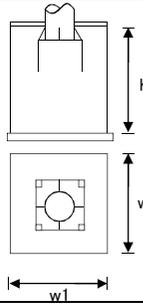
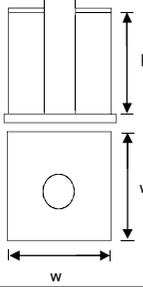
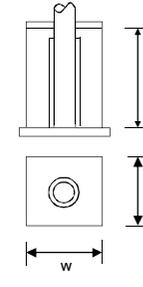
- (3) 信号専用柱工事
第3章「信号機等設置工事」に準拠する。
- (4) 信号機等設置工事
第3章「信号機等設置工事」に準拠する。
- (5) 配線工事
第3章「信号機等設置工事」に準拠する。

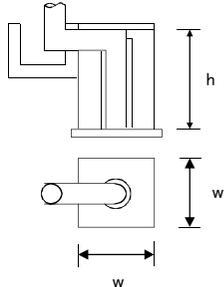
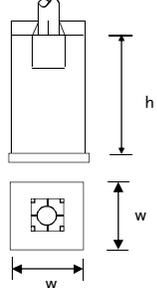
第4 受注者間の協力

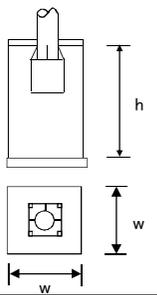
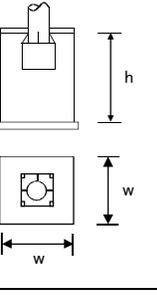
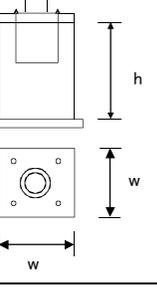
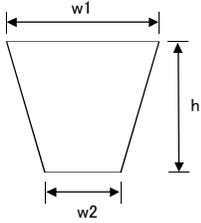
製造工事及び設置工事の受注者は円滑に工事が完成するよう、必要な事項について連絡及び連携を図り、相互に協力すること。

また、疑義が生じた場合は速やかに監督職員の指示を受けること。

章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
交通信号機設備	交通信号機工	交通信号制御機取付工	信号制御機	側柱式制御機取付工	高さ h	±100	取付箇所毎。制御機下部から測定。 D型配電盤使用の場合は、配電盤本体下部から測定。		側柱式視覚障害者用付加装置制御機は、本規格値を適用する。
				自立式制御機取付工	高さ h	±100	取付箇所毎。制御機下部から測定。 D型配電盤使用の場合は、配電盤本体下部から測定。		
		車両用感知器取付工 無線伝送装置取付工	車両用感知器筐体	取付工	高さ h	±100	取付箇所毎。		一灯点滅式信号機制御機及び無線伝送装置制御機は、本規格値を適用する。
			送受波器	取付工	高さ h	+500	取付箇所毎。 送受波器本体下部から測定。		
	アンテナ			取付工	高さ h	基準値以上	取付箇所毎。 アーム下部から測定。		
	架空ケーブル工	制御・通信ケーブル架線工	架線工	高さ h	基準値以上	ケーブルたるみの最低部で測定。			

章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
交通信号機設備	信号柱工	信号柱基礎工	信号柱基礎	基礎工(B型)	高さ h	+50	基礎一基毎。		以下、信号柱工については、現場の埋設物等の支障物件の有無により、変形基礎とする場合は、監督員と協議のうえ施工する。 適用範囲は、基礎のコンクリート部分とする。
					幅 w	+50			
	基礎工(ベース型)	高さ h	+50	基礎一基毎。					
		幅 w	+50						
交通信号機設備	信号柱工	信号柱基礎工	信号柱基礎	配筋工	高さ h	+50	基礎一基毎。		
					幅 w	+50			
	細径柱基礎	基礎工(直管)	高さ h	+50	基礎一基毎。				
			幅 w	+50					

章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
交通信号機設備	信号柱工	信号柱基礎工	細径柱基礎	基礎工(曲管)	高さ h	+50	基礎一基毎。		
					幅 w	+50			
				基礎工(ベース型)	高さ h	+50	基礎一基毎。		
					幅 w	+50			

章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
交通信号機設備	自立式信号設備工	自立式歩行者用灯器設置工		基礎工	高さ h	+50	基礎一基毎。		以下、自立式信号設備工については、現場の埋設物等の支障物件の有無により、変形基礎とする場合は、監督員と協議のうえ施工する。	
					幅 w	+50				
		自立式押ボタン装置設置工		基礎工	高さ h	+50	基礎一基毎。			
					幅 w	+50				
		自立式制御機設置工		基礎工	高さ h	+50	基礎一基毎。			
					幅 w	+50				
	埋設工	管路埋設工			埋設工(舗装厚3cm)	深さ h	±30	1施工箇所につき1箇所。		以下、埋設工については、埋設物等の支障物件の有無により、変形埋設とする場合は、監督員と協議のうえ、施工する。
						幅 w1, w2	±30			

章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
交通信号機設備	埋設工	管路埋設工		埋設工(舗装厚5cm)	深さ h	±30	1施工箇所につき1箇所。		
					幅 w1, w2	±30			
				埋設工(舗装厚10cm)	深さ h	±30	1施工箇所につき1箇所。		
					幅 w1, w2	±30			

工事完了後チェックシート

工実施日	令和 年 月 日
施工業者名	
上記実施日に施工した場所	
上記実施日に施工した内容 ※該当に○をし、数量を記載	・信号制御機 更新・移設()基 ・歩灯 更新・移設()灯 ・押ボタン箱 更新・移設()個 ・信号柱 更新・移設()本 ・その他() ・車灯 更新・移設()灯 ・車両感知器 更新・移設()ヘッド ・視覚障害者付加装置 更新・移設()基 ・ケーブルの張替・引留替え()径間
特記事項	

種別	責任者	実施者	チェックポイント
工程連絡			・工事実施前に監督員に工事予定日等の連絡をしている。
共通項目			・設計図面で指定した位置に、指定した規格の機器が設置されている。
			・設置する機器に損傷や部品の欠落などの欠陥がない。
			・日常の出来形管理を的確に行い、設置高さ等の基準が守られている。
			・機器は確実に固定されており、ナット等に緩みがない。
			・機器筐体の扉は確実に閉められており、衝撃等で開くことがない。
信号制御機			・現示階梯図で示すとおりに動作している。(全灯器を確認)
			・設定表のとおりに正しく設定されている。(すべての設定項目を確認)
			・半感应、連動機能などオプション機能の動作は仕様書に規定されたとおりである。
			・地域制御機の場合は、下位装置との通信が正常である。
車両用灯器			・現示階梯図で示すとおりに動作している。
			・灯器の向き・角度は適正である。
歩行者用灯器			・現示階梯図で示すとおりに動作している。
			・灯器の向き・角度は適正である。
車両感知器			・車両を感知したときは制御機内の感知ランプが点灯する。
			・車両を感知して所定の信号現示が表示される。
押ボタン箱			・押ボタンを押すことにより所定の信号現示が表示される。
			・押ボタン箱の窓に「おまちください」「おしてください」が正常に表示される。
視覚障害者用付加装置			・歩行者信号が青のときスピーカーから誘導音が出力されている。
			・南北方向が「ピヨ」「ピヨピヨ」、東西方向が「カッコー」「カカッコー」となっている。
			・音量は移設、更新前と同じである。
信号柱			・柱に傾きがない。
			・路面の復旧が適正に行われている。
			・設置替えした機器の動作は正常である。
			・柱間ケーブルを付け替えたととき、関係する全ての機器の動作が正常である。
その他			・責任者が積荷の状況を確認し、過積載防止に取り組んでいる。
			・現場内の整理整頓、後片付け、清掃を日常的に行っている。
			・保安施設の設置、警備員の配置は、道路使用許可証どおり適切に実施している。

工事完了後に確認した結果は上記チェックシートのとおりです。

確認責任者 _____ 印

確認実施者 _____ 印

※ チェックシートは、信号工事を実施した日毎に作成し、作成後遅滞なく電子メール、FAX又は持参により監督員へ提出すること。
 ※ チェックポイントに従って確認し、適正であれば責任者・実施者欄に○を記入すること。
 ※ 確認責任者だけでなく、他の作業員等、複数人による確認を実施すること。

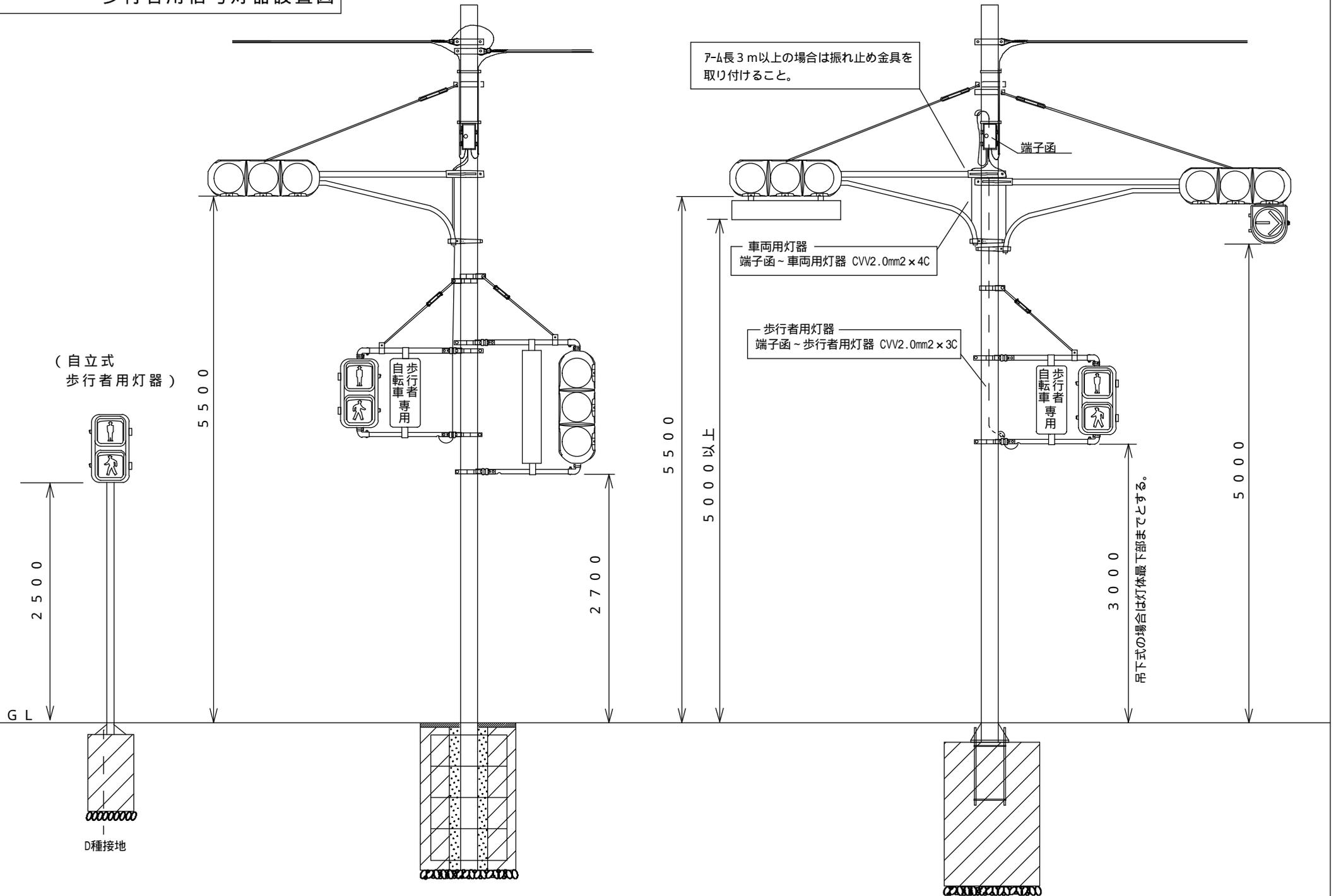
別紙 3 信号機等設置図

図番 1	車両用灯器歩行者用信号灯器設置図
図番 2	一灯点滅式信号機設置図
図番 3	信号制御機設置図 (1)
図番 4	信号制御機設置図 (2)
図番 5	車両感知器・押ボタン箱・無線伝送装置設置図
図番 6	視覚障害者用付加装置 高齢者等感応用押ボタン箱設置図
図番 7	架空ケーブル・専用柱設置図
図番 8	専用柱基礎仕様図
図番 9	管路埋設自立式機器用基礎等仕様図
図番 1 0	可変標識設備設置図

図番 1 車両用灯器
歩行者用信号灯器設置図

(外配線方式)

(柱内配線方式)



図番 2 一灯点滅式信号機設置図

受電線 (中電施工)

一灯点滅式信号制御機
電源引込口 ~ 制御機 CV5.5 x 2C
端子函 ~ 制御機 CVV2.0mm2 x 3C
制御機 ~ 接地棒 1V2.0mm2

一灯点滅式信号制御機

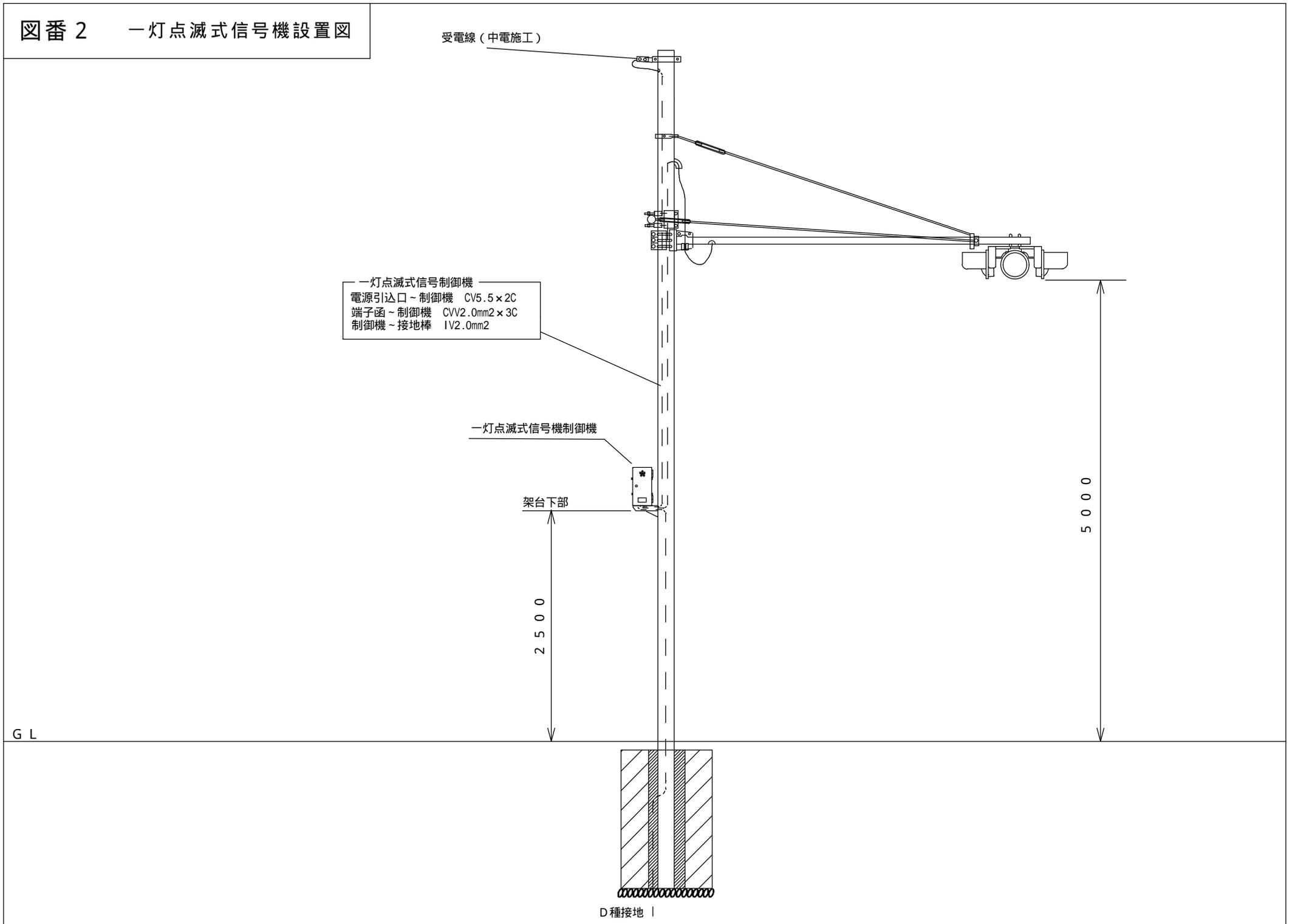
架台下部

2500

5000

GL

D種接地 |

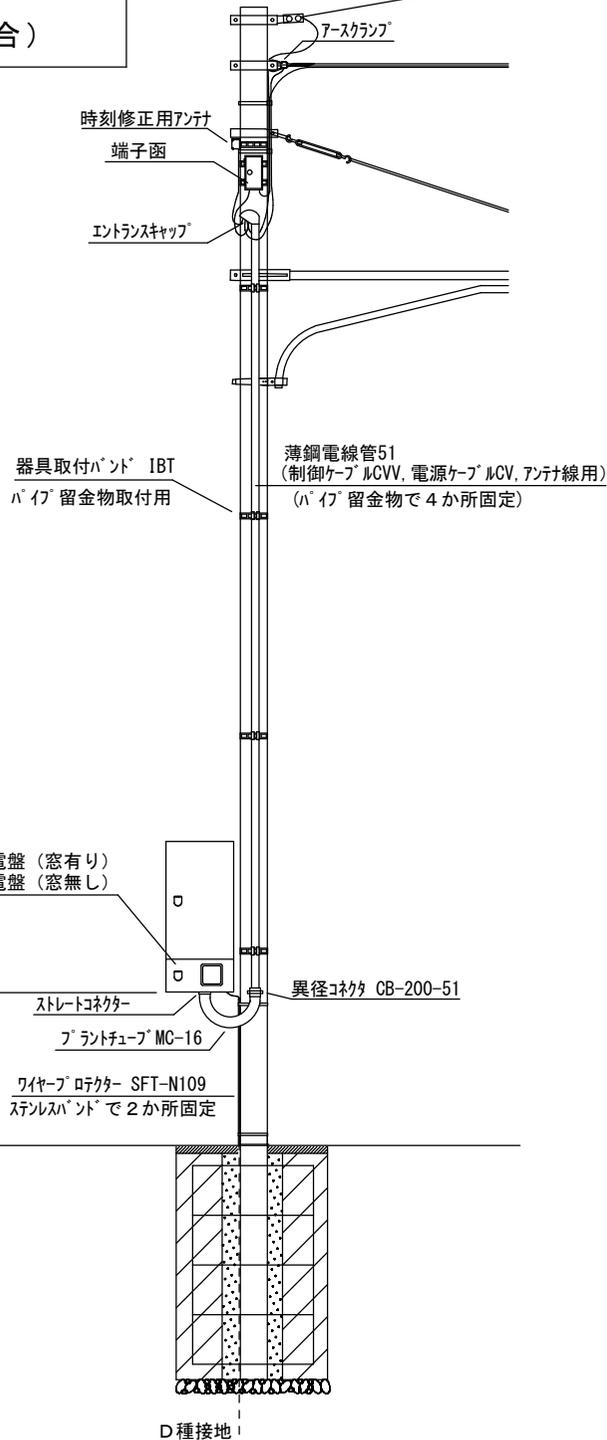


図番3 信号制御機設置図(1)

(配電盤設置の場合)

(外配線方式)

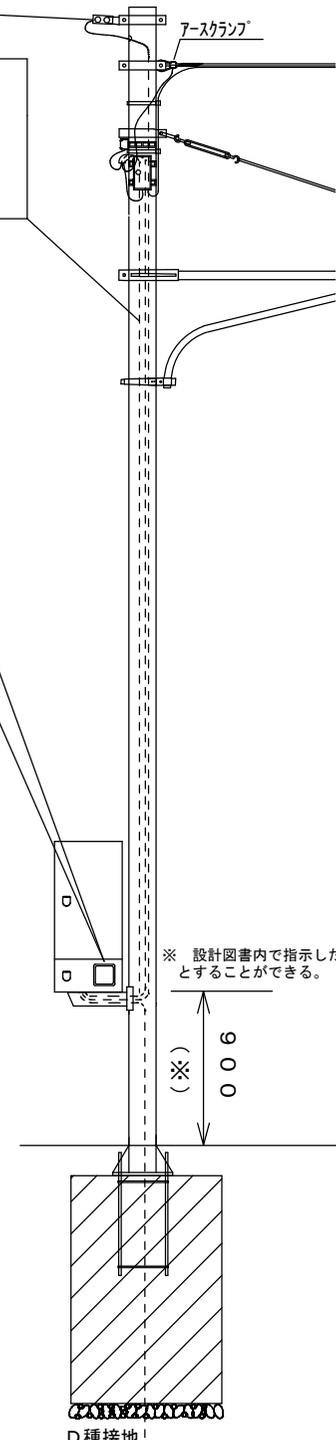
受電線(中電施工)



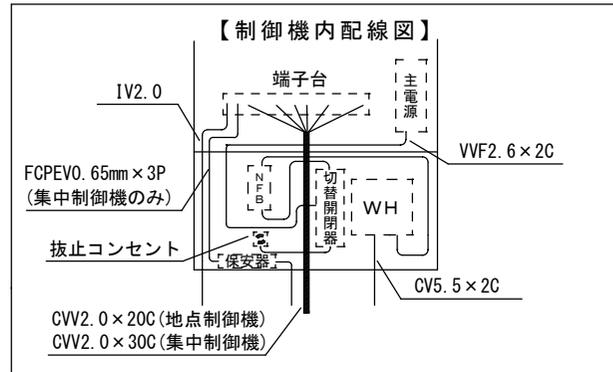
(柱内配線方式)

受電線(中電施工)

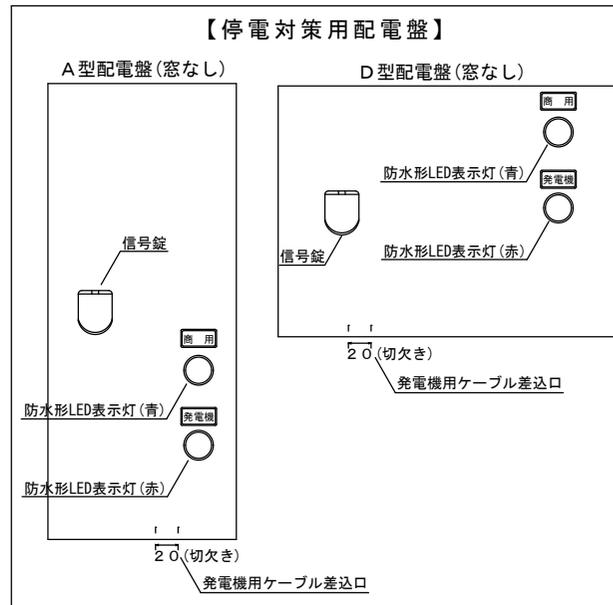
- 信号制御機
- 電源引込口～配電盤 CV5.5×2C
 - 端子箱～制御機 CVV2.0mm2×20C(地点制御機)
CVV2.0mm2×30C(集中制御機)
 - 制御機～時刻修正用アンテナ アンテナ線
 - メッセンジャーワイヤー～制御機 IV2.0mm2
 - 制御機～接地棒 IV2.0mm2



【制御機内配線図】

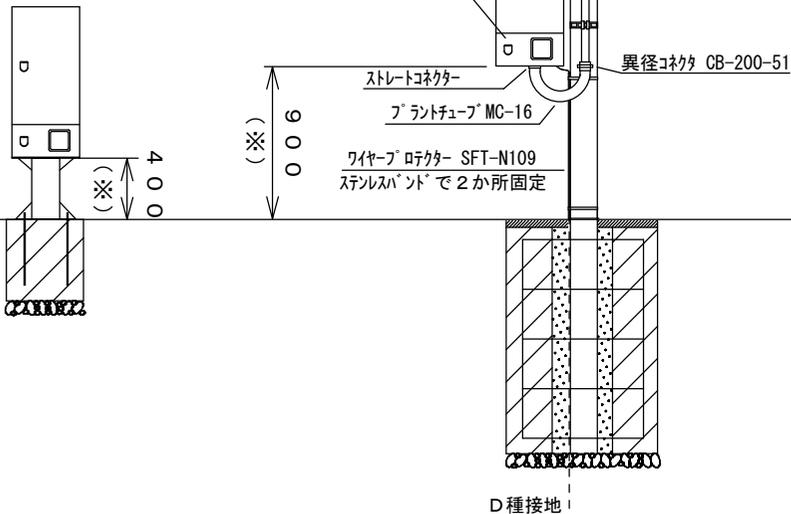


【停電対策用配電盤】



(自立式)

従量制受電: 配電盤(窓有り)
定額受電: 配電盤(窓無し)



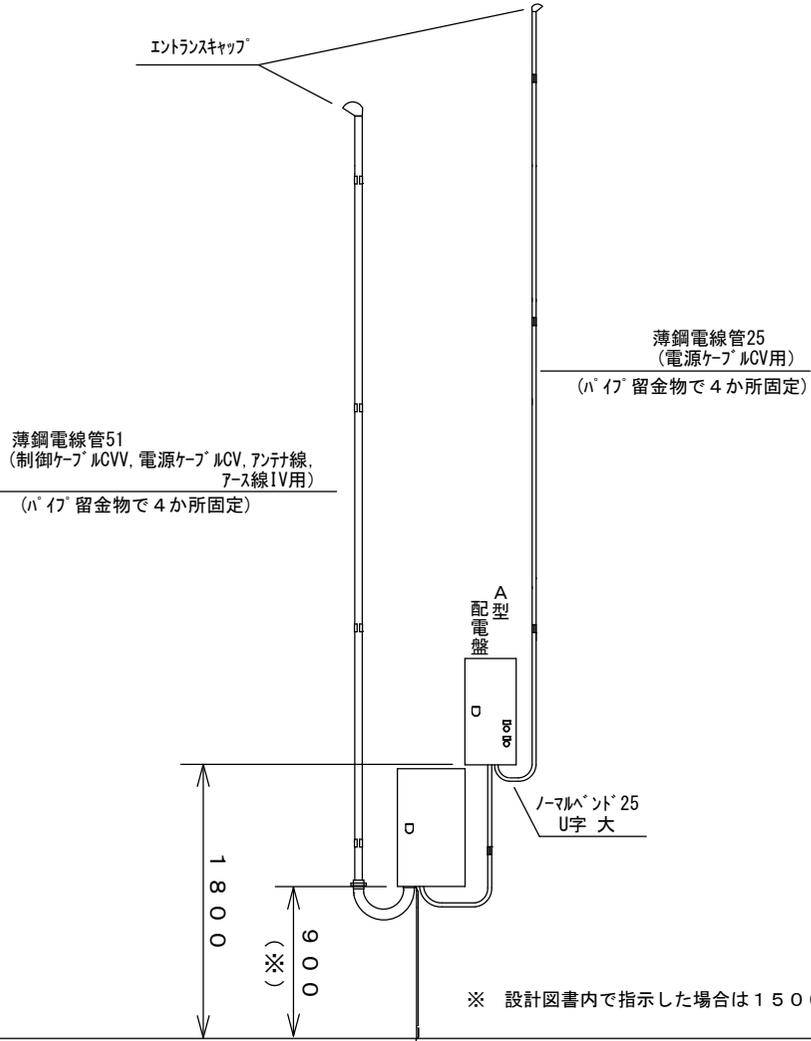
※ 設計図書内で指示した場合は1500mm以上とすることができる。

900

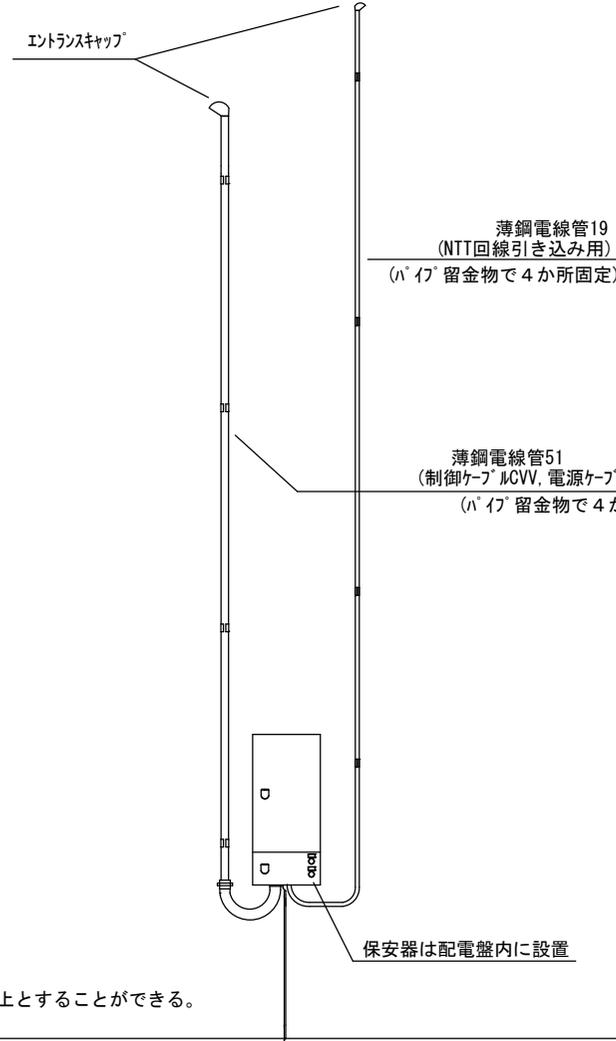
図番 4 信号制御機設置図 (2)

(集中制御機配管図)

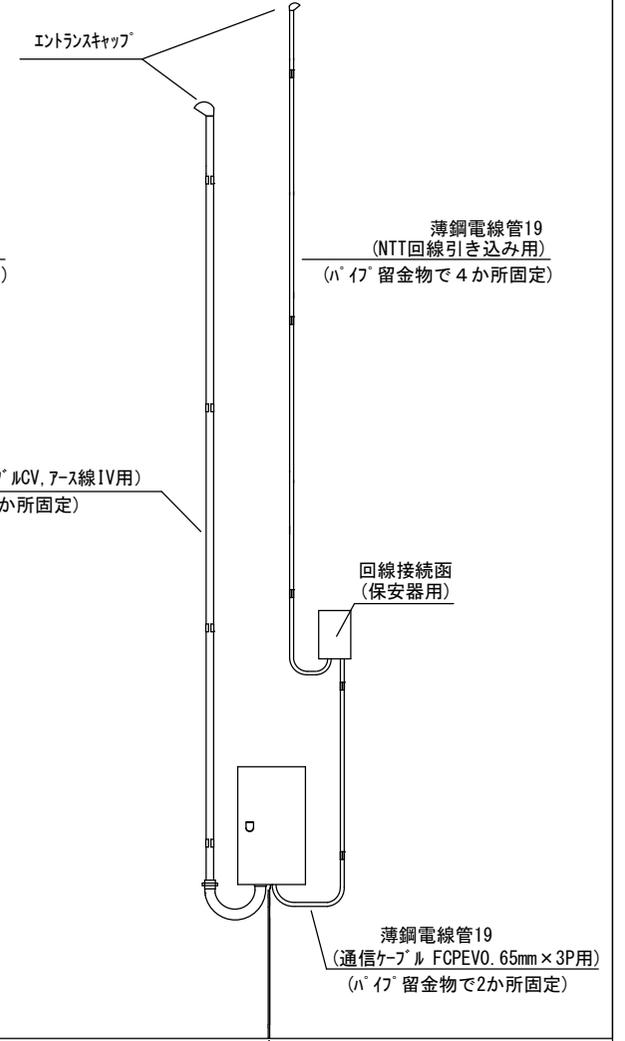
(A型配電盤使用時)



(D型配電盤使用時)



(回線接続函使用時)



D種接地

D種接地

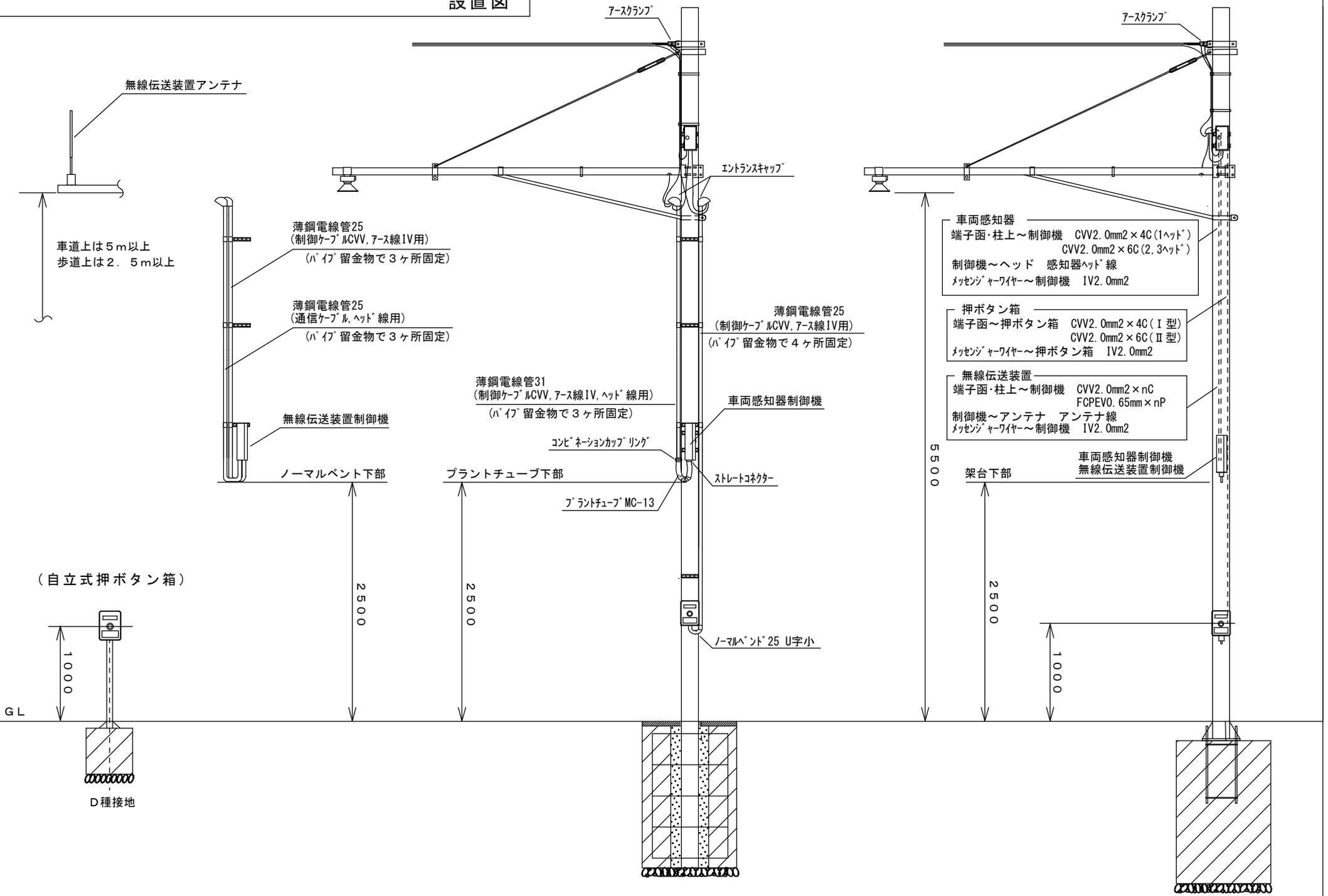
D種接地

図番 5

車両感知器・押ボタン箱・無線伝送装置
設置図

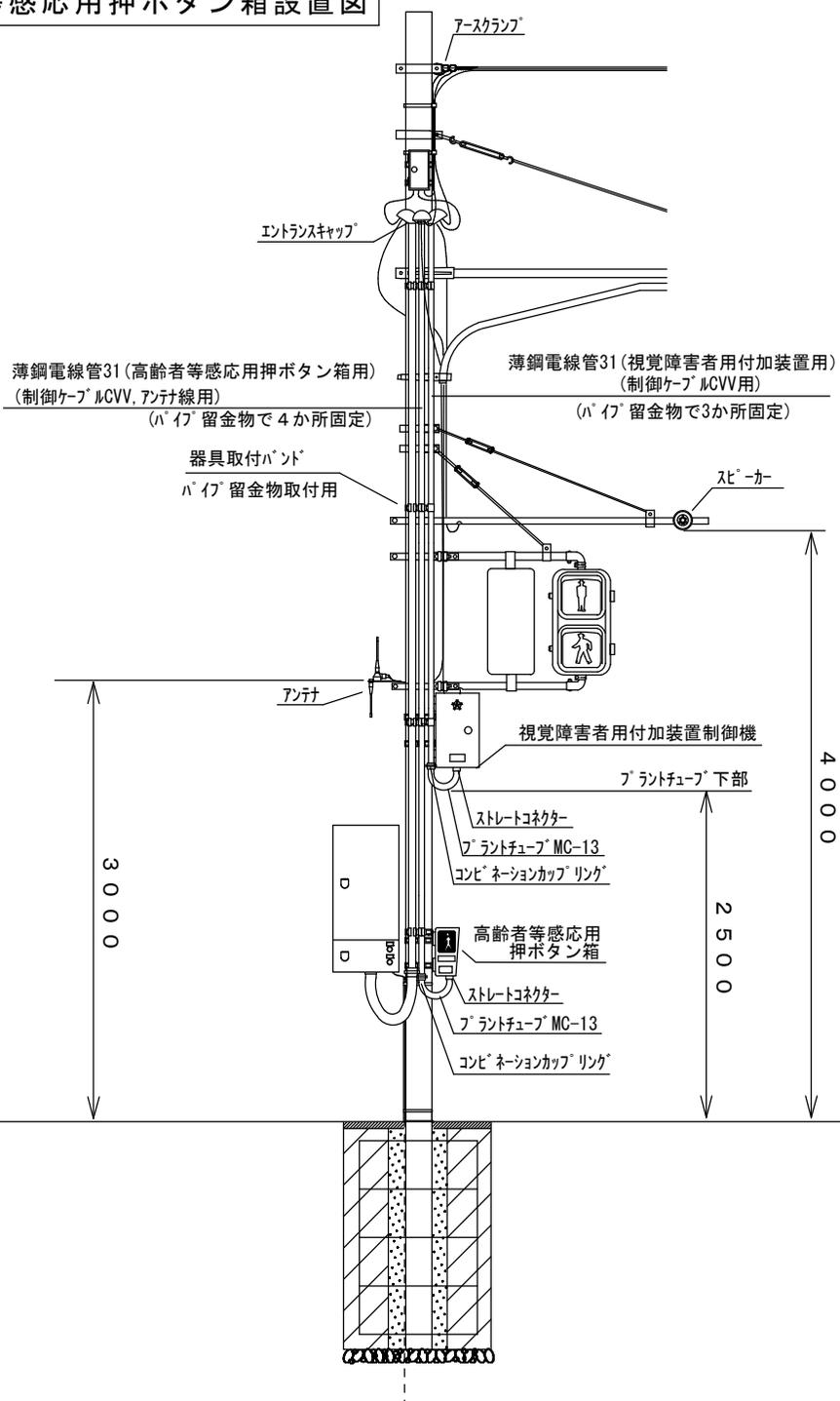
(外配線方式)

(柱内配線方式)

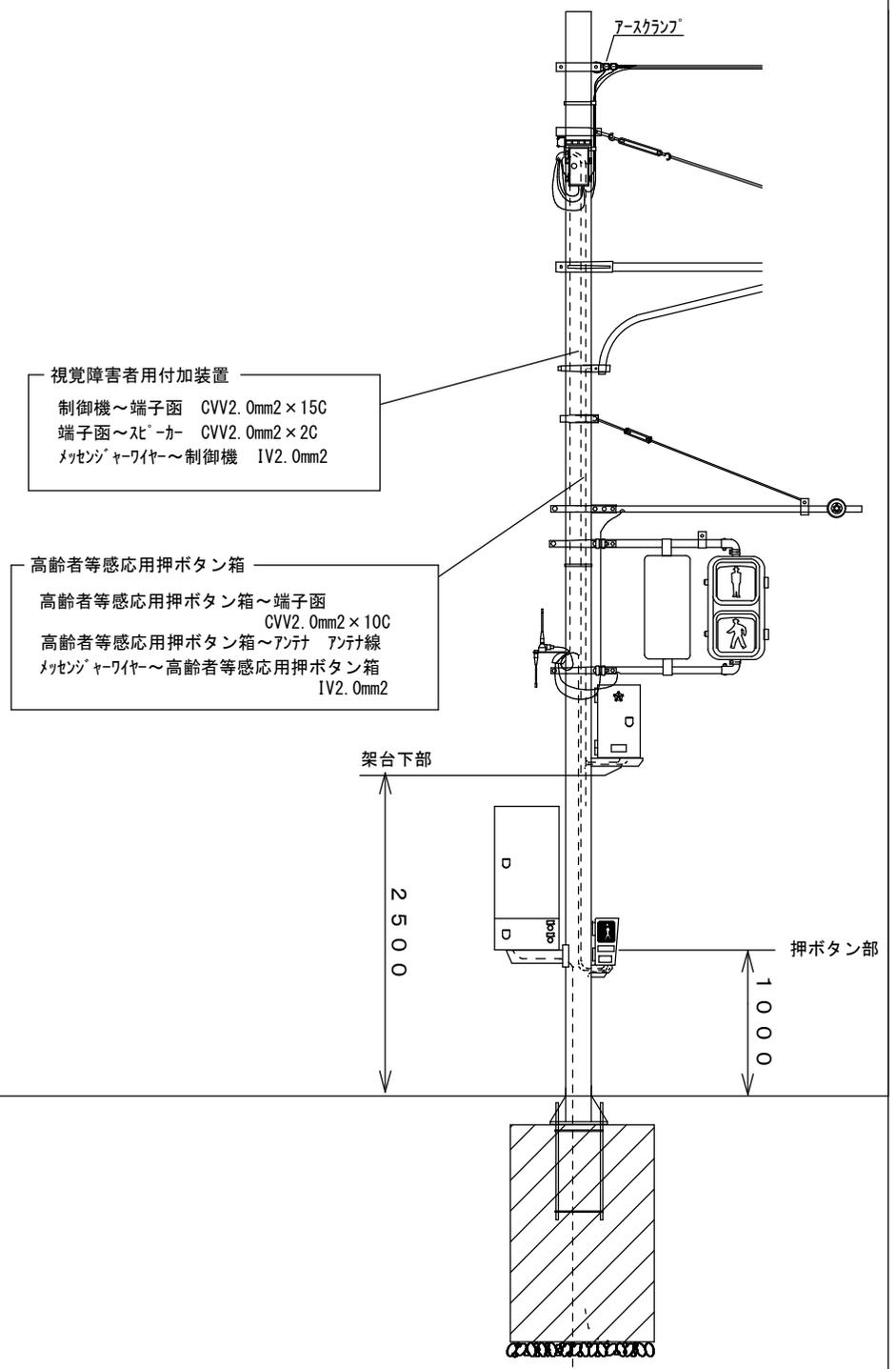


図番 6 視覚障害者用付加装置
高齢者等感応用押ボタン箱設置図

(外配線方式)



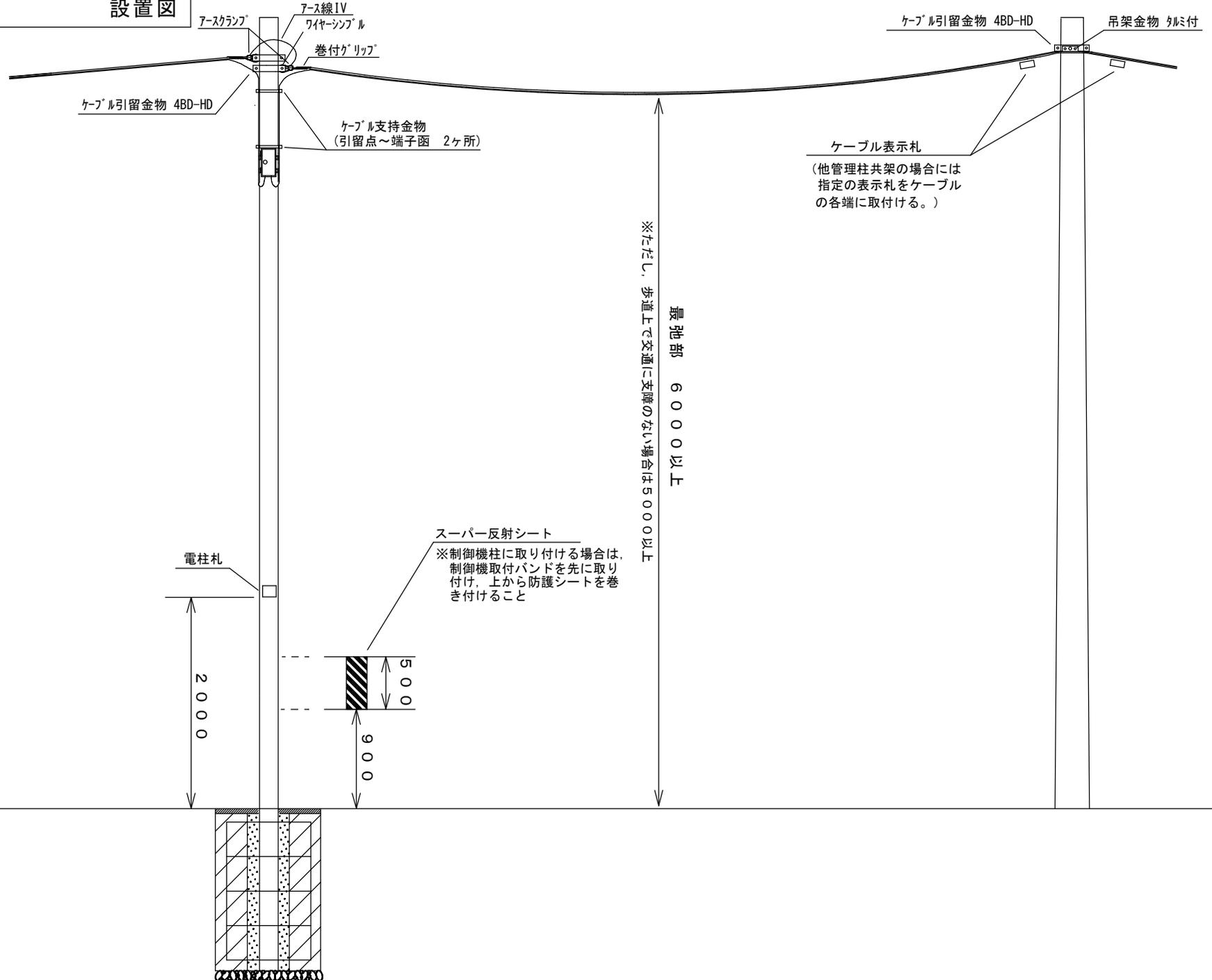
(柱内配線方式)



図番 7 架空ケーブル・専用柱
設置図

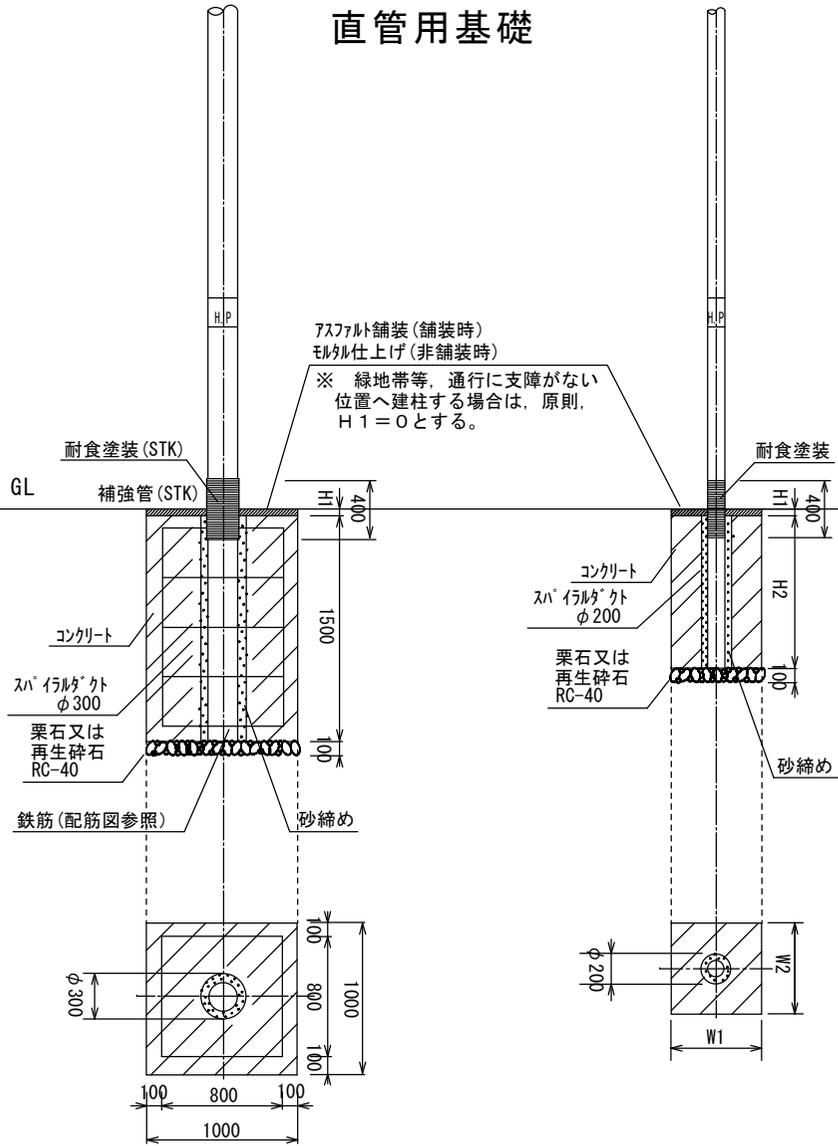
(ケーブル引留金物で引留の場合)

(吊架金物で引留の場合)



図番 8 専用柱基礎仕様図

直管用基礎

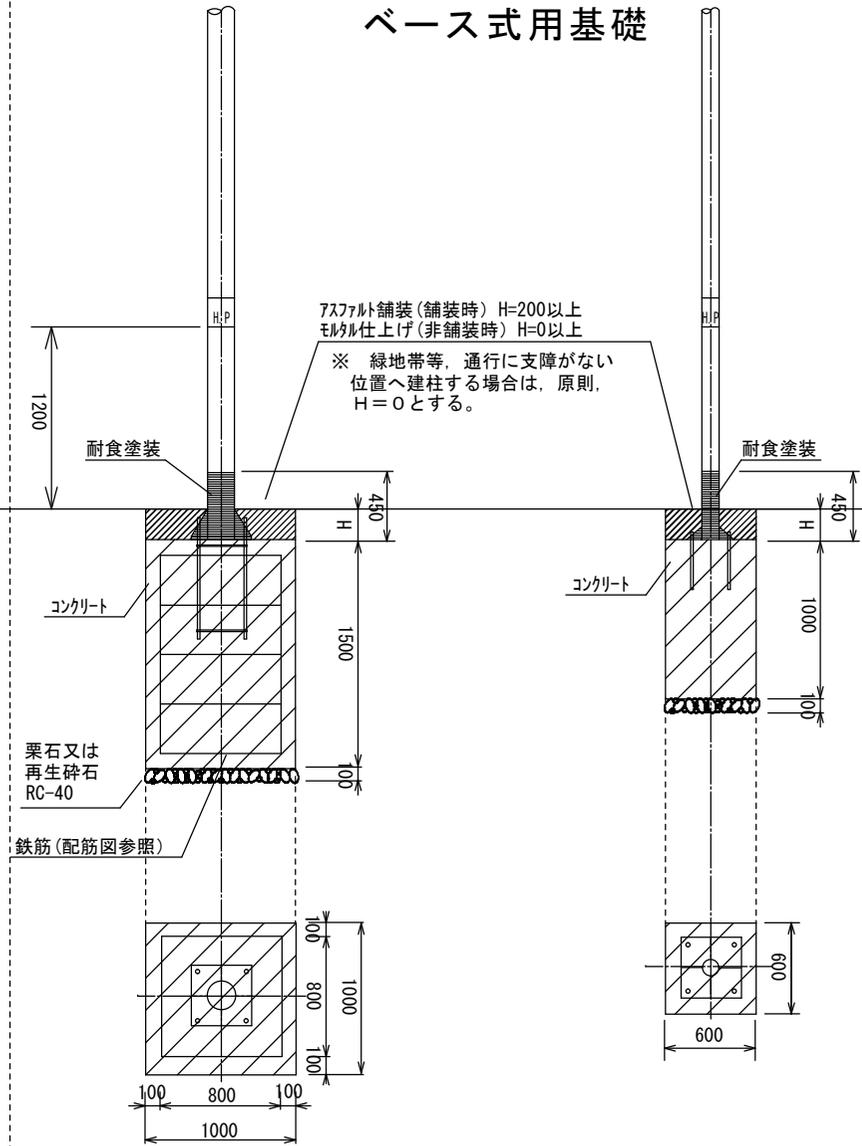


適用 : CP9-14-500
STK φ 165.2-9000L 直管
STK φ 190.7-9000L 直管
STK φ 216.3-9000L 直管

適用 : STK φ 114.3-6000L 直管
(H2=1000 W1=600 W2=600)
STK φ 114.3-9000L 直管
(H2=1500 W1=800 W2=800)

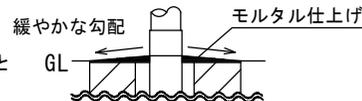
※ H・H1=0の場合
地際部に雨水等が溜まらないように, モルタル金ごてで信号柱に向けて緩やかな勾配をつけること
基礎上部に土砂等を被せないこと

ベース式用基礎

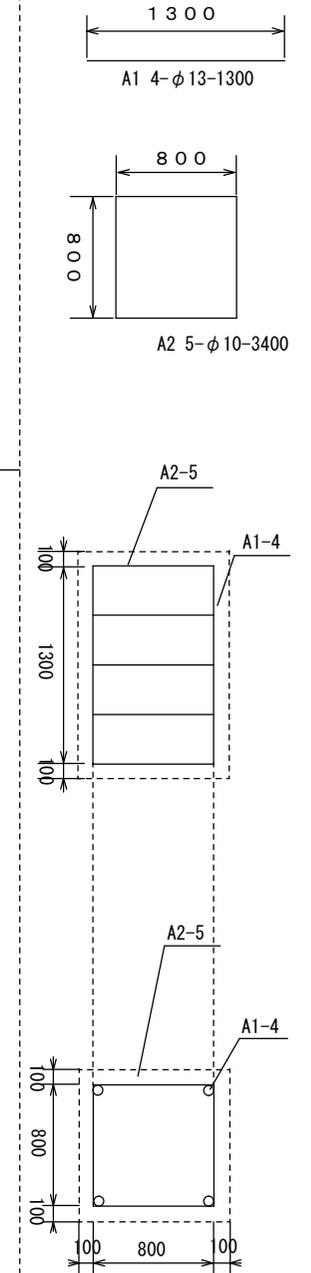


適用 : STK φ 165.2 BP-1, 2, 4~6
STK φ 190.7 BP-1, 2, 4~6
STK φ 216.3 BP-1, 2, 4~6

適用 : STK φ 114.3 ベース式

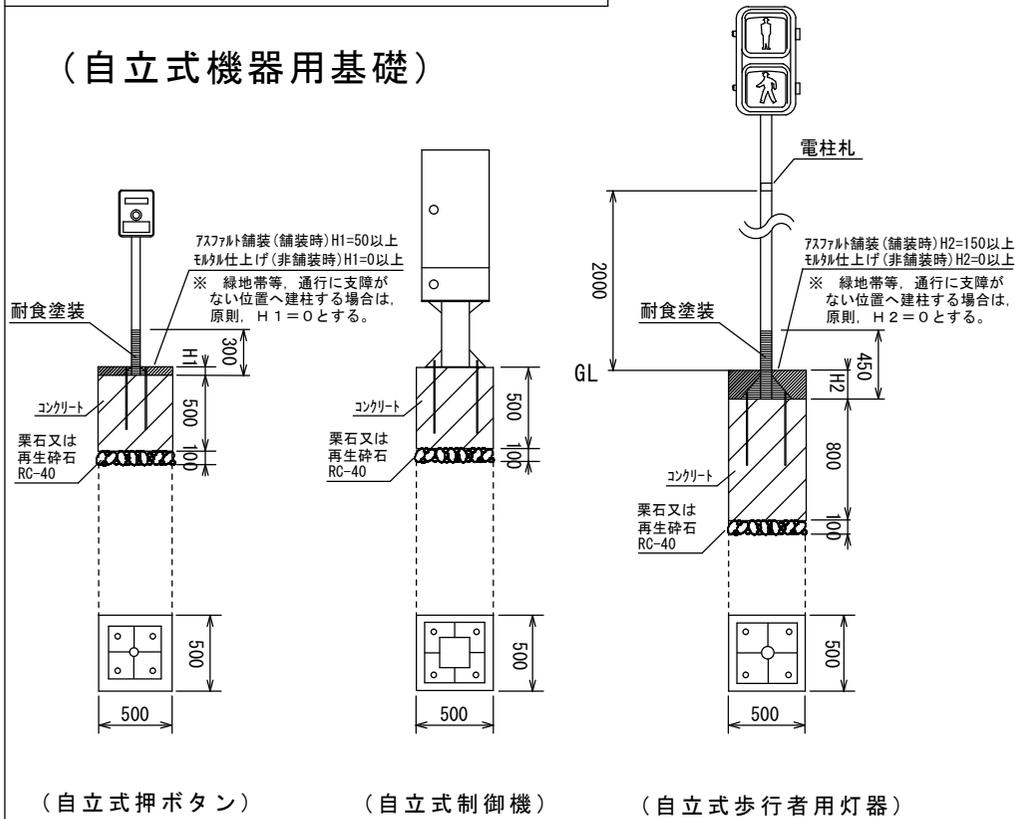


配筋図



図番 9 管路埋設
自立式機器用基礎等仕様図

(自立式機器用基礎)



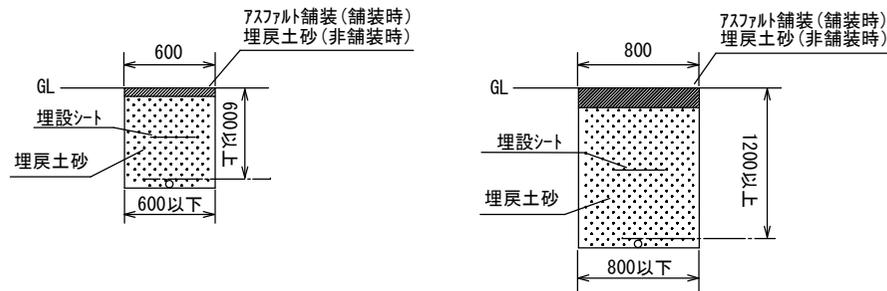
(自立式押ボタン)

(自立式制御機)

(自立式歩行者用灯器)

※ H1・H2=0の場合
地際部に雨水等が溜まらないように、モルタル金ごてで信号柱に向けて緩やかな勾配をつけること
基礎上部に土砂等を被せないこと

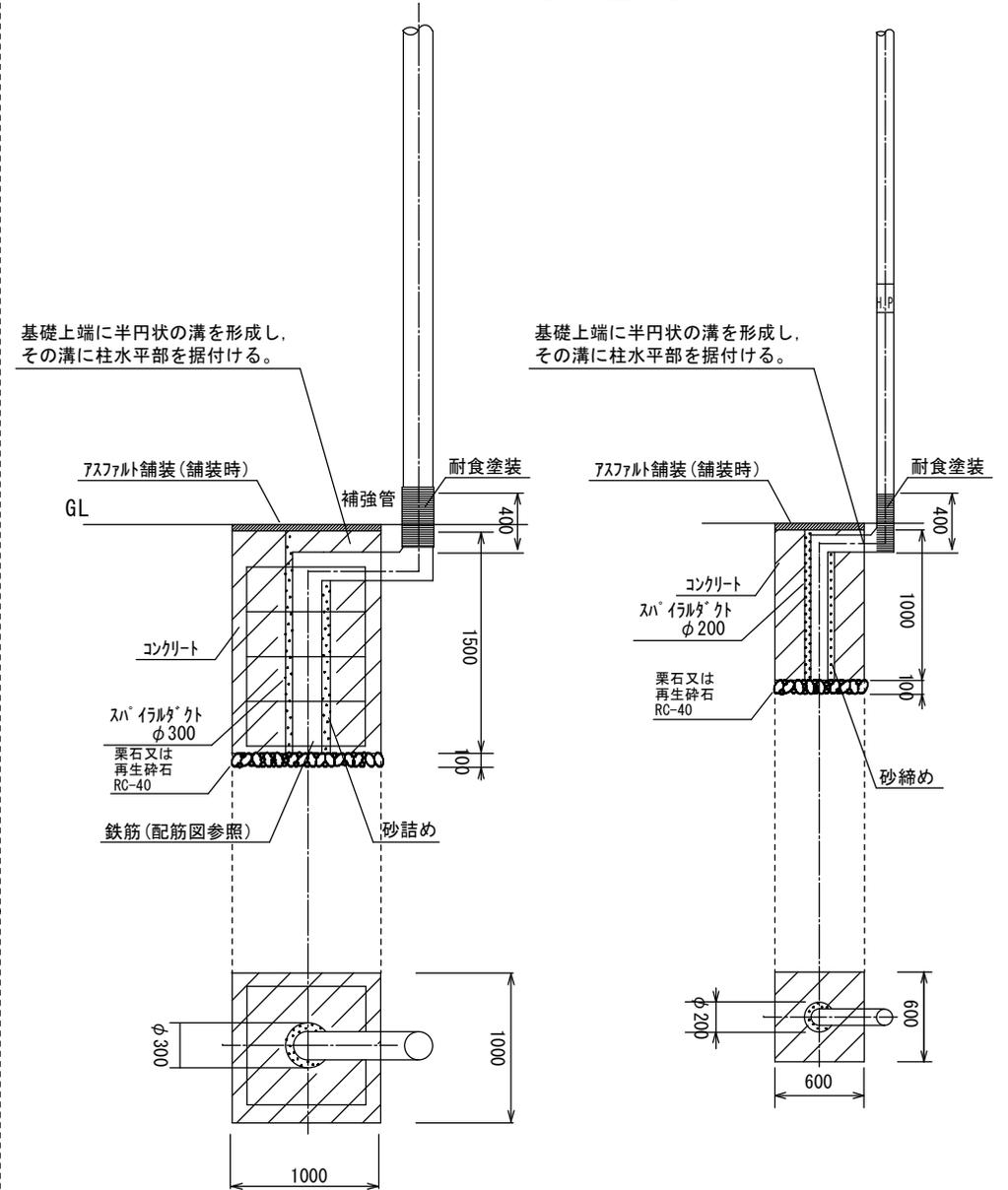
(管路埋設)



(歩道部埋設時)

(車道部埋設時)

曲管用基礎



基礎上端に半円状の溝を形成し、その溝に柱水平部を据付ける。

基礎上端に半円状の溝を形成し、その溝に柱水平部を据付ける。

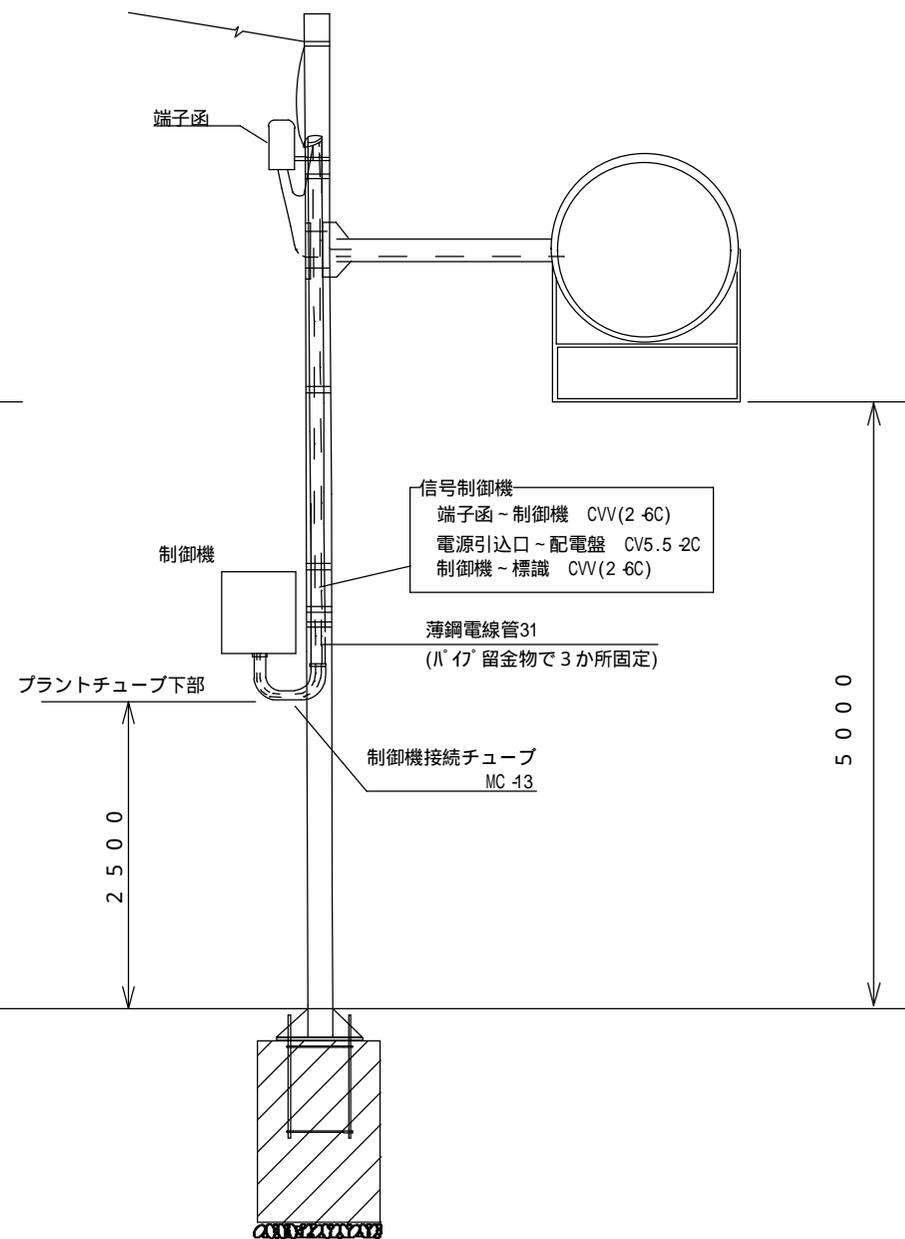
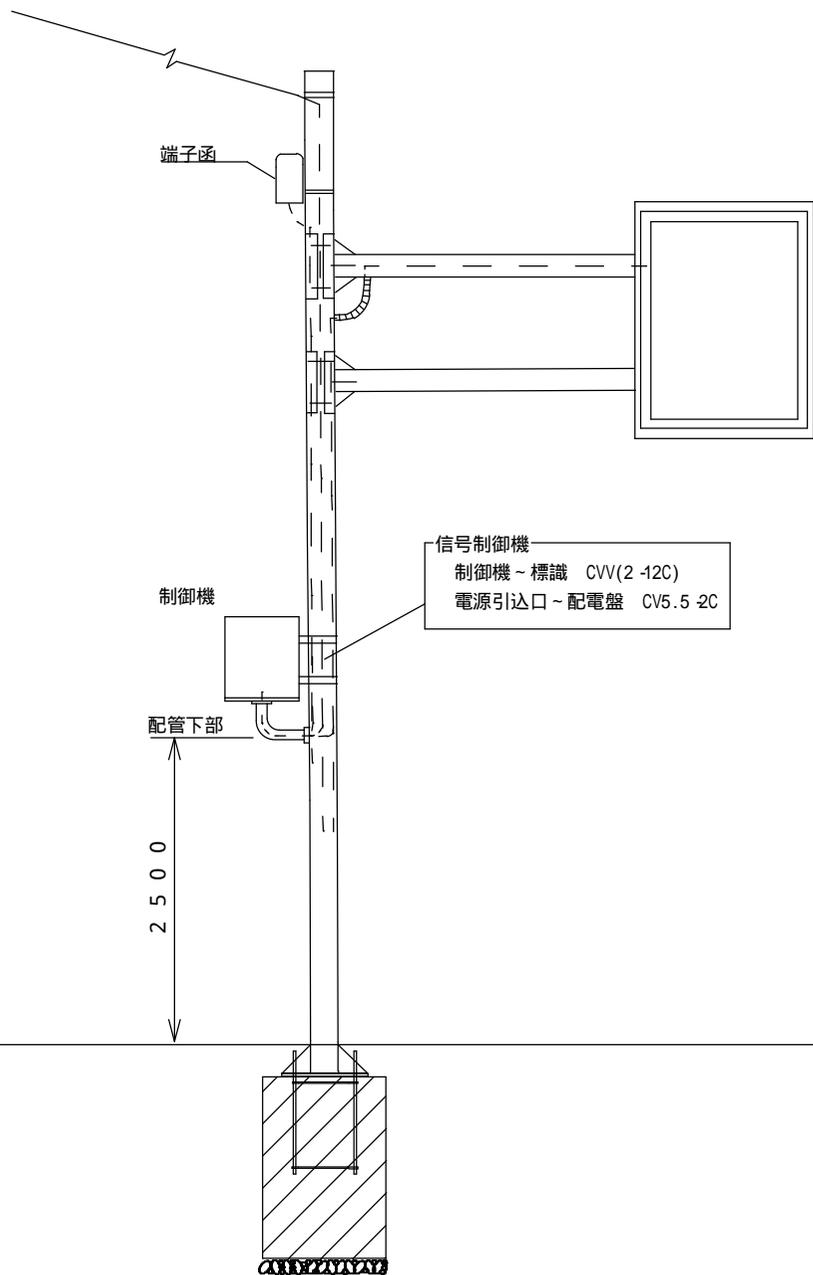
適用 : STK φ 165.2-9000L 曲管
STK φ 190.7-9000L 曲管
STK φ 216.3-9000L 曲管

適用 : STK φ 114.3-6000L 曲管

図番 1 0 可変標識設備設置図

(3 可変灯火式)

(単独全反射式)



総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 70 福山市 00-07.07.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 04 道路改良工事 03 一般交通影響有り(1) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路改良					Y1E01 レベル1
	1	式			
道路土工					Y1E0101 レベル2
	1	式			
掘削工					Y1E010101 レベル3
	1	式			
掘削 【土質,施工方法,押土の有無】 【障害の有無,施工数量】					Y1E01010101 レベル4
		m3			
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準					SPK24040001 00
	9	m3			単第0 -0001 表
残土処理工					Y1E010110 レベル3
	1	式			
土砂等運搬 【土質】					Y1E01011002 レベル4
		m3			
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離9.0km以下(7.0km超)					SPK24040002 00
	2	m3			単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土等処分		m3			Y1E01011003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 砂質土	2	m3			T9003 00
排水構造物工	1	式			Y1E0109 レベル2
作業土工	1	式			Y1E010901 レベル3
床掘り 【土質】		m3			Y1E01090102レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	170	m3			SPK24040015 00 単第0 -0003 表
埋戻し 【土質区分,土質】		m3			Y1E01090103レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	130	m3			SPK24040020 00 単第0 -0004 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	30	m3			SPK24040020 00 単第0 -0004 表
再生碎石 RC-40	40	m3			F0001 00
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1E01090111 レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離0.2km以下	180	m3			SPK24040002 00 現場 仮置場 単第0 -0005 表
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	180	m3			SPK24040007 00 単第0 -0006 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離0.2km以下	180	m3			SPK24040002 00 仮置き場 現場 単第0 -0005 表
側溝工	1	式			Y1E010903 レベル3
プレキャストU型側溝 【U型側溝規格】		m			Y1E01090301 レベル4
管(函)渠型側溝 据付 200mm以上300mm以下 円形側溝(各種) 基礎碎石有り	79	m			SPK24040094 00 単第0 -0007 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼製側溝設置 ボルト固定 細目 H=90 L=600	7	m			V0041 00 単第0 -0008 表
自由勾配側溝 【側溝規格】		m			Y1E01090304レベル4
自由勾配側溝 材料別途 1000 重量	3	m			SDT00015 00 単第0 -0012 表
自由勾配側溝 材料別途 1000<重量 2000	82	m			SDT00015 00 単第0 -0013 表
自由勾配側溝 材料別途 2000<重量 2900	6	m			SDT00015 00 単第0 -0014 表
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	4	m3			T1030063 00
材料費 自由勾配側溝本体	1	式			V0030 00 単第0 -0015 表
側溝蓋 【蓋版の規格】		枚			Y1E01090305レベル4
蓋版 蓋版(各種) 40<重量 170 コンクリート蓋 T-2	42	枚			SDT00017 00 単第0 -0016 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
蓋版 自由勾配側溝ふた 400[500×110×500]	20	枚			SDT00017 00 単第0 -0017 表
蓋版 蓋版(各種) 40 重量 グレーチング蓋 T-2	15	枚			SDT00017 00 単第0 -0018 表
蓋版 蓋版(各種) 40 重量 グレーチング蓋 T-25	7	枚			SDT00017 00 単第0 -0019 表
管渠工	1	式			Y1E010904 レベル3
暗渠排水管 【作業区分,管種別,管径】		m			Y1E01090403 レベル4
暗渠排水管 据付 直管 50～150mm 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径100mm	0.5	m			SPK24040092 00 単第0 -0020 表
暗渠排水管 据付 直管 50～150mm 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径125mm	2	m			SPK24040092 00 単第0 -0021 表
暗渠排水管 据付 直管 200～400mm 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径200mm	0.5	m			SPK24040092 00 単第0 -0022 表
暗渠排水管 据付 直管 200～400mm 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径400mm	0.5	m			SPK24040092 00 単第0 -0023 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
暗渠排水管 150、砂基礎	6	m			V0003 00 単第0 -0024 表
集水枡・マンホール工	1	式			Y1E010905 レベル3
プレキャスト集水枡 【枡規格】		箇所			Y1E01090504 レベル4
1号プレキャスト集水枡 600*600*1800	1	基			V0007 00 単第0 -0027 表
2号プレキャスト集水枡 700*700*2000	1	基			V0033 00 単第0 -0031 表
3号プレキャスト集水枡 700*700*1750	1	基			V0034 00 単第0 -0033 表
4号プレキャスト集水枡 600*600*1600	1	基			V0035 00 単第0 -0035 表
管渠型側溝枡 B300*H500*L1000	3	基			V0012 00 単第0 -0036 表
管渠型側溝枡 B300*H500*L1000 端部	2	基			V0038 00 単第0 -0039 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装工					Y1E0204 レベル2
	1	式			
アスファルト舗装工					Y1E020404 レベル3
	1	式			
下層路盤 【路盤材種類,路盤材規格,仕上り厚】					Y1E02040402レベル4
		m2			
下層路盤 全仕上り厚150mm 1層施工 RC-40					SPK24040233 00
	52	m2			単第0 -0040 表
上層路盤 【路盤材種類,路盤材規格,仕上り厚】					Y1E02040404レベル4
		m2			
上層路盤 全仕上り厚100mm 1層施工 RM-30					SPK24040235 00
	53	m2			単第0 -0041 表
基層(車道・路肩部) 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】					Y1E02040405レベル4
		m2			
基層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm					SPK24040239 00
	54	m2			単第0 -0042 表
表層(車道・路肩部) 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】					Y1E02040409レベル4
		m2			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚41mm	78	m2			SPK24040241 00 単第0 -0043 表
アスファルト舗装工	1	式			Y1E020404 レベル3
上層路盤(歩道部) 【路盤材種類,路盤材規格,仕上り厚】		m2			Y1E02040404レベル4
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚150mm 1層施工 路盤材(各種)	55	m2			SPK24040235 00 単第0 -0044 表
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 路盤材(各種)	116	m2			SPK24040235 00 単第0 -0045 表
表層(歩道部) 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】		m2			Y1E02040410レベル4
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	17	m2			SPK24040244 00 単第0 -0046 表
表層(歩道部) 平均幅員1.4m以上 1層当り平均仕上厚50mm	153	m2			SPK24040244 00 単第0 -0047 表
コンクリート舗装工	1	式			Y1E020412 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート舗装 【Co規格, Co規格, 舗装厚】		m2			Y1E02041207 レベル4
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚150mm 1層施工 路盤材(各種)	46	m2			SPK24040235 00 単第0 -0044 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	5	m3			SPK24040153 00 単第0 -0009 表
平張コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	0.3	m3			SPK24040153 00 単第0 -0048 表
縁石工	1	式			Y1G0206 レベル2
縁石工	1	式			Y1G020603 レベル3
歩車道境界ブロック		m			Y1E01090302 レベル4
歩車道境界ブロック B種(180/205×250×600) 片斜両面R 設置 RC-40 養生工有り	56	m			SPK24040287 00 単第0 -0049 表
歩車道境界ブロック 福山市型切下げ	40	m			V0040 00 単第0 -0050 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
道路付属施設工					Y1G0211 レベル2
境界工	1	式			Y1G021101 レベル3
境界コンクリート	1	式			Y1G02110101 レベル4
境界コンクリート B150 × H500		本			V0031 00
	56	m			単第0 -0052 表
道路付属物工					Y1G021102 レベル3
道路鋸	1	式			Y1G02110203 レベル4
【道路鋸規格, 施工区分, 施工規模】		個			
道路鋸(貼付式) 設置 両面反射 [規]10個以上30個未満					SS000091 00
	11	個			単第0 -0055 表
階段工					Y1G02110204 レベル4
階段工		式			
	1	箇所			V0032 00
					単第0 -0056 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物撤去工					Y1E0112 レベル2
防護柵撤去工	1	式			Y1E011201 レベル3
防護柵(横断・転落防止柵)撤去	1	式			Y1E01120103 レベル4
横断・転落防止柵 防護柵撤去 コンクリート建込 ビーム式・パネル式		m			SS000153 00
構造物取壊し工	12	m			単第0 -0060 表 Y1E011206 レベル3
コンクリート構造物取壊し 【構造物区分,工法区分】	1	式			Y1E01120601 レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工		m3			SDT00031 00
舗装版切断 【舗装版種別,舗装版の全体厚】	71	m3			単第0 -0061 表 Y1E01120602 レベル4
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	6	m			SPK24040306 00 単第0 -0062 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	96	m			SPK24040306 00 単第0 -0063 表
舗装版破碎 【舗装版種別, 舗装版厚】		m2			Y1E01120603 レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	200	m2			SPK24040018 00 単第0 -0064 表
排水構造物撤去工	1	式			Y1E011208 レベル3
蓋版撤去 【蓋種類】		枚			Y1E01120813 レベル4
再利用撤去 蓋版 コンクリート・鋼製_40kg/枚以下	2	枚			SDT00019 00 単第0 -0065 表
再利用撤去 蓋版 コンクリート・鋼製_40を超え170kg/枚以下	69	枚			SDT00019 00 単第0 -0066 表
運搬処理工	1	式			Y1E011216 レベル3
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1E01121601 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離18.5km以下(14.4km超)	71	m3			SPK24040151 00 単第0 -0067 表
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離8.0km以下(6.5km超)	7	m3			SPK24040151 00 単第0 -0068 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1E01121602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート塊受入費 再生工場搬入	166	t			T9005 00
アスファルト殻受入費 再生工場搬入	16	t			T9006 00
現場発生品運搬 【発生材種類】		回			Y1E01121603レベル4
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し クレーン装置付BT2t級2.9t吊	4.57	t			SPK24040411 00 単第0 -0069 表
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)	4.57	t			SPK24040410 00 単第0 -0070 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【機器単体費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]	1				#0046
鉄屑	4.57	t			F0033 00
道路植栽工	1	式			Y1E0114 レベル2
道路植栽工	1	式			Y1E011401 レベル3
道路土工	1	式			Y1E01150601 レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	30	m3			SPK24040020 00 単第0 -0004 表
舗装工		式			Y1E01150601 レベル4
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	138	m2			SPK24040244 00 単第0 -0071 表
樹木撤去		m2			Y1E01140101 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
樹木管理（伐採） チェーンソー伐り 幹周30cm以上60cm未満	30	本			V00BS3 00 単第0 -0072 表
樹木管理（支障木抜根） 機械施工 幹周30cm以上60cm未満	30	本			V0KBK3 00 単第0 -0074 表
伐採（低木）	167	m2			V0014 00 単第0 -0076 表
除根（低木）	167	m2			V0013 00 単第0 -0077 表
樹木運搬処分		m2			Y1E01140101レベル4
樹木管理（撤去木運搬） 高木 幹周25cm以上40cm未満	30	本			F0042 00
積込運搬_道路除草 ダンプトラック(オンロード・DE・2t積級) ダンプトラック運搬19.5km以下(17.5km超)	167	m2			SPK24040357 00 単第0 -0078 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
伐採木	90	m3			F0006 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
道路付属物工					Y1E0113 レベル2
	1	式			
道路付属物工					Y1E011301 レベル3
	1	式			
信号機設備撤去 【材料規格】					Y1E01130101 レベル4
		式			
交通信号装置撤去（車両灯器） 再利用撤去 片面用 銘板含む					V0028 00
	1	台			単第0 -0079 表
車両感知装置撤去（超音波ヘッド） 車両感知器+超音波ヘッド 再利用撤去					V0029 00
	1	台			単第0 -0081 表
通信ケーブル配線撤去 自己指示型ケーブル 外径20mm以下 CVV-SSD（SSS） 2×4C 外径19.5mm					V0021 00
	3	径間			単第0 -0082 表
端子函撤去					V0044 00
	2	箇所			単第0 -0083 表
信号機設備設置 【材料規格】					Y1E01130101 レベル4
		式			
交通信号装置据付（車両灯器）					V0018 00
	1	台			単第0 -0084 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通信号装置調整（車両灯器）					V0020 00
	1	台			単第0 -0085 表
車両感知装置据付（超音波ヘッド）					V0025 00
	1	台			単第0 -0086 表
車両感知装置調整（超音波ヘッド）					V0024 00
	1	台			単第0 -0087 表
通信ケーブル配線設置 自己指示型ケーブル 外径20mm以下 CVV-SSD 2×4C 外径19.5mm					V0022 00
	1	径間			単第0 -0088 表
通信ケーブル配線設置 自己指示型ケーブル 外径30mm以下 CVV-SSD 2×8C 外径24.0mm					V0023 00
	1	径間			単第0 -0089 表
端子函設置					V0043 00
	2	箇所			単第0 -0090 表
接地設置工（D種接地）					V0037 00
	1	極			単第0 -0091 表
材料費 信号機設備					V0015 00
	1	式			単第0 -0092 表
仮設工					Y1E0115 レベル2
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通管理工					Y1E011521 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1E01152101 レベル4
		人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	215	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
役務費					Z0003
役務費					YZZ03 レベル2
	1	式			
役務費					YZZ03001 レベル3
	1	式			
借地料 土地の借上げ等に要する費用					YZZ03001001 レベル4
		式			
借地料 借地面積100m2 借地日数2.2ヶ月					F0041 00
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					

図面番号	1/17	縮 尺	S=1:10,000
工 種	自転車通行空間整備工事		
種 別	位置図		
橋 梁 名	南蔵王南手城幹線・7-1		
工事箇所	福山市 東深津町四丁目 地内		
福 山 市			



令和7年度
国補

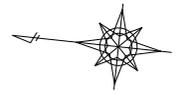
工事施工箇所



図面番号	2/17	縮尺	S=1:500
工種	自転車通行空間整備工事		
種別	平面図	冊数	1/1
路線名	南蔵王南手城幹線・7-1		
工事箇所	福山市東深津町丁目目内		
福山市			
設計年月	2025年7月		
A3サイズで印刷時、50%に縮小しています			

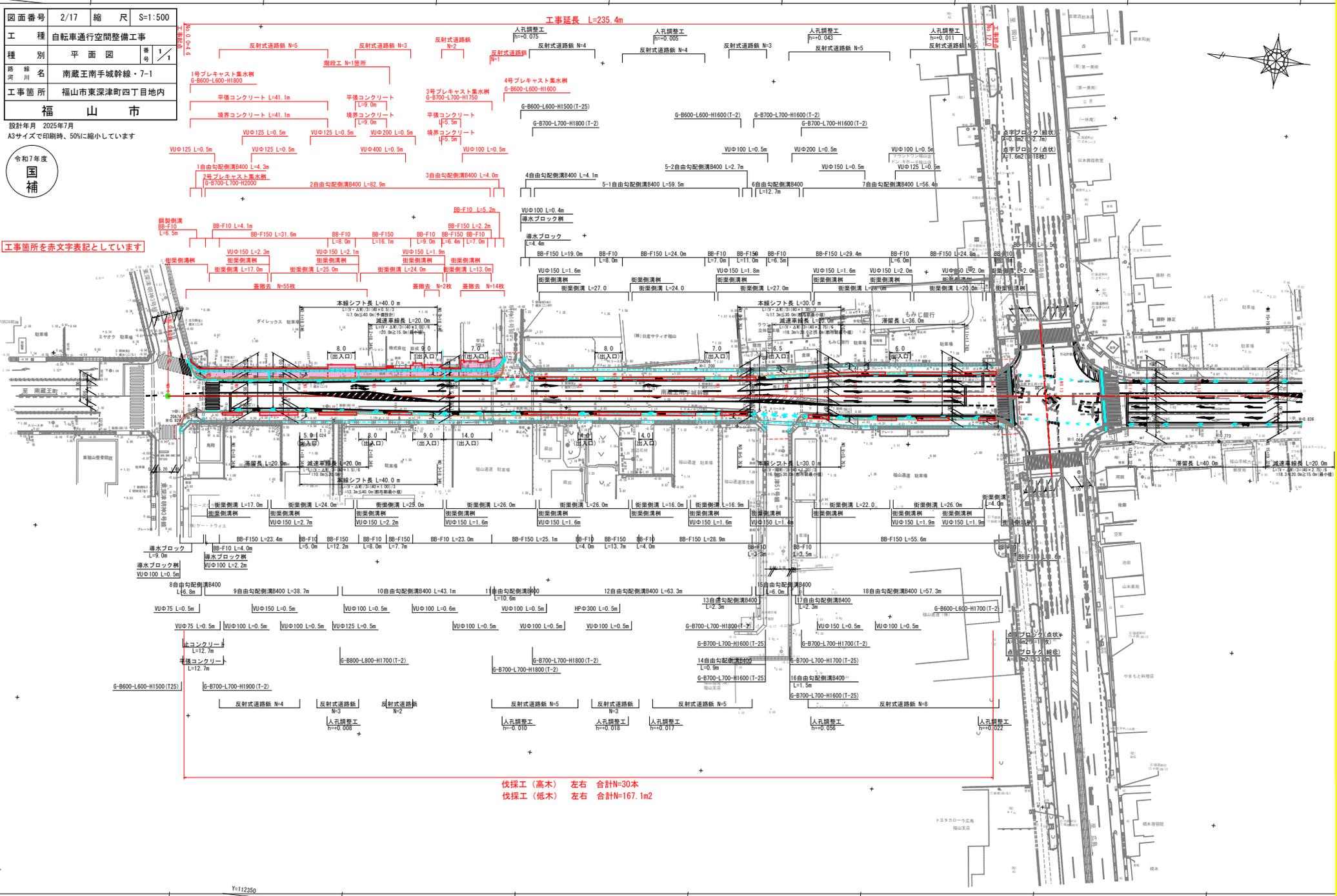


工事延長 L=235.4m



工事箇所を赤字表記としています

伐採工(高木) 左右 合計N=30本
 伐採工(低木) 左右 合計N=167.1m²

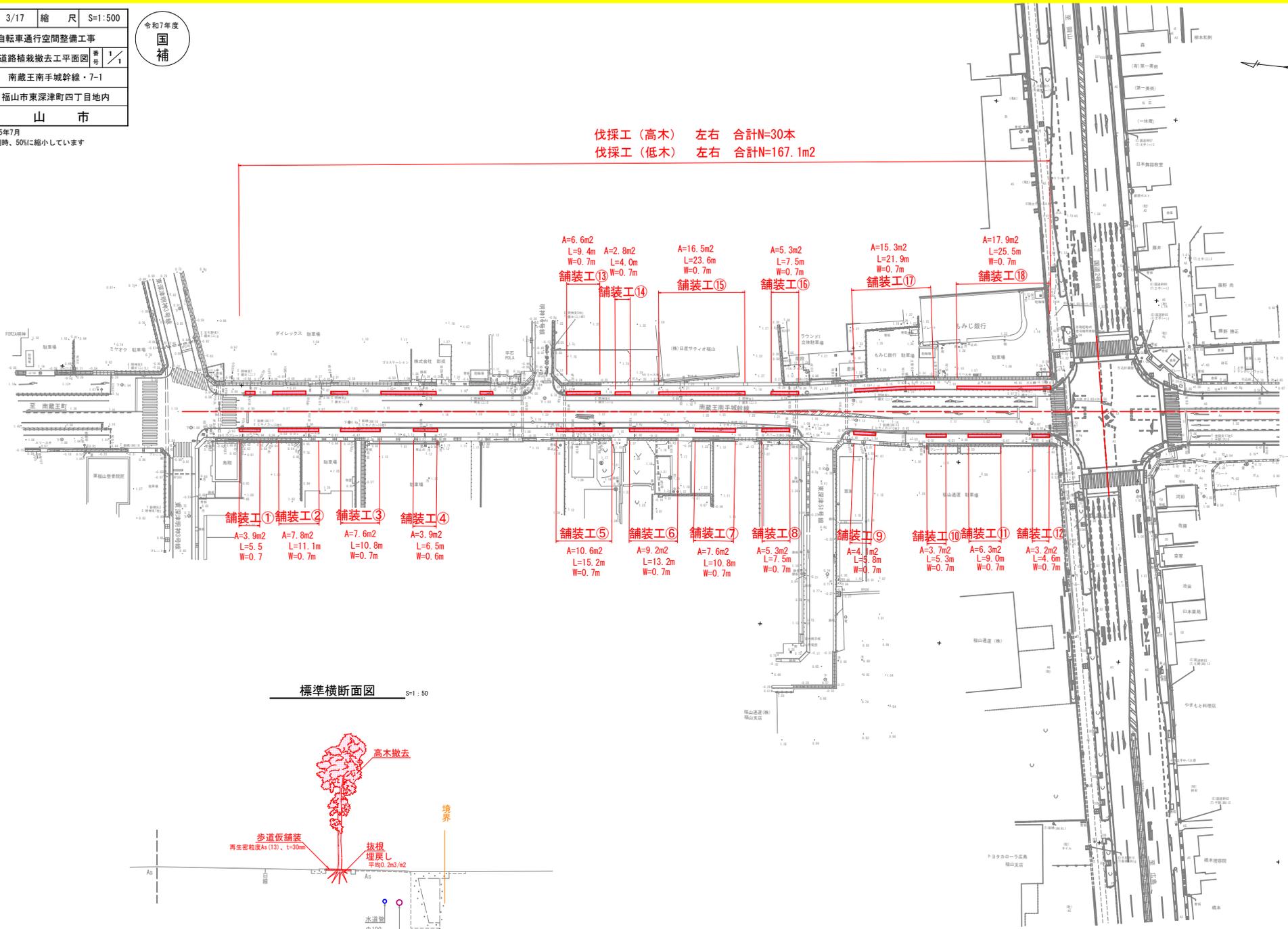


図面番号	3/17	縮尺	S=1:500
工種	自転車通行空間整備工事		
種別	道路植栽撤去工平面図		
種別	南蔵王南手城幹線・7-1		
工事箇所	福山市東深津町四丁目地内		
福山市			

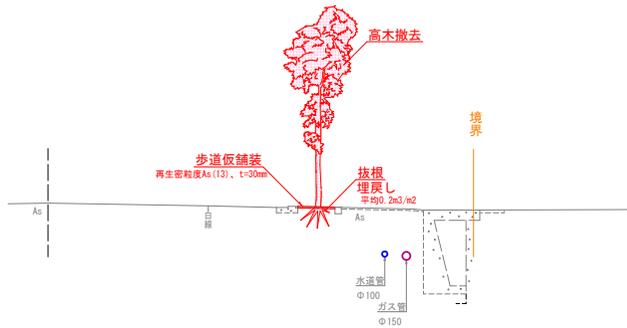
令和7年度
国補

設計年月 2025年7月
A3サイズで印刷時、50%に縮小しています

伐採工（高木） 左右 合計N=30本
伐採工（低木） 左右 合計N=167.1m2



標準横断面図 S=1:50



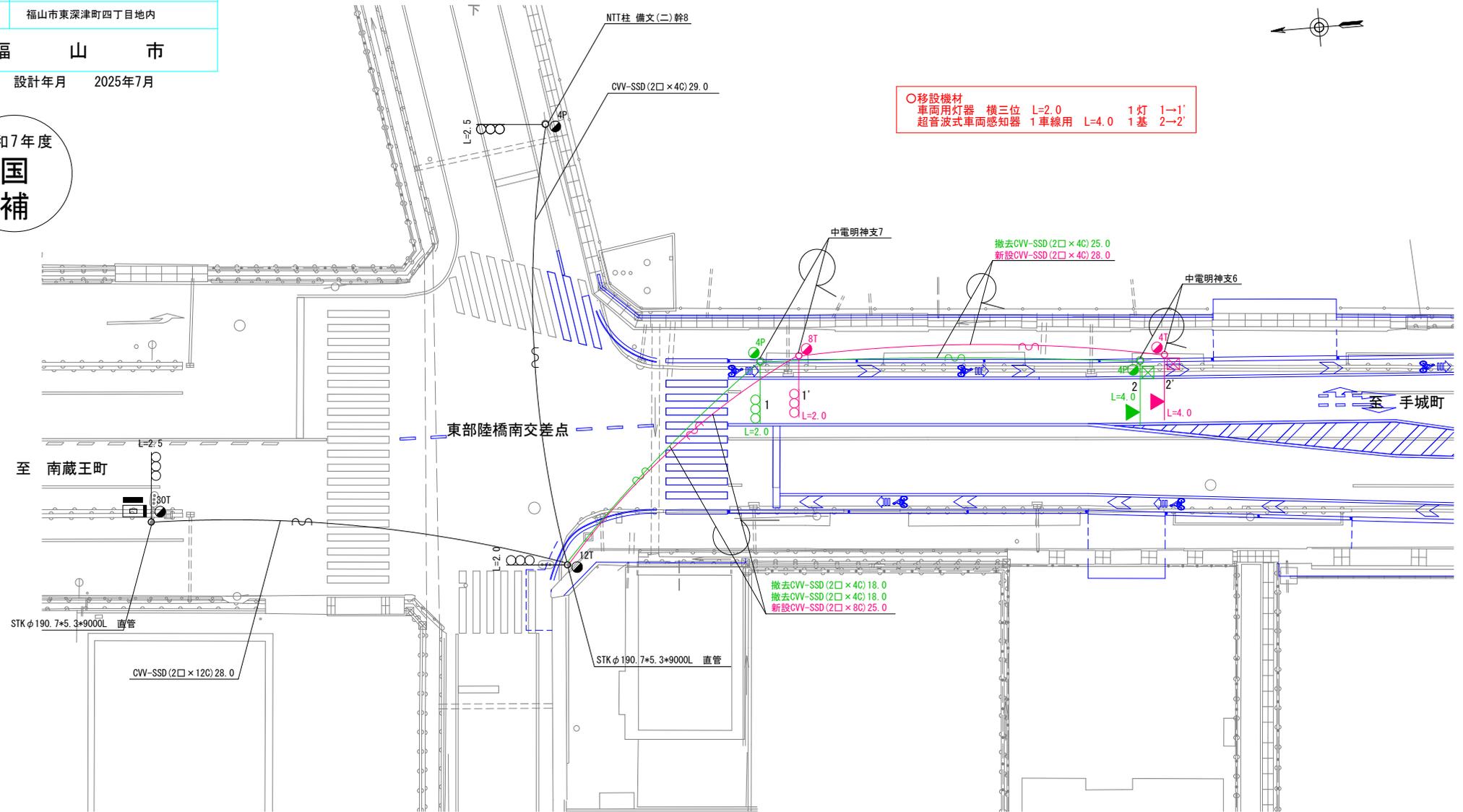
図面番号	4/17	縮尺	図示
工種	自転車通行空間整備工事		
種別	信号機設備移設平面図		
線名	南蔵王南手城幹線・7-1		
工事箇所	福山市東深津町四丁目地内		

福山市

設計年月 2025年7月



平面図
S=1/250



- 移設機材
 車両用灯器 横三位 L=2.0 1灯 1-1'
 超音波式車両感知器 1車線用 L=4.0 1基 2-2'



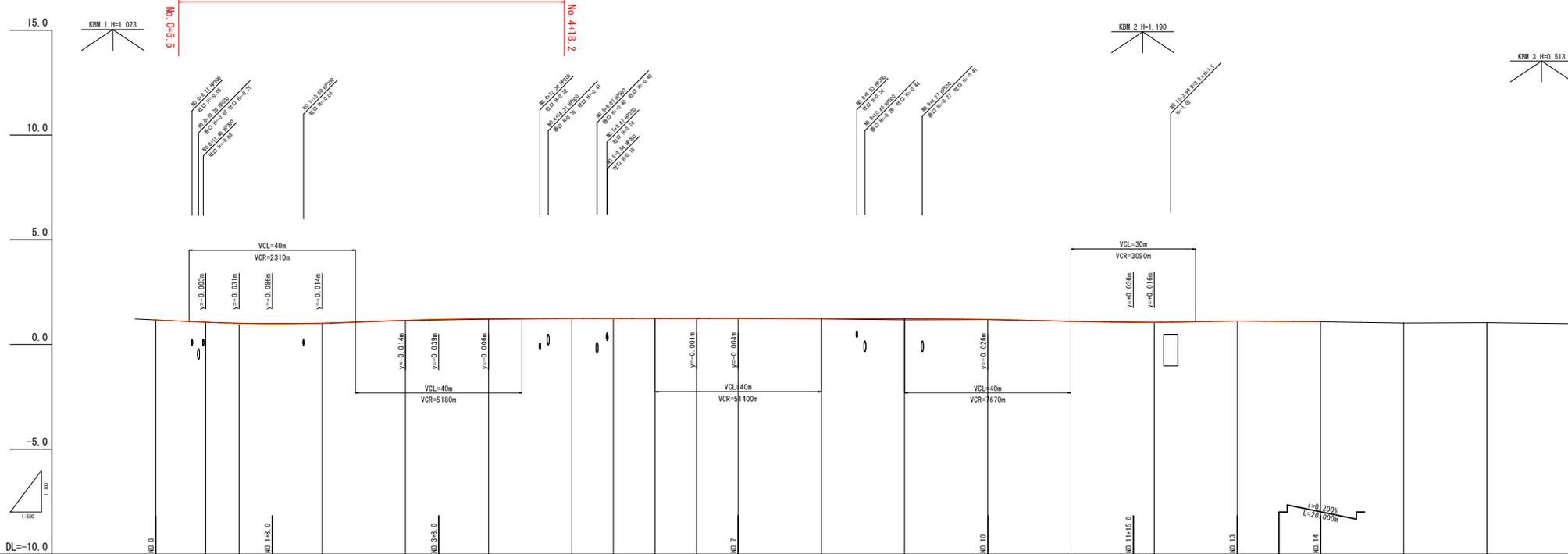
凡例	制御機(側柱式)	車両感知器	押ボタン箱側柱式	車両用信号灯器	端子函	架空制御ケーブル	露出配管	視覚障害者用付加装置制御機	灯火式可変標識
	制御機(自立式)	送受器	押ボタン箱自立式	歩行者用信号灯器	信号柱(新設)	架空通信ケーブル	ハンドホール	視覚障害者用付加装置	反射式可変標識
	端末信号送信装置	光学式感知器	配電盤	縦型信号灯器	信号柱(既設)	埋設配管	プルボックス	可変標識制御機	

図面番号	5/17	縮尺	H=1:100 V=1:500
工種	自転車通行空間整備工事		
種別	縦断図	番号	1/1
路線名	南蔵王南手城幹線・7-1		
工事箇所	福山市東深津町四丁目地内		
福山市			



設計年月 2025年7月
A3サイズで印刷時、50%に縮小しています

工事区間 路線左側



計画勾配	0.00	0.00	0.02	0.02	0.00	0.01	0.00	0.01	0.02	0.01	0.02	0.05	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	
縦計	0.00	0.00	0.02	0.02	0.00	0.01	0.00	0.01	0.02	0.01	0.02	0.05	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	
切計																		
計画地盤高	1.170	1.082	1.015	0.986	1.020	1.152	1.191	1.227	1.239	1.242	1.244	1.246	1.240	1.230	1.194	1.106	1.056	1.066
地盤高	1.17	1.08	1.00	0.98	1.00	1.15	1.19	1.22	1.23	1.24	1.23	1.24	1.22	1.19	1.10	1.05	1.05	1.06
追加距離	0.00	12.00	20.00	40.00	60.00	80.00	100.00	110.00	120.00	130.00	140.00	150.00	160.00	170.00	180.00	190.00	200.00	210.00
単距離	0.00	12.00	8.00	20.00	20.00	20.00	20.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
測点番号	測.0	測.1	測.2	測.3	測.4	測.5	測.6	測.7	測.8	測.9	測.10	測.11	測.12	測.13	測.14	測.15	測.16	測.17
曲線	L=48.00																	
片勾配提供	-2.000%																	
縦断提供	-2.000%																	

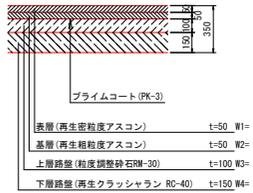
図面番号	6/17	縮尺	図示
工種	自転車通行空間整備工事		
種別	標準断面図	番号	1/1
路線名	南蔵王南手城幹線・7-1		
工事箇所	福山市東深津町四丁目地内		
福山市			



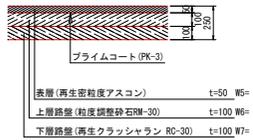
設計年月 2025年7月
A3サイズで印刷時、50%に縮小しています

D=区間距離
NO. 3
GH=地盤高
FH=計画高

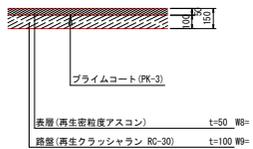
本線車道舗装 S=1:20
(福山市幹線道路)



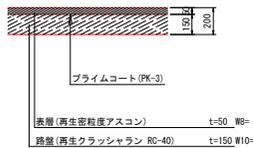
取付市道舗装 S=1:20
(市道—L交通相当)



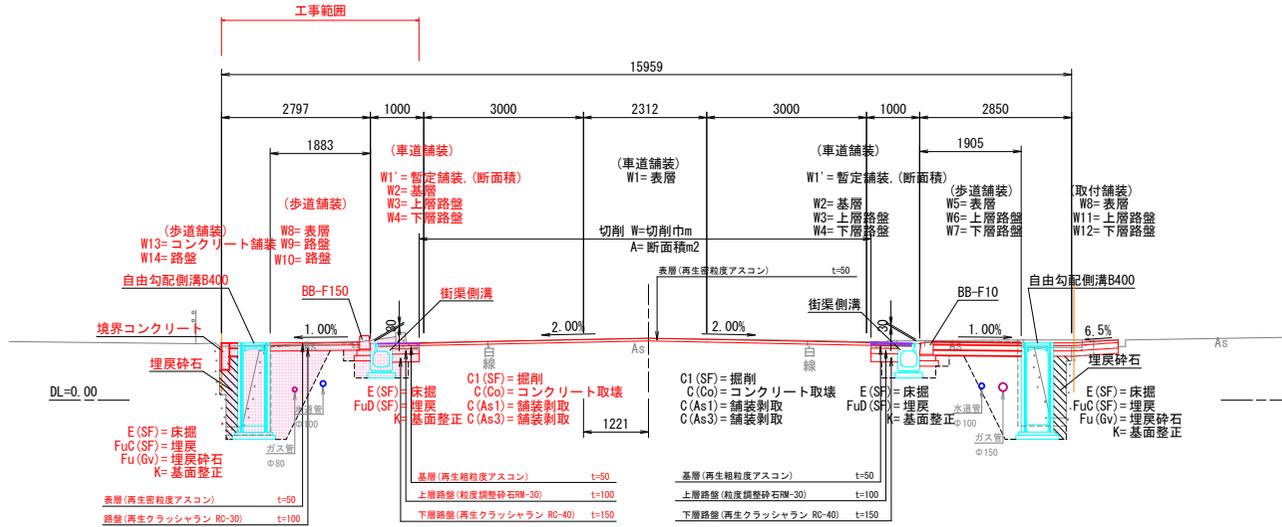
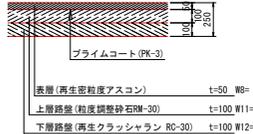
歩道舗装-1 S=1:20
(標準部)・・・歩行者、自転車のみ



歩道および取付舗装-2 S=1:20
(出入部-4t以下の車輛)



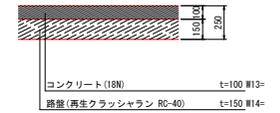
歩道および取付舗装-3 S=1:20
(小型貨物の横断する歩道)
L交通相当：小型店舗等



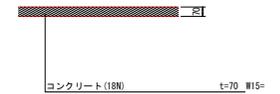
数量記号一覧表

工種	種別	規格・細別	記号	
土	片切	W<5.0	C1	
	オープン	W≧5.0	C2	
	路床盛土	W<2.5	B1(a)	
	"	2.5≦W<4.0	B1(b)	
	"	W≧4.0	B1(c)	
	路床盛土	W<2.5	B2(a)	
	"	2.5≦W<4.0	B2(b)	
	"	W≧4.0	B2(c)	
	歩道盛土		B3	
	床掘		E	
埋戻		Fu		
基面整正		K		
掘壁工	重力式擁壁	高さ	H	
	取壊工	アスファルト	幅員(t=100mm)	C(As1)
		アスファルト	幅員(t=50mm)	C(As2)
アスファルト		幅員(t=30mm)	C(As3)	
舗装工	コンクリート	無筋構造・立積	C(Go)	
	車道舗装	幅員	W	
	歩道舗装	幅員	W	
舗装工	舗装切削	幅員、断面積	W・A	
	レベリング	幅員、断面積	W・A	

コンクリート舗装 S=1:20



平張コンクリート S=1:20



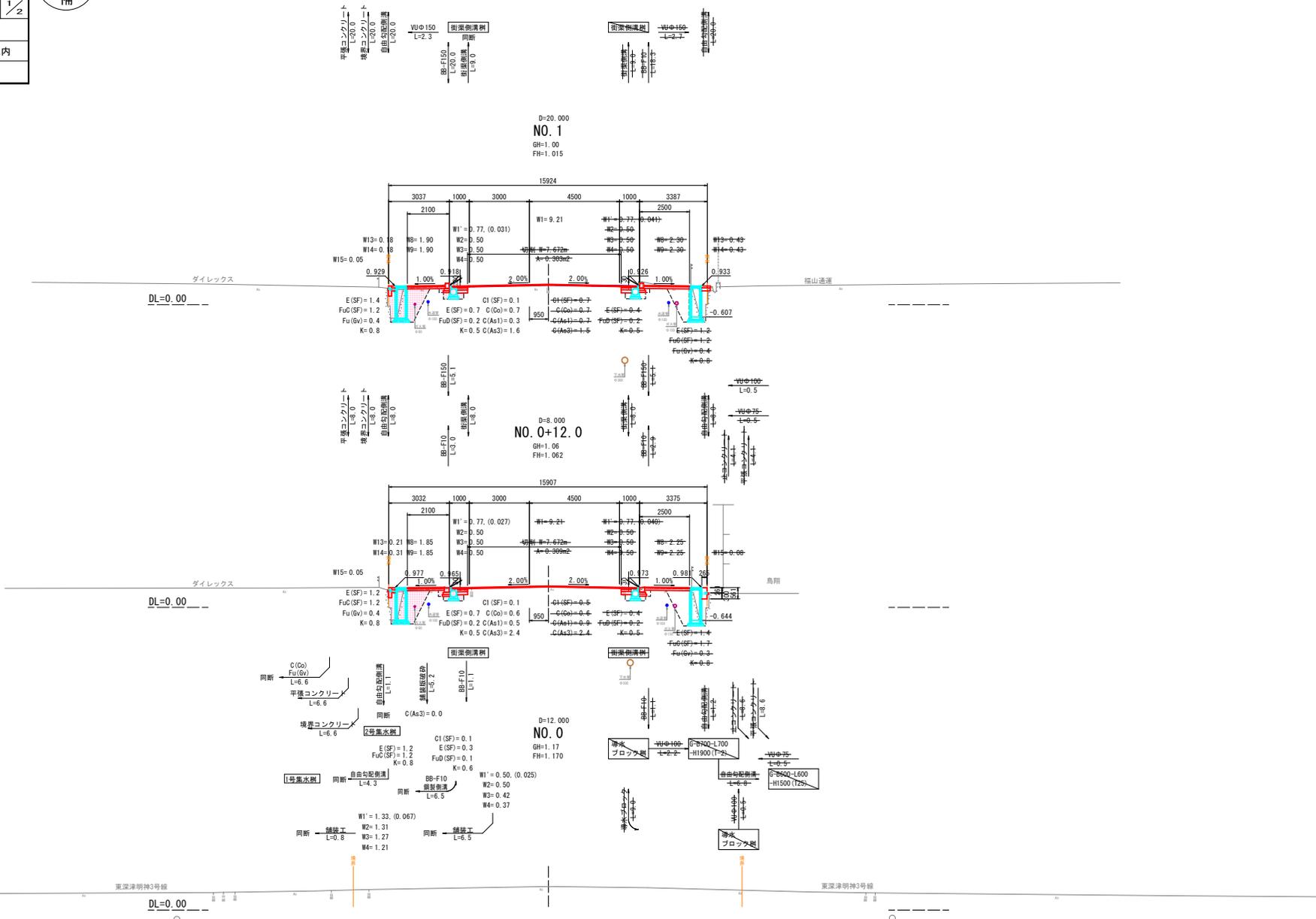
歩道仮舗装 S=1:20



図面番号	7/17	縮尺	S=1:100
工種	自転車通行空間整備工事		
種別	横断面	番号	1/2
路線名	南蔵王南手城幹線・7-1		
工事箇所	福山市東深津町四丁目地内		
福山市			

令和7年度
国補

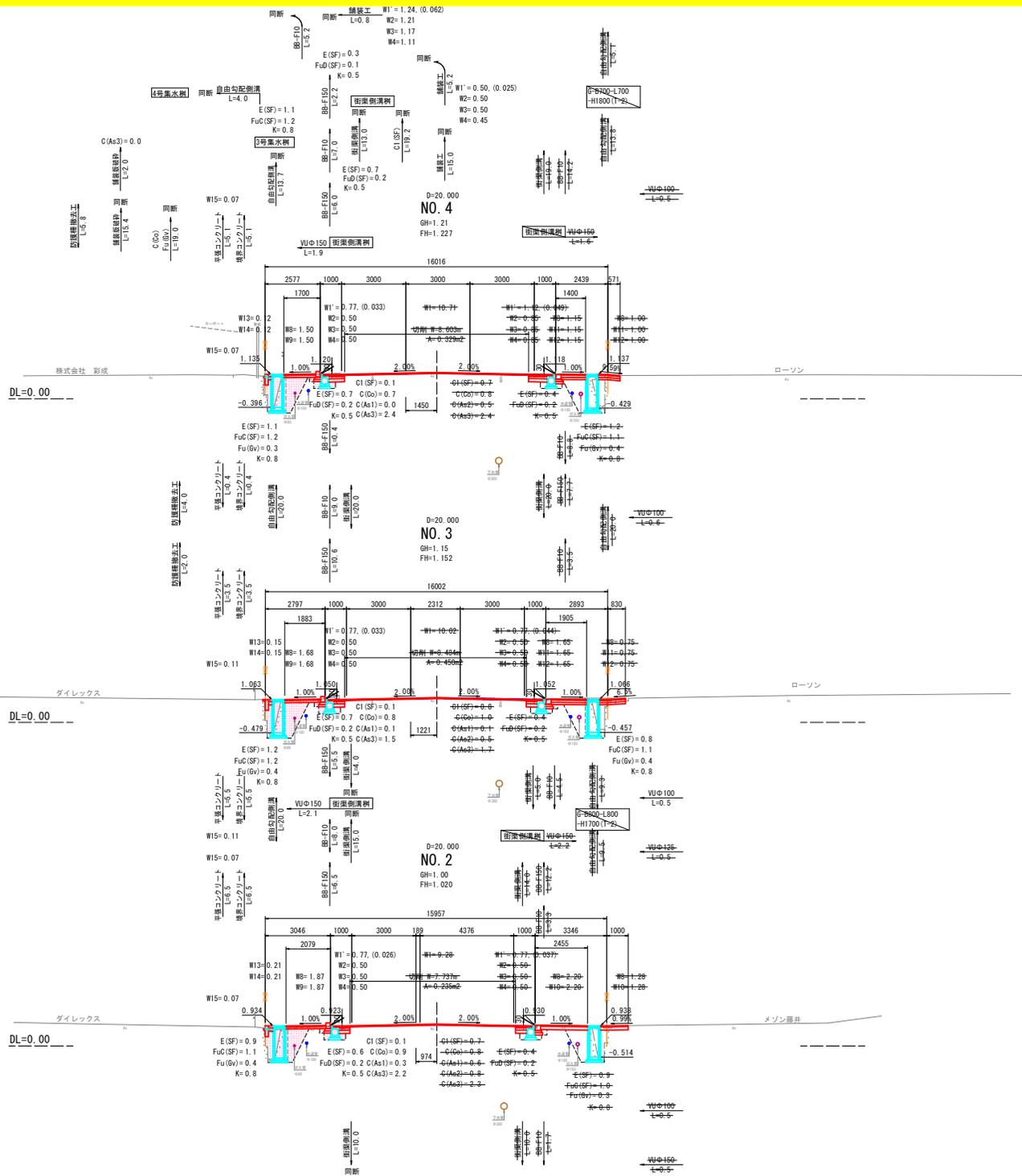
設計年月 2025年7月
A3サイズで印刷時、50%に縮小しています



図面番号	8/17	縮尺	S=1:100
工種	自転車通行空間整備工事		
種別	横断面	番号	2/2
路線名	南蔵王南手城幹線・7-1		
工事箇所	福山市東深津町四丁目地内		
福山市			

令和7年度
国補

設計年月 2025年7月
A3サイズで印刷時、50%に縮小しています

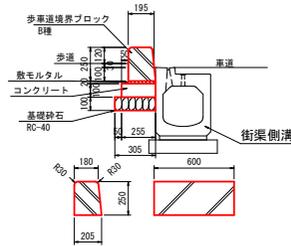


図面番号	9/17	縮尺	図示
工種	自転車通行空間整備工事		
種別	構造図	番号	1/4
路線名	南蔵王南手城幹線・7-1		
工事箇所	福山市東深津町四丁目地内		
福山市			

令和7年度
国補

設計年月 2025年7月
A3サイズで印刷時、50%に縮小しています

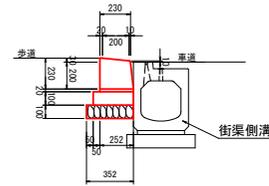
BB-F150
(セミフラット) S=1:20



BB-F150 10m当り材料表

種別	規格・寸法	単位	数量
ブロック	B種両面R	個	16.5
コンクリート	σck=18N/mm2	m ³	0.255
型枠	無形構造物	m ³	1.000
RC-40		m ²	3.350
基礎砕石	t=10cm	m ³	0.305
敷モルタル	1:3 (高炉B)	m ³	0.041

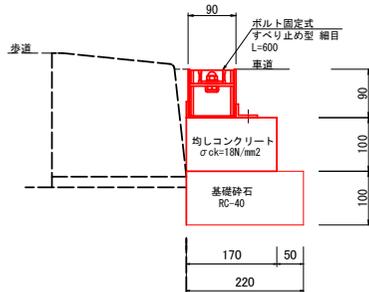
BB-F10
福山市型BB
(切下げタイプ) S=1:20



BB-F10 10m当り材料表

種別	規格・寸法	単位	数量
ブロック	福山市型	個	16.5
均しコンクリート	σck=18N/mm2	m ³	0.302
均しコン型枠	無形構造物	m ³	1.000
RC-40		m ²	3.520
基礎砕石	t=10cm	m ³	0.352
敷モルタル	1:3 (高炉B)	m ³	0.050

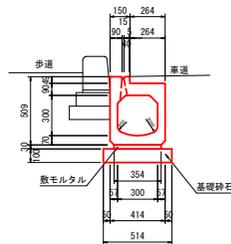
鋼製側溝
S=1:5



数量表 100m当たり

種別	数量
鋼製側溝	166.67個
均しコンクリート	1.70 m ³
均しコン型枠	10.00 m ²
基礎砕石	22.00 m ²

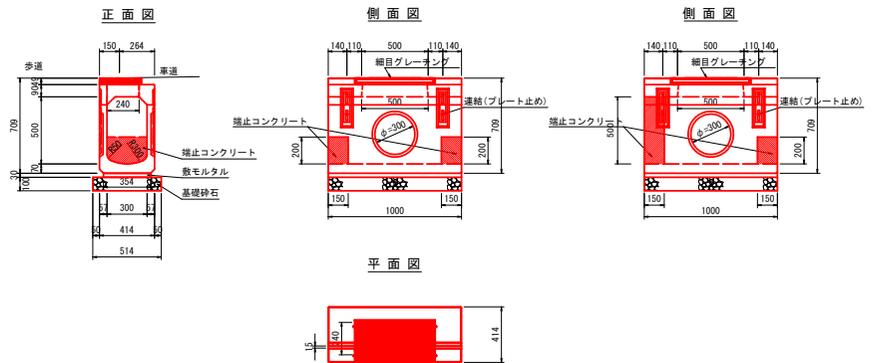
街渠側溝
一体型(300×300) S=1:20



街渠側溝 一体型(300×300) 10m当り材料表

種別	規格・寸法	単位	数量
RC-40		m ²	5.140
基礎砕石	t=10cm	m ³	0.514
敷モルタル	1:3	m ³	0.106
側溝	一体型(300×300)	個	5

街渠側溝樹
(フラット型) S=1:20



街渠樹(B300-H500) 1ヶ所当り材料表

種別	規格・寸法	単位	数量
敷モルタル	1:3	m ³	0.011
RC-40		m ²	0.514
基礎砕石	t=10cm	m ³	0.051
側溝樹	B300-H500	個	1
コンクリート	σck=18N/mm2	m ³	0.018
型枠		m ²	0.120

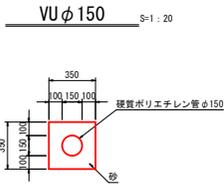
街渠樹(B300-H500) 1ヶ所当り材料表

種別	規格・寸法	単位	数量
敷モルタル	1:3	m ³	0.011
RC-40		m ²	0.514
基礎砕石	t=10cm	m ³	0.051
側溝樹	B300-H500	個	1
コンクリート	σck=18N/mm2	m ³	0.032
型枠		m ²	0.210

図面番号	10/17	縮尺	図示
工種	自転車通行空間整備工事		
種別	構造図	番号	2/4
路線名	南蔵王南手城幹線・7-1		
工事箇所	福山市東深津町四丁目地内		
福山市			

令和7年度
国補

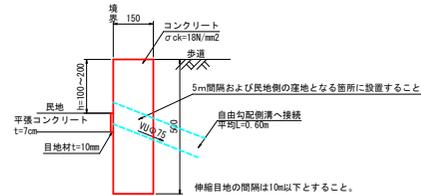
設計年月 2025年7月
A3サイズで印刷時、50%に縮小しています



VUφ150 10m当り材料表

種別	規格・寸法	単位	数量
埋込管	φ150, L=4.0m/本	本	2.5
砂		m ³	1.048

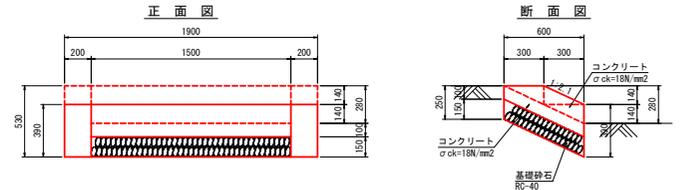
境界コンクリート 縮尺 1:10



境界コンクリート 10m当り材料表

種別	規格・寸法	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m ³	0.750
型枠		m ²	10.000
目地材	t=10mm	m ²	0.775
埋込管φ75	VUφ75	m	1.20

階段工 S=1:20
(NO. 3+4, 5左側)

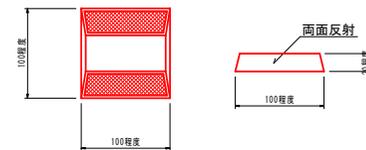


階段工 1箇所当り材料表

種別	規格・寸法	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m ³	0.238
型枠		m ²	1.828
基礎砕石	RC-40, t=15cm	m ²	0.900

反射式道路紙

S=1:3

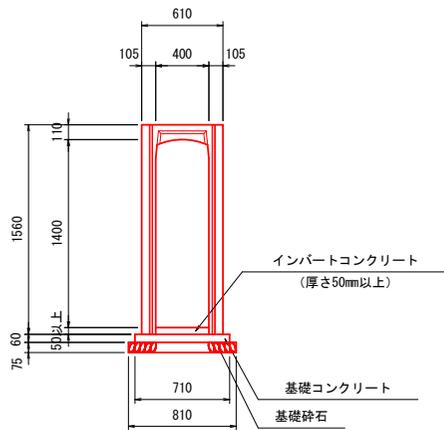


図面番号	11/17	縮尺	図示
工種	自転車通行空間整備工事		
種別	構造図	番号	3/4
路線名	南蔵王南手城幹線・7-1		
工事箇所	福山市東深津町四丁目地内		
福山市			



設計年月 2025年7月
A3サイズで印刷時、50%に縮小しています

自由勾配側溝 B=400, H1400 S=1:20

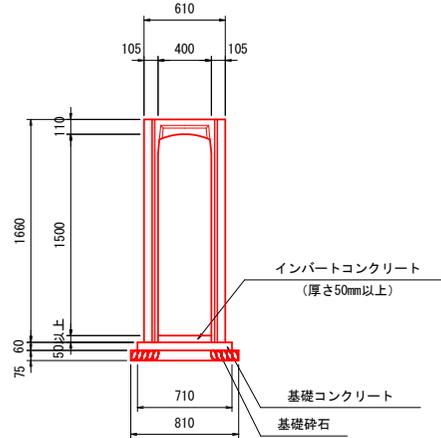


自由勾配側溝 B=400, H1400

材料表 (10m当たり)

名称	規格	単位	数量
プレキャスト自由勾配側溝	400×1400	個	5.0
無騒音蓋	400	個	10.0
インバートコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.200
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.426
基礎コン型枠	均し	m ²	1.200
基礎砕石	t=75	m ²	8.10

自由勾配側溝 B=400, H1500 S=1:20

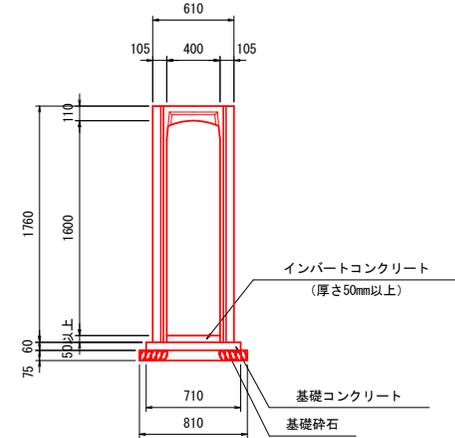


自由勾配側溝 B=400, H1500

材料表 (10m当たり)

名称	規格	単位	数量
プレキャスト自由勾配側溝	400×1500	個	5.0
無騒音蓋	400	個	10.0
インバートコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.200
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.426
基礎コン型枠	均し	m ²	1.200
基礎砕石	t=75	m ²	8.10

自由勾配側溝 B=400, H1600 S=1:20



自由勾配側溝 B=400, H1600

材料表 (10m当たり)

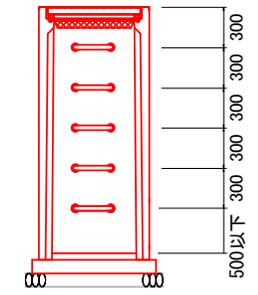
名称	規格	単位	数量
プレキャスト自由勾配側溝	400×1600	個	5.0
無騒音蓋	400	個	10.0
インバートコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.200
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.426
基礎コン型枠	均し	m ²	1.200
基礎砕石	t=75	m ²	8.10

図面番号	12/17	縮尺	図示
工種	自転車通行空間整備工事		
種別	構造図	番	1/4
路線名	南蔵王南手城幹線・7-1		
工事箇所	福山市東深津町四丁目地内		
福山市			

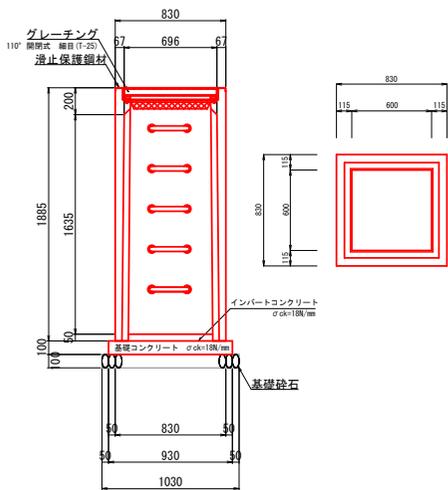


設計年月 2025年7月
A3サイズで印刷時、50%に縮小しています

足掛金物 S=1:20

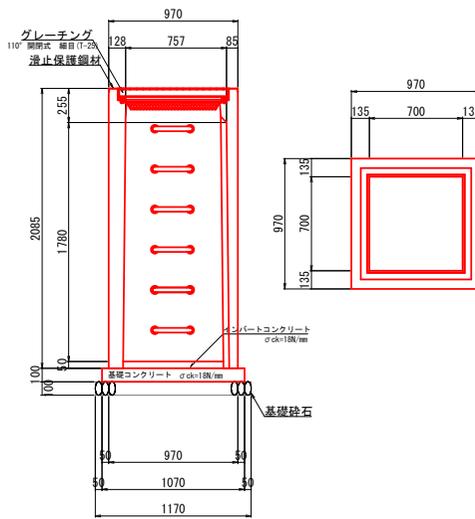


1号プレキャスト集水樹 S=1:20
NO.0+6.5(定)



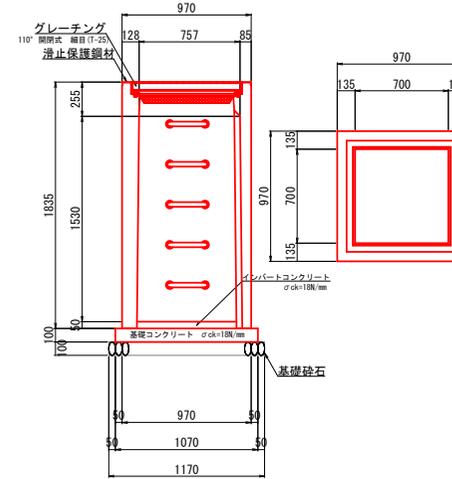
名称	規格	数量
基礎砕石	RC-40	1.06 m ² 0.11 m ³
インパートコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0.02 m ³
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0.09 m ³
基礎コンクリート型枠		0.37 m ²
集水樹	600×600×1800	1個
グレーチング	600×600用	1枚
足掛金物	幅300	5本

2号プレキャスト集水樹 S=1:20
NO.0+10.3(定)



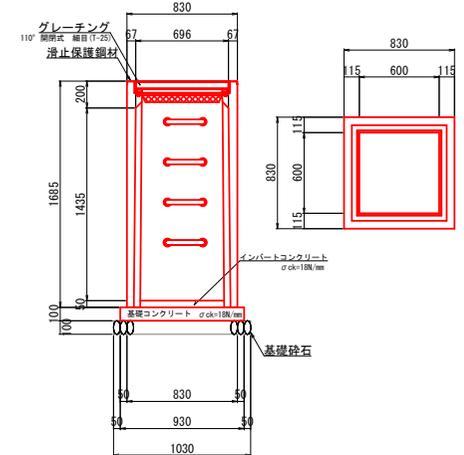
名称	規格	数量
基礎砕石	RC-40	1.37 m ² 0.14 m ³
インパートコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0.03 m ³
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0.11 m ³
基礎コンクリート型枠		0.43 m ²
集水樹	700×700×2000	1個
グレーチング	700×700用	1枚
足掛金物	幅300	6本

3号プレキャスト集水樹 S=1:20
NO.4+14.3(定)



名称	規格	数量
基礎砕石	RC-40	1.37 m ² 0.14 m ³
インパートコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0.03 m ³
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0.11 m ³
基礎コンクリート型枠		0.43 m ²
集水樹	700×700×1750	1個
グレーチング	700×700用	1枚
足掛金物	幅300	5本

4号プレキャスト集水樹 S=1:20
NO.4+17.7(定)



名称	規格	数量
基礎砕石	RC-40	1.06 m ² 0.11 m ³
インパートコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0.02 m ³
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0.09 m ³
基礎コンクリート型枠		0.37 m ²
集水樹	600×600×1600	1個
グレーチング	600×600用	1枚
足掛金物	幅300	4本

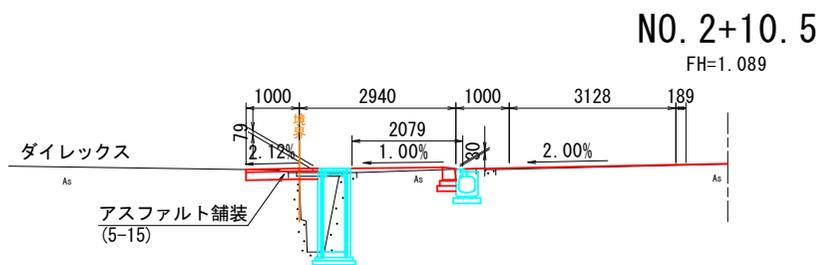
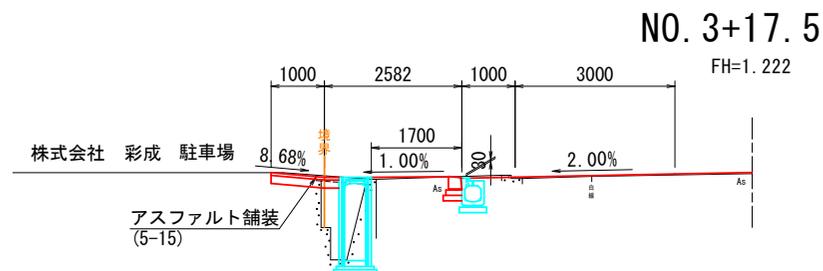
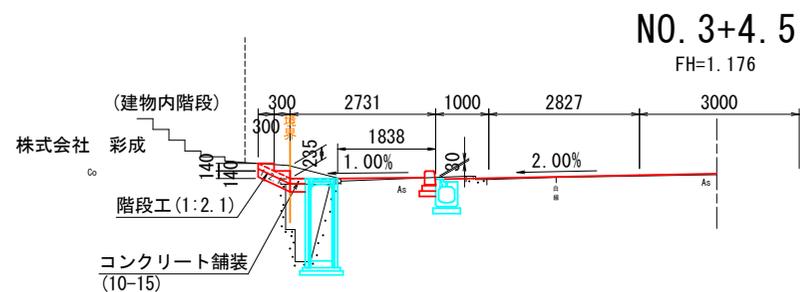
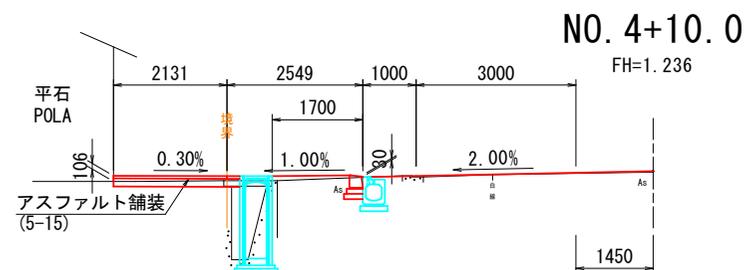
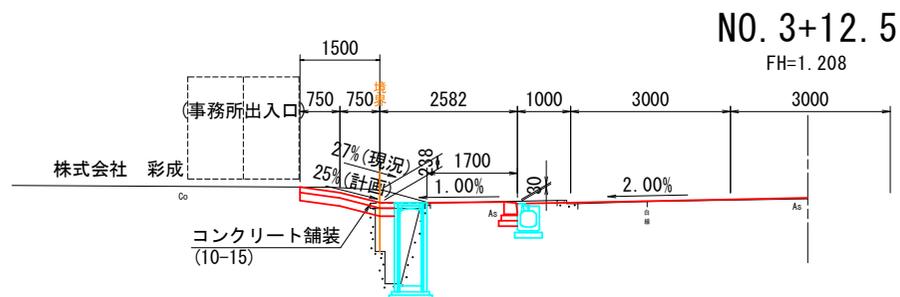
図面番号	13/17	縮尺	S=1:50
工種	自転車通行空間整備工事		
種別	取付詳細図(出入口)	番号	1/1
路線名	南蔵王南手城幹線・7-1		
工事箇所	福山市東深津町四丁目地内		
福山市			

令和7年度
国補

設計年月 2025年7月
A3サイズで印刷時、50%に縮小しています

取付詳細図

※構造について地権者と協議し決定するもの



図面番号	14/17	縮尺	図示
工種	自転車通行空間整備工事		
種別	自由勾配側溝割付図		
路線名	南蔵王南手城幹線・7-1		
工事箇所	福山市東深津町四丁目地内		
福山市			

令和7年度
国補

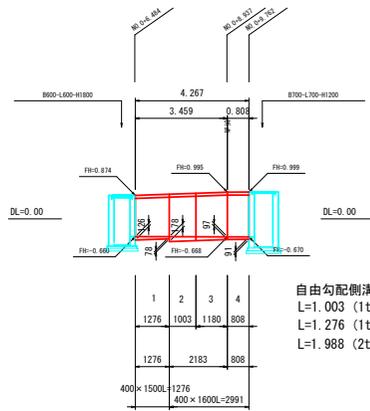
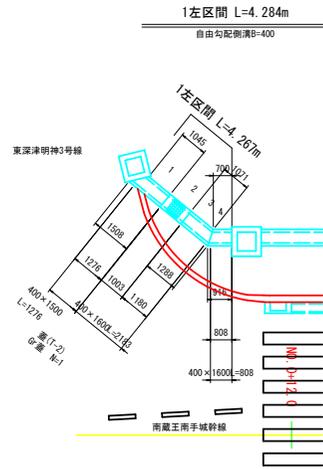
設計年月 2025年7月
A3サイズで印刷時、50%に縮小しています

自由勾配側溝割付図

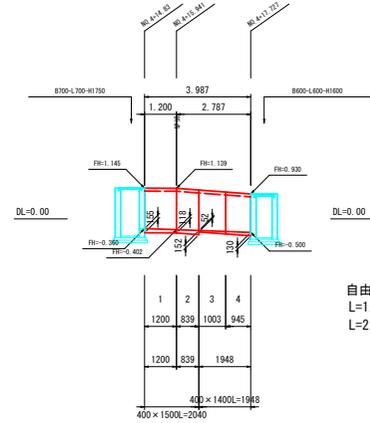
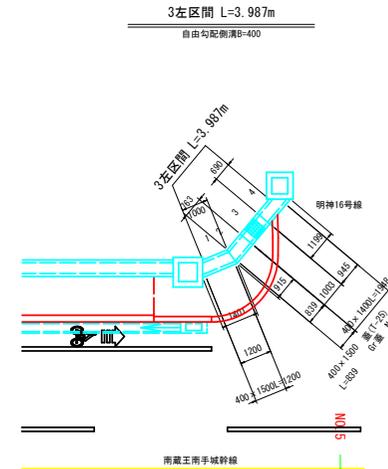
S=1:100

※床掘後既設管の調査を行い接続の有無を確認すること。

※この割付は施工の並びを3mm見込んでいます。
※ はグレーチング開口を示します。



自由勾配側溝
L=1.003 (1t以下)
L=1.276 (1tを超え2t以下)
L=1.988 (2tを超え2.9t以下)



自由勾配側溝
L=1.003 (1t以下)
L=2.984 (1tを超え2t以下)

1左区間 自由勾配側溝数量表

名称	規格	長さ	タイプ	数量	単位	製品番号
FV側溝	400×1500 400×1600	1505/1042	標準	1	本	1
		1000	標準	1	本	2
		1068/1285	標準	1	本	3
		913/697	標準	1	本	4
合計				4	本	1~4
グレーチング	400	500	歩道用	1	枚	

※製品 No.1 ~ 4を累計しています。
※施工の伸びを、3mm見込んでいます。
※斜切製品は、斜切角度の緩い方から見て、L=左側/右側とします。

L=2.0を分割使用

1左区間 自由勾配側溝材料表

名称	規格	数量	単位
インバートコンクリート	α ck=18N/mm2	0.202	m3

3左区間 自由勾配側溝数量表

名称	規格	長さ	タイプ	数量	単位	製品番号
FV側溝	400×1400 400×1500	1000	標準	1	本	3
		687/1196	標準	1	本	4
		1398/997	標準・両斜切	1	本	1
		912/760	標準	1	本	2
合計				4	本	1~4
グレーチング	400	500	車道用	1	枚	

※製品 No.1 ~ 4を累計しています。
※施工の伸びを、3mm見込んでいます。
※斜切製品は、斜切角度の緩い方から見て、L=左側/右側とします。

L=2.0を分割使用

3左区間 自由勾配側溝材料表

名称	規格	数量	単位
インバートコンクリート	α ck=18N/mm2	0.171	m3

図面番号	15/17	縮尺	図示
工種	自転車通行空間整備工事		
種別	自由勾配側溝付図	冊	2/3
路線名	南蔵王南手城幹線・7-1		
工事箇所	福山市東深津町四丁目地内		
福山市			

令和7年度
国補

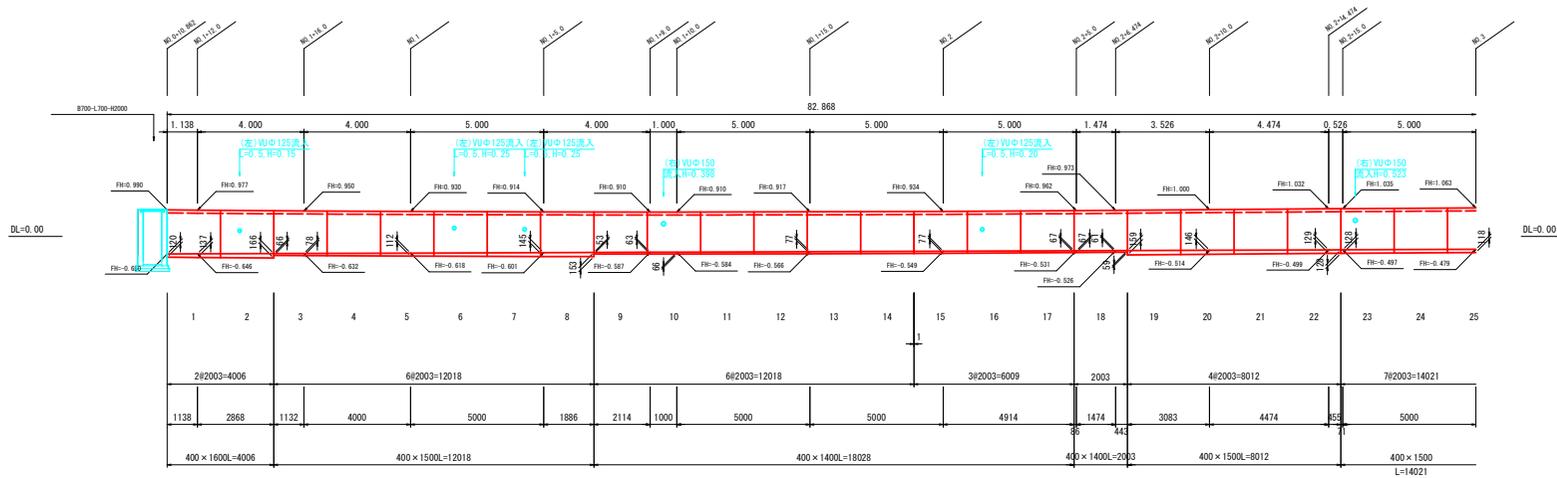
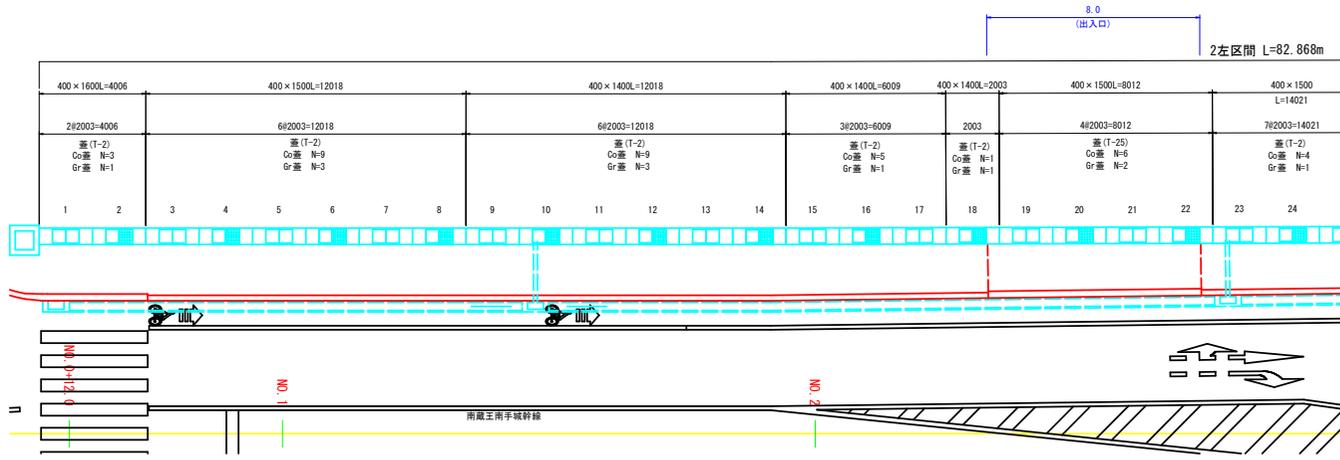
設計年月 2025年7月
A3サイズで印刷時、50%に縮小しています

自由勾配側溝付図

※床面後既設管の調査を行い接続の有無を確認すること。
2左区間 L=82.868m
自由勾配側溝B=400

S=1:100

※この割付は施工の延びを3mm見込んでいます。
※ はグレーチング開口を示します。



図面番号	16/17	縮尺	図示
工種	自転車通行空間整備工事		
種別	自由勾配側溝割付図		
河川名	南蔵王南手城幹線・7-1		
工事箇所	福山市東深津町四丁目内		
福山市			

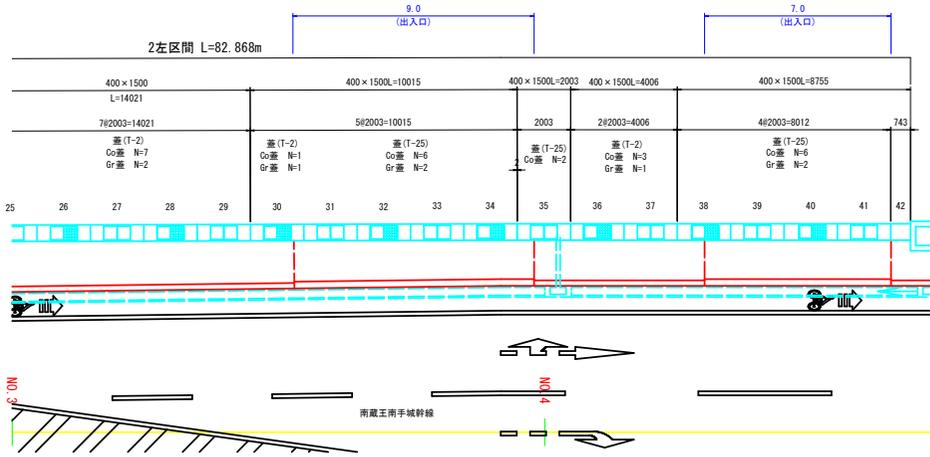
令和7年度
国補

設計年月 2025年7月
A3サイズで印刷時、50%に縮小しています

自由勾配側溝割付図

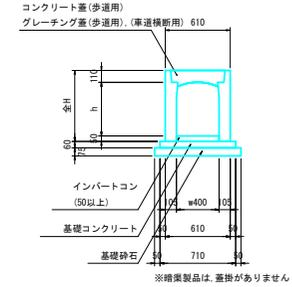
※床面後既設管の調査を行い接続の有無を確認すること。
2左区間 L=82.868m
自由勾配側溝B=400

S=1:100



標準断面図

S = 1 : 25



規格	全H
w400×h1400	1560
w400×h1500	1660
w400×h1800	1760

※この割付は施工の伸びを3mm見込んでいます。
※ はグレーチング開口を示します。

2左区間 自由勾配側溝数量表

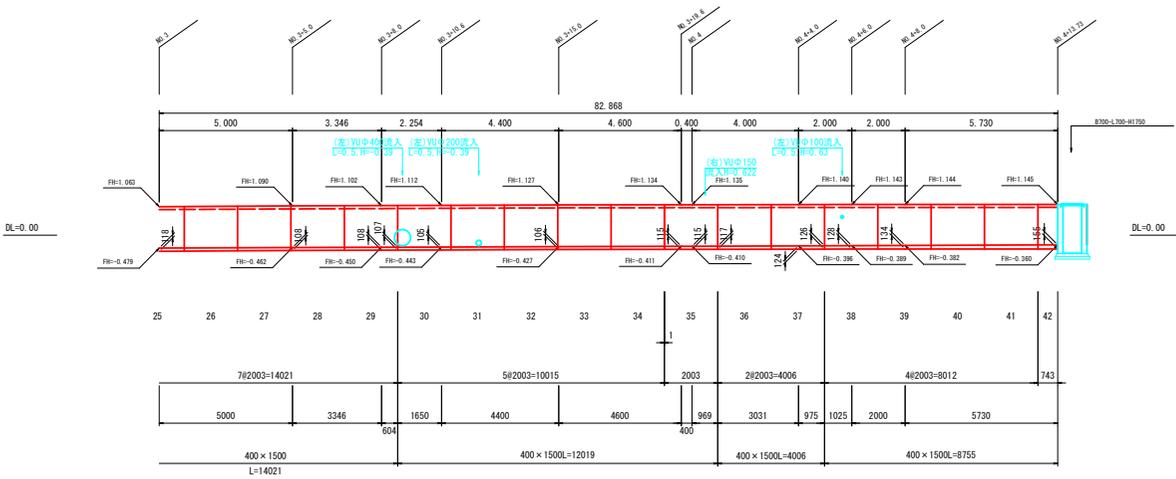
名称	規格	長さ	タイプ	数量	単位	製品番号
FV側溝	400×1400	2000	標準	10	本	
		400×1500	2000	標準	29	本
	400×1600	740	暗渠	1	本	42
		2000	標準	2	本	
合計				42	本	1~42
蓋版	400	500	歩道用	42	枚	
グレーチング	400	500	歩道用	14	枚	
蓋版	400	500	車道用	20	枚	
グレーチング	400	500	車道用	6	枚	

※製品 No. 1 ~ 42を集計しています。
※施工の伸びを、3mm見込んでいます。

3区間とL=2.0mを分割使用

2左区間 自由勾配側溝材料表

名称	規格	数量	単位
インバートコンクリート	σck=18N/mm2	3.660	m3



自由勾配側溝
L=0.743 (1t以下)
L=78.119 (1tを超え2t以下)
L=4.006 (2tを超え2.9t以下)

図面番号	17/17	縮尺	図示
工種	自転車通行空間整備工事		
種別	街渠側溝割付図		
路線名	南蔵王南手城幹線・7-1		
工事箇所	福山市東深津町四丁目地内		
福山市			

令和7年度
国補

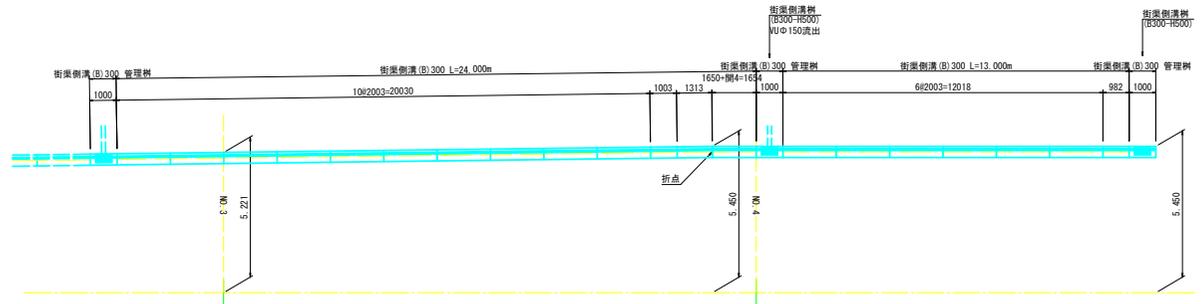
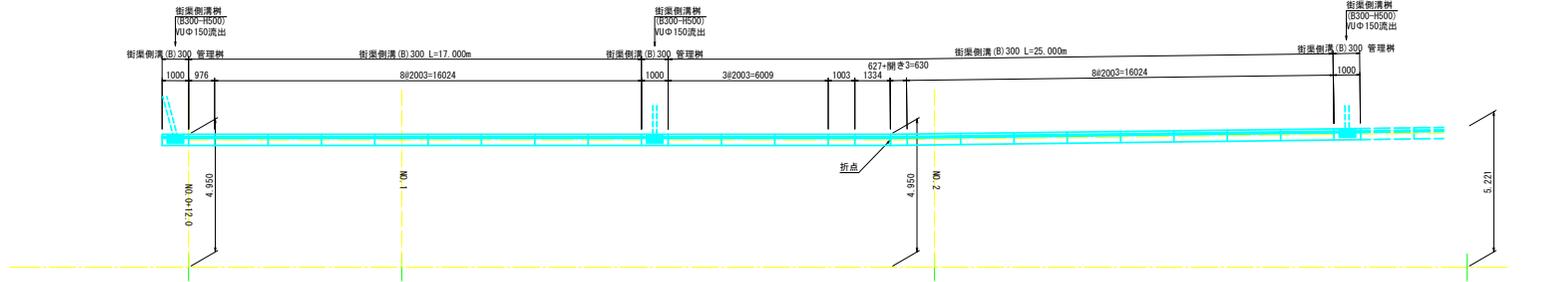
設計年月 2025年7月
A3サイズで印刷時、50%に縮小しています

街渠側溝割付図

S=1:100

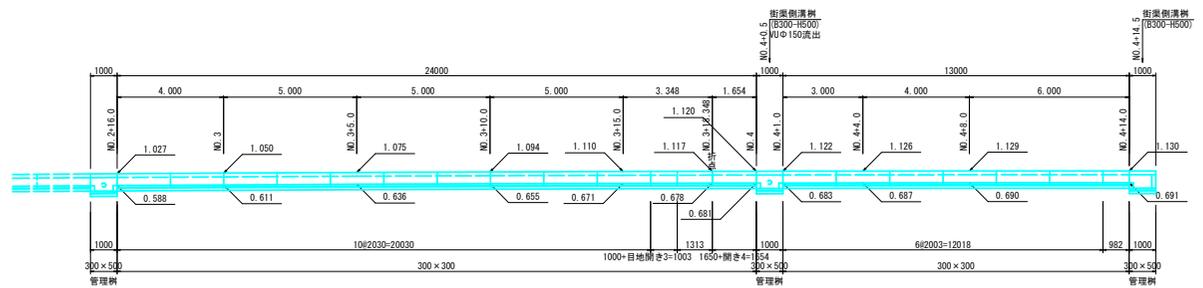
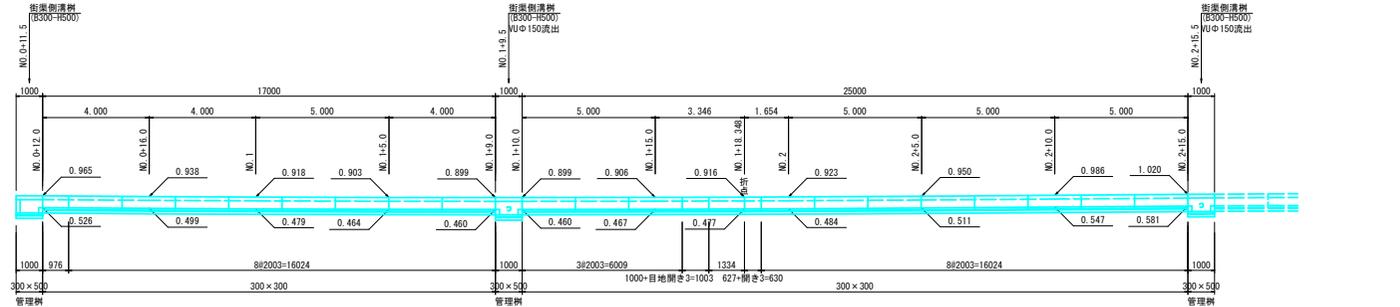
街渠側溝(左側-1) 平面図

(NO. 0+11.0~NO. 4+15.0)

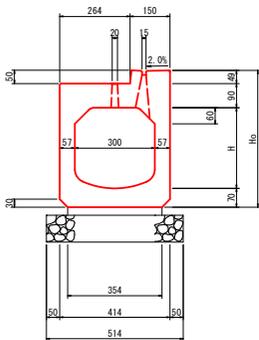


街渠側溝(左側-1) 縦断面図

(NO. 0+11.0~NO. 4+15.0)



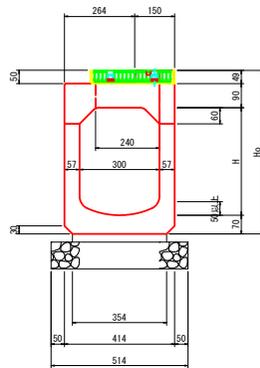
街渠側溝断面図



街渠側溝寸法表

呼び名	H (mm)	Ho (mm)
300 × 300	300	509

街渠側溝断面図 (管理料)



街渠側溝寸法表

呼び名	H (mm)	Ho (mm)
300 × 500	500	709

参考図書

施工単価表

掘削

SPK24040001

単第0 -0001 表

土砂 上記以外(小規模)

標準

1

m3 当り

機械構成比: 27.26% 労務構成比:

61.70%

材料構成比: 11.04%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,212.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	27.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	61.70%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0002 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離9.0km以下(7.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 24.45% 労務構成比:

63.42% 材料構成比: 12.13%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,826.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	24.45%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	63.42%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=37 距離9.0km以下(7.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

床掘り

SPK24040015

単第0 -0003 表

土砂 上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 19.87%

労務構成比: 72.99%

材料構成比: 7.14%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,170.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	19.87%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	39.96%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

埋戻し
土砂

SPK24040020

単第0 -0004 表

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 9.48% 労務構成比:

86.47%

材料構成比:

4.05%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

3,871.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.90%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60~80kg	0.58%		タンパ及びランマ タンパ及びランマ 質量60~80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	49.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.20%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.85%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1	上記以外(小規模) -(全ての費用)		B=1 土砂		

施工単価表

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0005 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離0.2km以下

現場 仮置場

1

m3 当り

機械構成比: 24.45% 労務構成比:

63.42% 材料構成比: 12.13%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

706.58000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	24.45%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	63.42%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	12.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=1 距離0.2km以下			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

管（函）渠型側溝
据付 200mm以上300mm以下

SPK24040094

単第0 -0007 表

円形側溝(各種) 基礎碎石有り

1

m 当り

機械構成比: 1.77% 労務構成比:

21.01% 材料構成比: 77.22%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

18,751.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.31%		バックホウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	5.09%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.62%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	4.43%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	1.42%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
管渠型側溝 呼び名300	76.30%		円形側溝 縦断用 内径250mm T-25		F0000000005 TTPT00375
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.68%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

鋼製側溝設置
ボルト固定 細目

V0041

単第0 -0008 表

H=90 L=600

100

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	3	人			
諸雑費	5	%			#01
鋼製側溝 普通舗装用、ボルト固定、細目 L=600、H=90	100	m			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	1.7	m3			単第0-0009 表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	10.0	m2			単第0-0010 表
基礎碎石 碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	22.0	m2			単第0-0011 表
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0009 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 29.40%

材料構成比: 70.60%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

28,051.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	13.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.51%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	70.60%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

型枠

SPK24040155

単第0 -0010 表

一般型枠

均しコンクリート

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,714.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	58.35%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	20.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.13%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=5 均しコンクリート		

施工単価表

頁0 -0034

基礎碎石

SPK24040034

単第0 -0011 表

碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.58% 労務構成比:

77.45%

材料構成比: 16.97%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,206.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	5.55%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	37.13%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.71%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	14.81%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	9.27%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	11.93%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

材料費
自由勾配側溝本体

V0030

単第0 -0015 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
自由勾配側溝 400*1400*1000 標準用	1	本			
自由勾配側溝 400*1400*2000 標準用	10	本			
自由勾配側溝 400*1400*2000 暗渠用	1	本			
自由勾配側溝 400*1500*2000 標準用	29	本			
自由勾配側溝 400*1500*2000 暗渠用	3	本			
自由勾配側溝 400*1600*1000 標準用	1	本			
自由勾配側溝 400*1600*2000 標準用	2	本			
自由勾配側溝 400*1600*2000 暗渠用	1	本			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

暗渠排水管

SPK24040092

単第0 -0020 表

据付 直管 50 ~ 150mm

硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径100mm

1

m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

43.69%

材料構成比:

56.31%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

690.65000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	31.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
薄肉管(VU)(JISK6741)PE 呼び径100(114×3.1)	56.31%		暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0402 TTPT00188
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=1 50 ~ 150mm G=1 -			B=1 直管 D=50 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径100mm I=1 -(全ての費用)		

施工単価表

暗渠排水管

SPK24040092

単第0 -0021 表

据付 直管 50 ~ 150mm

硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径125mm

1

m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

43.69%

材料構成比:

56.31%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

690.65000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	31.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
薄肉管(VU)(JISK6741)PE 呼び径125(140×4.1)	56.31%		暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0403 TTPT00188
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=1 50 ~ 150mm G=1 -			B=1 直管 D=51 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径125mm I=1 -(全ての費用)		

施工単価表

暗渠排水管

SPK24040092

単第0 -0022 表

据付 直管 200 ~ 400mm

硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径200mm

1

m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

12.99%

材料構成比: 87.01%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,643.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	9.26%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
薄肉管(VU)(JISK6741)PE 呼び径200(216×6.5)	87.01%		暗渠排水管 直管 呼び径300mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0405 TTPT00189
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=2 200 ~ 400mm G=1 -			B=1 直管 D=56 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径200mm I=1 -(全ての費用)		

施工単価表

暗渠排水管

SPK24040092

単第0 -0023 表

据付 直管 200 ~ 400mm

硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径400mm

1

m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

12.99%

材料構成比: 87.01%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,643.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	9.26%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
薄肉管(VU)(JIS K6741)PE 呼び径400(420×11.8)	87.01%		暗渠排水管 直管 呼び径300mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0409 TTPT00189
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=2 200 ~ 400mm G=1 -			B=1 直管 D=60 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径400mm I=1 -(全ての費用)		

施工単価表

暗渠排水管

SPK24040092

単第0 -0025 表

据付 直管 50 ~ 150mm

硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径150mm

1

m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

43.69%

材料構成比:

56.31%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

690.65000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	31.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
薄肉管(VU)(JISK6741)PE 呼び径150(165×5.1)	56.31%		暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0404 TTPT00188
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=1 50 ~ 150mm G=1 -			B=1 直管 D=52 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径150mm I=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0050

フィルター材
フィルター材(各種)

SPK24040093

単第0 -0026 表

1 m3 当り
標準単価: 5,627.40000

機械構成比: 7.33% 労務構成比: 63.76% 材料構成比: 28.91% 市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3	7.19%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3		MTPC00010 MTPT00010
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	29.78%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	15.40%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	12.60%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	4.74%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生砂	25.58%		再生クラッシャーラン RC-40		F0000000002 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.27%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0053

プレキャスト集水桝

SPK24040095

単第0 -0028 表

据付 基礎砕石有り

製品質量(kg/基)800kgを超え1200kg以下

1

基 当り

機械構成比: 8.43%

労務構成比:

89.80%

材料構成比:

1.77%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

11,181.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	6.80%		バックホウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	29.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	24.77%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	12.92%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	4.77%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0055

インバートコンクリート

SPK24040153

単第0 -0029 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79% 労務構成比:

35.68% 材料構成比: 60.53%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

33,754.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.10%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	58.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0057

基礎コンクリート

SPK24040153

単第0 -0030 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79%

労務構成比:

35.68%

材料構成比:

60.53%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

33,754.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.10%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	58.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

プレキャスト集水桝

SPK24040095

単第0 -0032 表

据付 基礎砕石有り

製品質量(kg/基)1600kgを超え2200kg以下

1

基 当り

機械構成比: 8.06%

労務構成比:

89.64%

材料構成比:

2.30%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

16,022.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.45m3(平積0.35)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	6.30%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.45m3吊2.9t		KTPC00005 KTPT00005
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	29.88%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	20.74%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	14.43%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	4.99%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

プレキャスト集水桝

SPK24040095

単第0 -0034 表

据付 基礎砕石有り

製品質量(kg/基)1200kgを超え1600kg以下

1

基 当り

機械構成比: 9.39%

労務構成比:

87.93%

材料構成比:

2.68%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

12,612.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.45m3(平積0.35)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	7.34%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.45m3吊2.9t		KTPC00005 KTPT00005
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	26.58%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	24.16%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	13.74%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	4.23%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0067

プレキャスト集水桝

SPK24040095

単第0 -0037 表

据付 基礎砕石有り

製品質量(kg/基)400kgを超え600kg以下

1

基 当り

機械構成比: 10.56%

労務構成比:

87.21%

材料構成比:

2.23%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

7,143.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	8.52%		バックホウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	31.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	23.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.13%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	3.73%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

型枠

SPK24040155

単第0 -0038 表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

9,352.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.19%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.57%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

下層路盤
全仕上り厚150mm 1層施工

SPK24040233

単第0 -0040 表

機械構成比: 5.62% 労務構成比:

RC-40

72.88%

材料構成比: 21.50%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価:

m2 当り

784.89000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	2.91%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.55%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	30.50%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	26.32%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	13.94%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	19.41%		再生クラッシャーラン RC-40 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPC00008 TTPT00352
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

下層路盤 SPK24040233 単第0 -0040 表 1
 全仕上り厚150mm 1層施工 RC-40 m2 当り
 機械構成比: 5.62% 労務構成比: 72.88% 材料構成比: 21.50% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 784.89000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=150 D=1 全仕上り厚(mm) -(全ての費用)			B=4 RC-40		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):150.000(mm)					

施工単価表

上層路盤
全仕上り厚100mm 1層施工

SPK24040235

単第0 -0041 表

機械構成比: 5.20% 労務構成比:

RM-30

67.43%

材料構成比: 27.37%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価:

m2 当り
848.39000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	2.69%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.36%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	28.22%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	24.35%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	12.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生粒度調整碎石 30~0mm	25.44%		再生粒度調整碎石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPC00010 TTPT00360
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

上層路盤
全仕上り厚100mm 1層施工

SPK24040235

単第0 -0041 表

機械構成比: 5.20% 労務構成比: 67.43% 材料構成比: 27.37% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m2 当り 848.39000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=1 RM-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0075

基層(車道・路肩部)

SPK24040239

単第0 -0042 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.48% 労務構成比:

46.95%

材料構成比: 52.57%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,570.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.26%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.15%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.77%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.87%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.49%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)	47.28%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00023 TTPT00281
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	5.04%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

基層(車道・路肩部)

SPK24040239

単第0 -0042 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.48% 労務構成比:

46.95%

材料構成比: 52.57%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,570.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.18%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=8 再生粗粒度アスコン(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0077

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第0 -0043 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚41mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.44% 労務構成比:

43.60%

材料構成比: 55.96%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,767.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.24%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.14%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.29%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	13.81%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.17%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	54.13%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	1.60%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第0 -0043 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚41mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.44% 労務構成比:

43.60%

材料構成比: 55.96%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,767.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.17%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=7 再生密粒度アスファルト混合物(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=41 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):41.000(mm)					

施工単価表

上層路盤(歩道部)

SPK24040235

単第0 -0044 表

全仕上り厚150mm 1層施工

路盤材(各種)

1

m2 当り

機械構成比: 5.20% 労務構成比:

67.43%

材料構成比: 27.37%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

848.39000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	2.69%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.36%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	28.22%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	24.35%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	12.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生砕石 RC-40	25.44%		再生粒度調整砕石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm		F0000000010 TTPT00360
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

上層路盤(歩道部)

SPK24040235

単第0 -0044 表

全仕上り厚150mm 1層施工

路盤材(各種)

1

m2 当り

機械構成比: 5.20% 労務構成比: 67.43%

材料構成比: 27.37%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

848.39000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=150 全仕上り厚(mm) C=10 【F】路盤材(m3)			B=4 路盤材(各種) D=1 -(全ての費用)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):150.000(mm)					

施工単価表

上層路盤(歩道部)

SPK24040235

単第0 -0045 表

全仕上り厚100mm 1層施工

路盤材(各種)

1

m2 当り

機械構成比: 5.20% 労務構成比:

67.43%

材料構成比: 27.37%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

848.39000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	2.69%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.36%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	28.22%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	24.35%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	12.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生砕石 RC-30	25.44%		再生粒度調整砕石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm		F000000011 TTPT00360
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

上層路盤(歩道部)

SPK24040235

単第0 -0045 表

全仕上り厚100mm 1層施工

路盤材(各種)

1

m2 当り

機械構成比: 5.20% 労務構成比: 67.43%

材料構成比: 27.37%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

848.39000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(mm) C=11 【F】路盤材(m3)			B=4 路盤材(各種) D=1 -(全ての費用)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0083

表層(歩道部)

SPK24040244

単第0 -0046 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.46% 労務構成比:

50.12%

材料構成比: 49.42%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,198.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.31%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.08%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.49%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	17.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.25%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	43.36%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPCD0038 TTPT00293
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	5.90%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

表層(歩道部)

SPK24040244

単第0 -0046 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.46% 労務構成比:

50.12%

材料構成比: 49.42%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,198.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.10%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0085

表層(歩道部)
平均幅員1.4m以上

SPK24040244

単第0 -0047 表

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 2.65% 労務構成比: 23.01%

材料構成比: 74.34%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,466.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
アスファルトフィニッシャー クローラ型 舗装幅1.4~3.0m	1.99%		アスファルトフィニッシャー クローラ型 舗装幅1.4~3.0m		MTPC00052 MTPT00052
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.38%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	8.67%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.80%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	4.00%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	2.08%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	65.08%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPCD0038 TTPT00293

施工単価表

表層(歩道部)
平均幅員1.4m以上

SPK24040244

単第0 -0047 表

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 2.65% 労務構成比: 23.01%

材料構成比: 74.34%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,466.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	8.85%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.37%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 平均幅員1.4m以上 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

平張コンクリート

SPK24040153

単第0 -0048 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 29.40%

材料構成比: 70.60%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

28,051.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	13.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.51%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	70.60%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=3 18-8-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

頁0 -0088

歩車道境界ブロック

SPK24040287

単第0 -0049 表

B種(180/205×250×600) 片斜両面R

設置 RC-40 養生工有り

1

m 当り

機械構成比: 1.90% 労務構成比:

61.42%

材料構成比: 36.68%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,355.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回小型バックホウ(クローラ) 山積0.09m3(平積0.07)吊能力0.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.58%		小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・クレーン機能付] 山積0.09m3(平積0.07m3)吊能力0.9t		KTPC00053 KTPT00053
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	0.32%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	20.29%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	16.79%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.38%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
型わく工	8.55%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
その他(労務)			その他(労務)		ER009
歩車道境界(JISA5371)B 180/205×250×600 片斜両面R,参考質量69kg	26.06%		歩車道境界ブロック B種(180/205×250×600)		TTPCH0036 TTPT00102
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	9.16%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003

施工単価表

頁0 -0091

歩車道境界ブロック
各種(600mm以下,50kg未満)

SPK24040287

単第0 -0051 表

設置 RC-40 養生工有り

1

m 当り

機械構成比: 0.34% 労務構成比:

67.92%

材料構成比: 31.74%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

7,103.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	0.34%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	25.89%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.56%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	12.18%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
型わく工	10.06%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
その他(労務)			その他(労務)		ER009
材料費非計上	21.25%		歩車道境界ブロック A種 150/170×200×600		F0000000012 TTPT00219
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	9.43%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
再生クラッシャーラン 40~0mm	0.75%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008

施工単価表

歩車道境界ブロック
各種(600mm以下,50kg未満)

SPK24040287

単第0 -0051 表

設置 RC-40 養生工有り

1

m 当り

機械構成比: 0.34% 労務構成比:

67.92%

材料構成比: 31.74%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

7,103.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.31%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999
A=1 設置 C=12 【F】ブロック(個) E=1 RC-40 G=2 養生工有り			B=13 各種(600mm以下,50kg未満) D=165 100m当りの使用量(個) F=2 18-8-40BB H=1 -		
【ブロック各種単価計算根拠】 0(円) * 165.000(個/100m) / 100(m)					

施工単価表

目地板

SPK24040122

単第0 -0053 表

1工事当り使用量30m2未満

瀝青繊維質目地板 t=10mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 63.93%

材料構成比: 36.07%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,855.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	47.13%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	16.49%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
目地板 瀝青繊維質板 厚10mm	36.07%		瀝青繊維質目地板 厚さ10mm		TTPC00199 TTPT00199
積算単価			積算単価		EP001
A=1 1工事当り使用量30m2未満			B=1 瀝青繊維質目地板 t=10mm		

施工単価表

暗渠排水管

SPK24040092

単第0 -0054 表

据付 直管 50 ~ 150mm

硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径75mm

1

m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

43.69%

材料構成比:

56.31%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

690.65000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	31.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
薄肉管(VU)(JISK6741)PE 呼び径75(89×2.7)	56.31%		暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0401 TTPT00188
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=1 50 ~ 150mm G=1 -			B=1 直管 D=49 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径75mm I=1 -(全ての費用)		

施工単価表

道路鋳(貼付式)
設置 両面反射 [規]10個以上30個未満

SS000091

単第0 -0055 表

1

個 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
道路鋳設置【材工共】 小型鋳(高さ=30mm以下)貼付式 樹脂製・両面反射(設置幅10cm)	1.000	個			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	個			
A=1 設置 C=2 [規]10個以上30個未満 F=1 -			B=1 両面反射 E=1 -		

施工単価表

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0057 表

小型構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

42.01%

材料構成比:

57.99%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

33,825.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	22.75%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.31%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.89%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	57.99%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

型枠

SPK24040155

単第0 -0058 表

一般型枠

小型構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,483.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	43.77%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	31.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.92%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

基礎碎石

SPK24040034

単第0 -0059 表

碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.27% 労務構成比:

73.08%

材料構成比: 21.65%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,278.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	5.24%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	35.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	14.83%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	13.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	16.89%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

舗装版切断

SPK24040306

単第0 -0062 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 13.36%

労務構成比:

49.56%

材料構成比: 37.08%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,222.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	9.09%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	16.98%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.17%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	7.58%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	33.48%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.45%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版切断

SPK24040306

単第0 -0063 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.42%

労務構成比:

57.13%

材料構成比: 27.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

673.26000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	10.49%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	23.29%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK24040018

単第0 -0064 表

機械構成比: 20.80% 労務構成比: 71.28% 材料構成比: 7.92% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,690.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.80%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.92%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

殻運搬

SPK24040151

単第0 -0067 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離18.5km以下(14.4km超)

1

m3 当り

機械構成比: 41.69% 労務構成比: 43.88%

材料構成比: 14.43% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,757.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=56 運搬距離18.5km以下(14.4km超)		

施工単価表

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比: 18.57% 労務構成比: 72.35%

SPK24040151

DID区間有り 運搬距離8.0km以下(6.5km超)

材料構成比: 9.08% 市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0068 表

1
標準単価:

m3 当り
6,038.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=35 運搬距離8.0km以下(6.5km超)		

施工単価表

現場発生品及び支給品積込み・荷卸し

SPK24040411

単第0 -0069 表

クレーン装置付BT2t級2.9t吊

1

t 当り

機械構成比: 13.52% 労務構成比: 83.62%

材料構成比: 2.86%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

9,082.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.52%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.39%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	40.83%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.86%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付BT2t級2.9t吊					

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬

SPK24040410

単第0 -0070 表

クレーン装置付BT2t級2.9t吊

片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)

1

t 当り

機械構成比: 13.58% 労務構成比:

83.54% 材料構成比: 2.88%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,604.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.58%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.54%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.00%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=5 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)			B=2 DID区間有り		

施工単価表

表層(歩道部)

SPK24040244

単第0 -0071 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.47% 労務構成比:

50.62%

材料構成比: 48.91%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,956.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.35%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.09%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	21.87%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	19.54%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.90%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	48.73%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPC00024 TTPT00293
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.12%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

施工単価表

表層(歩道部)

SPK24040244

単第0 -0071 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.47% 労務構成比: 50.62%

材料構成比: 48.91%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,956.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.05%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=7 再生密粒度アスコン(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=5 瀝青材料無し H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

施工単価表

積込運搬_道路除草

SPK24040357

単第0 -0078 表

ダンプトラック(オンロード・DE・2t積級)

ダンプトラック運搬19.5km以下(17.5km超)

1

m2 当り

機械構成比: 6.14% 労務構成比:

91.13%

材料構成比: 2.73%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

34.35500

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	6.14%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
普通作業員	69.58%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(一般)	20.86%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 D=1 ダンプトラック(オンロード・DE・2t積級) -(全ての費用)			B=5 ダンプトラック運搬19.5km以下(17.5km超)		

施工単価表

頁0 -0137

材料費
信号機設備

V0015

単第0 -0092 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
端子函（屋外用差込式） 4T	1	個			
端子函（屋外用差込式） 8T	1	個			
600V ^レ ニル絶縁電線（撚り線） 1V 2.0 SQ	4	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV 2.0-4C	5	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV-SSD 2.0-4C	28	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV-SSD 2.0-8C	25	m			
薄鋼電線管 19	3	m			
薄鋼電線管 31	4	m			
制御器接続チューブ MC-13 L450 31コネクター付	1	組			
エントランスキャップ 薄鋼 31	1	個			
パイプ留金物 KBP-25 (19～26.5)	2	個			
パイプ留金物 KBP-40 (33～42)	3	個			

本 工 事 費 内 訳 表

工事区分	工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	計上数量	合計	摘要
道路改良								
	道路土工							
		掘削工						
			掘削	砂質土	m3	9	9.4	計第1表
		残土処理						
			土砂等運搬	砂質土	m3	2	1.5	計第1表
			処分	砂質土	m3	2	1.5	計第1表
		仮置き土運搬						
			土砂等運搬	現場→仮置き場	m3	180	178.1	計第1表
			積込		m3	180	178.1	計第1表
			土砂等運搬	仮置き場→現場	m3	180	178.1	計第1表
	排水構造物工							
		作業土工						
			床掘	砂質土	m3	170	170.2	計第5表
			埋戻	砂質土	m3	130	132.8	計第5表
			基面整正	砂質土	m2	0	126.4	計第5表
			埋戻	RC-40	m3	30	34.5	計第5表
			碎石	RC-40	m3	40	41.4	計第5表
		側溝工						
			鋼製側溝	H90、L=600	m	7	6.5	計第5表
		管渠工						
			塩ビ管	VUΦ100	m	0.5	0.5	計第5表
			塩ビ管	VUΦ125	m	2	2.0	計第5表
			塩ビ管	VUΦ150, 砂基礎	m	6	6.3	計第5表
			塩ビ管	VUΦ200	m	0.5	0.5	計第5表
			塩ビ管	VUΦ400	m	0.5	0.5	計第5表
		集水柵工						
			1号プレキャスト集水柵	B600-L600-H1800(T-25)	箇所	1	1.0	計第5表
			2号プレキャスト集水柵	B700-L700-H2000(T-25)	箇所	1	1.0	計第5表
			3号プレキャスト集水柵	B700-L700-H1750(T-25)	箇所	1	1.0	計第5表
			4号プレキャスト集水柵	B600-L600-H1600(T-25)	箇所	1	1.0	計第5表
		街渠側溝						
			街渠側溝	B300	m	79	79.0	計第5表
			街渠側溝柵	B300, H500, L1000	箇所	3	3.0	計第5表
			街渠側溝柵	B300, H500, L1000、端部	箇所	2	2.0	計第5表

	舗装工							
		アスファルト舗装工						
		車道舗装	(5-5-10-15)					
			下層路盤	再生クラッシャーラン (RC-40) t=15cm (1.4m>W)	m2	52	52.4	計第27表
			上層路盤	粒度調整砕石RM-30 t=10cm (1.4m>W)	m2	53	53.0	計第27表
			基層	再生粗粒度アスコン t=5cm (1.4m>W)	m2	54	53.7	計第27表
			表層	再生密粒度アスコン 平均厚t=41mm (1.4m>W)	m2	78	78.4	計第27表
		歩道取付舗装	(5-10, 5-15)					
			路盤	再生クラッシャーラン (RC-40) t=15cm	m2	55	54.5	計第27表
			路盤	再生クラッシャーラン (RC-30) t=10cm	m2	116	115.9	計第27表
			表層	再生密粒度アスコン20 t=5cm (1.4m>W)	m2	17	17.2	計第27表
			表層	再生密粒度アスコン20 t=5cm (1.4m≤W)	m2	153	153.2	計第27表
		コンクリート舗装	(10-15)					
			路盤	再生クラッシャーラン (RC-40) t=15cm	m2	46	45.5	計第27表
			コンクリート	σ ck=18N/mm ² t=10cm	m3	5	4.6	計第27表
		平張コンクリート						
			コンクリート	σ ck=18N/mm ² t=7cm	m3	0.3	0.3	計第27表
	縁石工							
		縁石工						
			歩車道境界 ブロック	BB-F150, セミフラット	m	56	56.3	計第35表
			歩車道境界 ブロック	BB-F10, 福山市型 セミフラット	m	40	39.8	計第35表
	境界工							
		境界コンクリート	境界コンクリート	B=150, H=500	m	56	55.6	計第38表
	階段工							
		階段工	階段工	N=1:2.1, W=1.5m, L=0.6m	箇所	1	1.0	計第41表
	道路付属施設工							
		道路付属物工	反射式道路鏡	両面	個	11	11.0	計第44表
	伐木工							
		高木	伐採・伐根	平均高=4.5m	本	30	30.0	計第46表
			運搬		本	30	30.0	計第46表
		低木	伐採・伐根	平均高=1.0m	m2	167	167.1	計第46表
			運搬		m2	167	167.1	計第46表
		処分						
			処分	伐採木	m3	90	89.9	計第46表
		土工						
			埋戻し	砂質土	m3	30	27.5	計第46表
		舗装工						
			表層 (仮舗装)	再生密粒度アスコン13 t=3cm (1.4m>W)	m2	138	137.6	計第46表

土量配分表 単位(m³)

計第2表

発生土

細別	土質	地山立積			
掘削	砂質土	9.4			
床掘	砂質土	170.2			

合計 = 179.6

盛土

細別	盛土立積	地山立積
路床盛土		
路体盛土		
歩道盛土		
植樹帯盛土	27.5	
路外盛土		
埋戻	132.8	
合計	160.3	178.1

残土処理

土質	地山立積
砂質土	1.5

仮置き土 (現場→仮置き場、仮置き場→現場)

土質	地山立積
砂質土	178.1

工種別土量集計表

計第3表

工種	区分	種別又は土質	記号	単位	合計	摘要
土工	掘削	片切(砂質土)	C1(SF)	m ³	9.4	
排水工	床堀	砂質土	E(SF)	m ³	170.2	
	埋戻	砂質土	Fu	m ³	132.8	
		RC-40	Fu	m ³	34.5	

計第 4 表 [土工] 掘削 計算書										
測 点	距 離	掘削 C1(SF)								
		断 面	平 均	立 積	断 面	平 均	立 積	断 面	平 均	立 積
(左側)		0.1								
	6.5	0.1	0.10	0.7						
No. 0 + 12.0		0.1								
No. 1	8.0	0.1	0.10	0.8						
No. 2	20.0	0.1	0.10	2.0						
No. 3	20.0	0.1	0.10	2.0						
No. 4	20.0	0.1	0.10	2.0						
	19.2	0.1	0.10	1.9						
合 計	m 93.7			m3 9.4						

排水構造物工集計表

計第5表

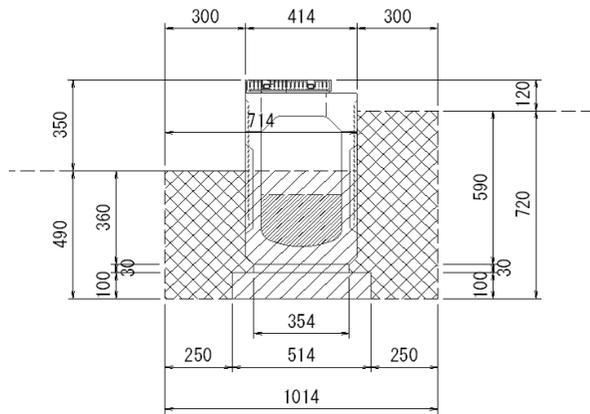
工種	種別	細別	規格	単位	合計	摘要
排水構造物工						
	作業土工					
		床掘	砂質土	m3	170.2	
		埋戻	砂質土	m3	132.8	
		基面整正	砂質土	m2	126.4	
		埋戻	RC-40	m3	34.5	
		碎石	RC-40	m3	41.4	*1.2
	側溝工					
		鋼製側溝	H90、L=600	m	6.5	
	管渠工					
		塩ビ管	VUΦ100	m	0.5	
		塩ビ管	VUΦ125	m	2.0	
		塩ビ管	VUΦ150, 砂基礎	m	6.3	
		塩ビ管	VUΦ200	m	0.5	
		塩ビ管	VUΦ400	m	0.5	
	集水柵工					
		1号プレキャスト集水柵		箇所	1.0	
		2号プレキャスト集水柵		箇所	1.0	
		3号プレキャスト集水柵		箇所	1.0	
		4号プレキャスト集水柵		箇所	1.0	
	街渠側溝					
		街渠側溝	B300, H300~400	m	79.0	
		街渠側溝柵	B300, H500, L1000	箇所	3.0	
		街渠側溝柵	B300, H500, L1000	箇所	2.0	端部
	自由勾配側溝					
		自由勾配側溝	1000kg以下	m	2.7	
		自由勾配側溝	1000kg超え2000kg以下	m	82.4	
		自由勾配側溝	2000kg超え2900kg未満	m	6.0	
	蓋版					
		Co蓋	歩道用 T-2	枚	42	
		Co蓋	車道用 T-25	枚	20	
		Gr蓋	歩道用 T-2	枚	15	
		Gr蓋	車道用 T-25	枚	7	

測 点	距離	床 掘 E(SF)			埋 戻 FuC(SF)			埋 戻 FuD(SF)			基面整正 K		
		断面	平均	立積	断面	平均	立積	断面	平均	立積	幅	平均	面積
(左側)---路肩側溝部													
街渠側溝 No. 4 + 1.0		0.7						0.2			0.5		
No. 4 + 14.0	13.0	0.7	0.70	9.1				0.2	0.20	2.6	0.5	0.50	6.5
街渠側溝柵 No. 4 + 14.5		土工図より		0.9						0.7			0.5
縁石		0.3						0.1			0.5		
No. 4 + 15付近	5.2	0.3	0.30	1.6				0.1	0.10	0.5	0.5	0.50	2.6
合 計				m3 170.2			m3 112.3			m3 20.5			m2 126.4

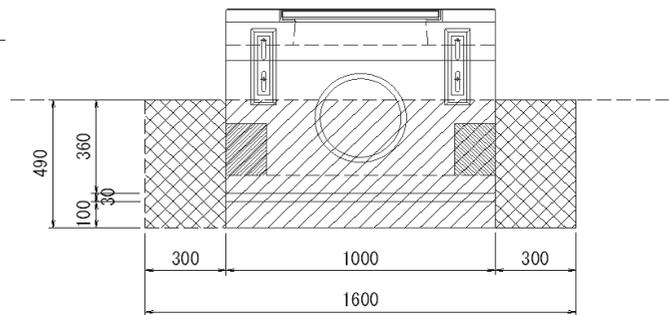
総計 Fu= 132.8

土 工 図

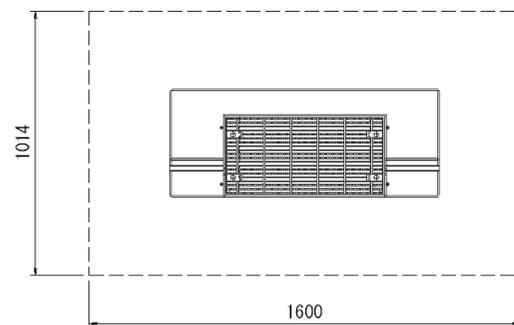
断面図



正面図



平面図

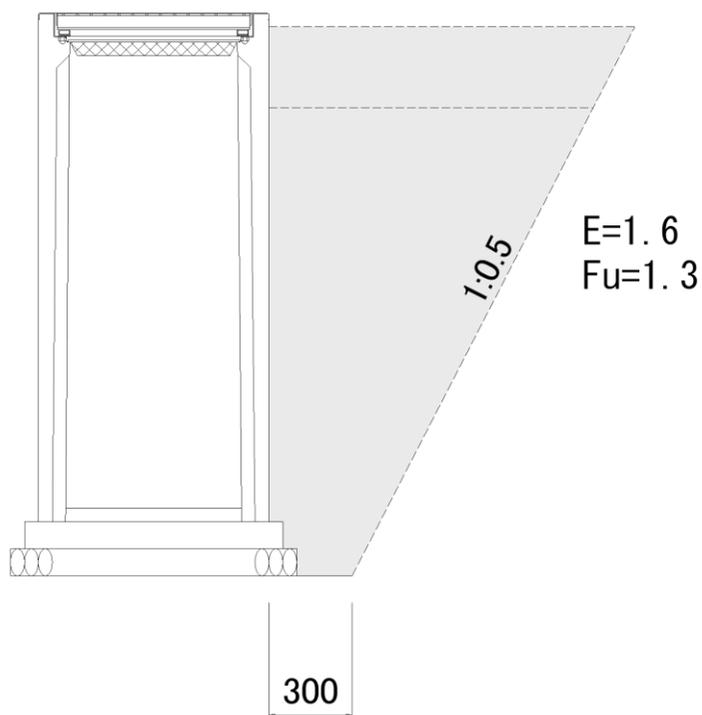


1箇所 当り

種 別	規 格	算 式	単 位	数 量
床 掘	砂質土	$V = (0.714 \times 0.490 + 0.300 \times 0.720) \times 1.600$ $= 0.905$	m ³	0.9
埋 戻	D (W1 < 1m, W2 < 1m)	$V = 0.905 - (0.514 \times 0.100 + 0.354 \times 0.030$ $+ 0.414 \times 0.360) \times 1.000$ $= 0.694$	m ³	0.7
基面整正	砂質土	$A = 0.540 \times 1.000 = 0.540$	m ²	0.5

土工図

NO.0+6.5 (左)

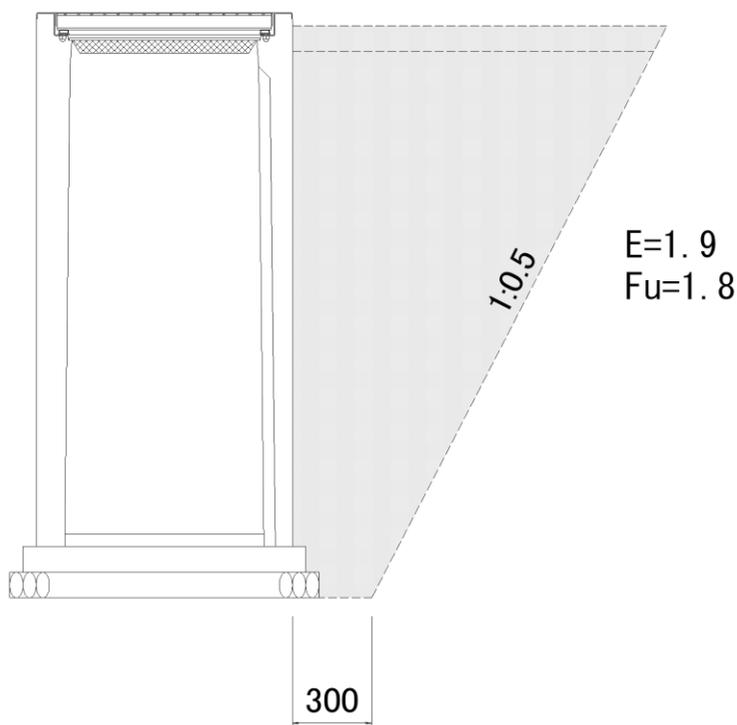


1箇所 当り

種 別	規 格	算 式	単 位	数 量
床 掘	砂質土	$V = 1.600 \times 0.830 = 1.328$	m^3	1.3
埋 戻		$V = 1.300 \times 0.830 = 1.079$	m^3	1.1
基面整正	砂質土	$A = 1.030 \times 1.030 = 1.061$	m^2	1.1

土工図

NO. 0+6.5(左)

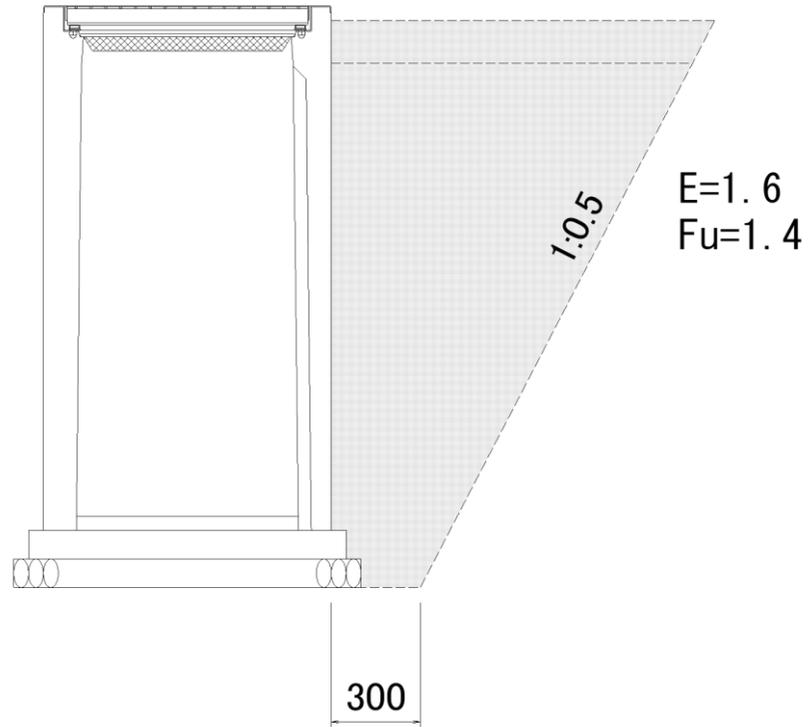


1箇所 当り

種 別	規 格	算 式	単 位	数 量
床 掘	砂質土	$V = 1.900 \times 0.970$ $= 1.843$	m ³	1.8
埋 戻		$V = 1.800 \times 0.970$ $= 1.746$	m ³	1.7
基面整正	砂質土	$A = 1.170 \times 1.170 = 1.369$	m ²	1.4

土工図

NO. 4+14. 3(左)

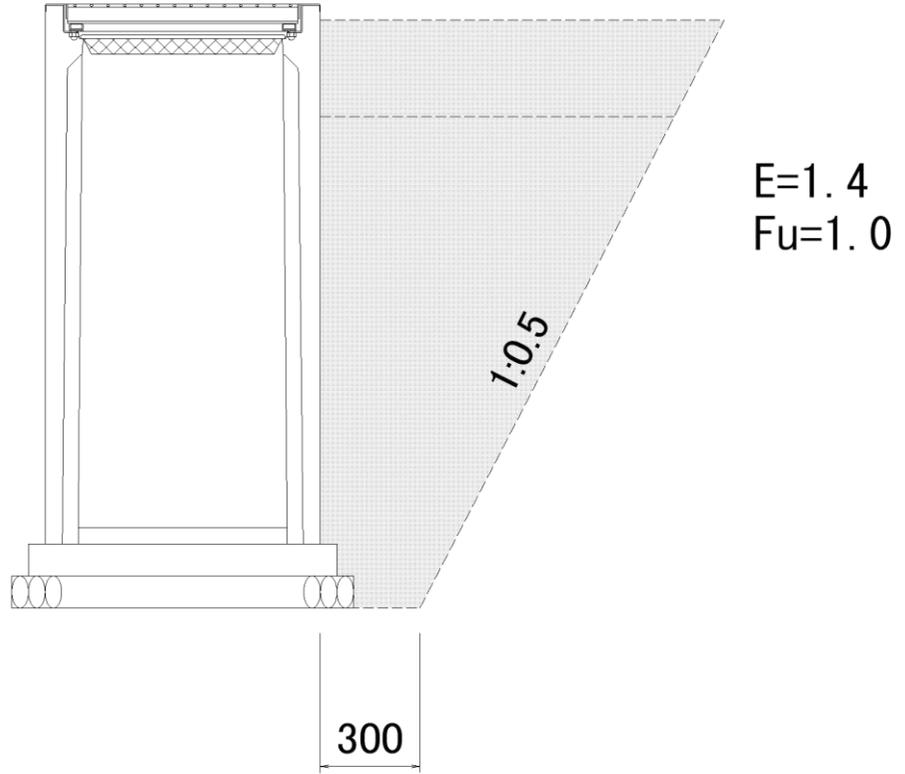


1箇所 当り

種 別	規 格	算 式	単 位	数 量
床 掘	砂質土	$V = 1.600 \times 0.970$ $= 1.552$	m ³	1.6
埋 戻		$V = 1.400 \times 0.970$ $= 1.358$	m ³	1.4
基面整正	砂質土	$A = 1.170 \times 1.170 = 1.369$	m ²	1.4

土工図

NO.4 +17.7(左)



1箇所 当り

種 別	規 格	算 式	単 位	数 量
床 掘	砂質土	$V= 1.400 \times 0.830$ $= 1.162$	m^3	1.2
埋 戻		$V= 1.000 \times 0.830$ $= 0.83$	m^3	0.8
基面整正	砂質土	$A= 1.030 \times 1.030 = 1.061$	m^2	1.1

計第 10 表		[排水構造物工]				側溝工 - 1 計 算 書			
測 点	PL5(A)		PL5(B)		鋼製側溝		左	右	
	左	右	左	右	左	右			
No. 0									
No. 0 + 12.00					6.5				
No. 1									
No. 2									
No. 3									
No. 4									
No. 5									
左右小計	m 0.0	m 0.0	m 0.0	m 0.0	m 6.5	m 0.0			
合 計		m 0.0		m 0.0		m 6.5			

計第 11 表 [排水構造物工] 街渠側溝 計 算 書							
測 点	街渠側溝		街渠側溝柵				
	左		左				
No. 0							
No. 0 + 12.00			1.0	端部			
No. 1	8.0						
No. 2	9.0		1.0				
No. 3	10.0						
No. 4	15.0		1.0				
No. 5	4.0						
No. 6	20.0						
No. 7	13.0		1.0	端部			
No. 8			1.0				
No. 9							
No. 10							
No. 11							
No. 12							
No. 13							
No. 14							
No. 15							
No. 16							
No. 17							
No. 18							
No. 19							
No. 20							
No. 21							
No. 22							
No. 23							
No. 24							
No. 25							
No. 26							
No. 27							
No. 28							
No. 29							
No. 30							
小計	m		箇所				
	79.0		5.0				
合計		m		箇所			
		79.0		5.0			

名称	サイズ・規格		数量	単位	参考重量	備考
スリム側溝SSF型(一体型) B=300	300	× 300	79	m	530kg/本	
スリム側溝SSF型(柵型) B=300	300	× 500	3	基	295kg	
スリム側溝SSF型(柵型) B=300	300	× 500	2	基	295kg	端部
グレーチング	T-25	300用	5	枚		細目
敷モルタル	C:S=1:3		0.89	m ³		
基礎碎石	t=100mm		43.18	m ²		

・ 敷モルタル

計 算 式				単位	数量	備考		
幅(m)	厚み(m)	延長(m)						
0.354	×	0.030	×	84.000	=	m ³	0.892	300×300
合 計				84.000		m ³	0.89	300×300

・ 基礎碎石 (t=100mm)

計 算 式				単位	数量	備考		
幅(m)	延長(m)							
0.514	×	84.000		=	m ²	43.176	300×300	
合 計				84.000		m ²	43.18	300×300

計第 13 表		[排水構造物工]				集水柵工				計 算 書			
測 点	G-B600-L600-H1500		G-B600-L600-H1600		G-B600-L600-H1800		G-B700-L700-H1600						
	左	右	左	右	左	右	左	右					
No. 0													
No. 0 + 12.00						1.0							
No. 1													
No. 2													
No. 3													
No. 4													
No. 5				1.0									
左右小計	箇所 0.0	箇所 0.0	箇所 1.0	箇所 0.0	箇所 1.0	箇所 0.0	箇所 0.0	箇所 0.0	箇所 0.0				
合 計		箇所 0.0		箇所 1.0		箇所 1.0		箇所 1.0	箇所 0.0				

計第 13-2 表		[排水構造物工]		集水樹工		計 算 書			
		G-B700-L700-H1750		G-B700-L700-H1800		G-B700-L700-H2000		G-B800-L800-H1700	
測 点		左	右	左	右	左	右	左	右
No. 0									
No. 0 + 12.00						1.0			
No. 1									
No. 2									
No. 3									
No. 4									
No. 5		1.0							
左右小計		箇所 1.0	箇所 0.0	箇所 0.0	箇所 0.0	箇所 1.0	箇所 0.0	箇所 0.0	箇所 0.0
合 計		箇所 1.0		箇所 0.0		箇所 1.0		箇所 0.0	

自由勾配側溝数量総括

計第16表

延長

左側	単位	①	②	③							合計
延長	m	4.267	82.87	3.987							91.12

材料

左側	規格	単位	①	②	③						合計
インバートコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m3	0.202	3.660	0.171						4.033

側溝

規格	長さ	タイプ	単位	左側						小計	合計	L=2.0m当り
				①	②	③						
400×1400	1000	標準	本			1				1	1	1t以下
	2000	標準	本		10					10	10	1t超え2t以下
	687/1196	暗渠	本			1				1	1	2t超え2.9t以下
400×1500	2000	標準	本		29					29	29	
	740	暗渠	本		1					1	1	
	1505/1042	暗渠	本	1						1	1	
	1398/997	暗渠	本			1				1	1	
	912/760	暗渠	本			1	L=2000をL=740とL=912/760で分割使用			0	0	
400×1600	1000	標準	本	1						1	1	
	2000	標準	本		2					2	2	
	1068/1285	暗渠	本	1						1	1	
	913/697	暗渠	本	1			L=2000をL=1068/1285とL=913/697で分割使用			0	0	

蓋

規格	長さ	タイプ	単位	左側						小計	合計
				①	②	③					
400	500	歩道用	枚		42					42	42
	500	車道用	枚		20					20	20

グレーチング

規格	長さ	タイプ	単位	左側						小計	合計
				①	②	③					
400	500	歩道用	枚	1	14					15	15
	500	車道用	枚		6	1				7	7

計第 17 表		[排水構造物工] 自由勾配側溝			計 算 書		
区間	自由勾配側溝(B400)						
	1000kg以下	1000kg超え2000kg以下	2000kg超え2900kg未満				
1区間	1.003		1.276		1.988		
3区間	1.003		2.984				
2区間	0.743		78.119		4.006		
合計	m 2.7		m 82.4		m 6.0		

①左区間 インバートコンクリート数量計算

計第18-2表

算式	(TL	+	TR)/2 ×	w	×	L	=	V1	m3
	(0.126	+	0.078)/2 ×	0.400	×	1.276	=	0.052	m3
	(0.178	+	0.097)/2 ×	0.400	×	2.183	=	0.120	m3
	(0.097	+	0.091)/2 ×	0.400	×	0.808	=	0.030	m3

合計 0.202 m3

②左区間 インバートコンクリート数量計算

計第18-4表

算式	TL	+	TR) / 2 ×	w	×	L	=	V1	m3
(0.120	+	0.137) / 2 ×	0.400	×	1.138	=	0.058	m3
(0.137	+	0.166) / 2 ×	0.400	×	2.868	=	0.174	m3
(0.066	+	0.078) / 2 ×	0.400	×	1.132	=	0.033	m3
(0.078	+	0.112) / 2 ×	0.400	×	4.000	=	0.152	m3
(0.112	+	0.145) / 2 ×	0.400	×	5.000	=	0.257	m3
(0.145	+	0.153) / 2 ×	0.400	×	1.886	=	0.112	m3
(0.053	+	0.063) / 2 ×	0.400	×	2.114	=	0.049	m3
(0.063	+	0.066) / 2 ×	0.400	×	1.000	=	0.026	m3
(0.066	+	0.077) / 2 ×	0.400	×	5.000	=	0.143	m3
(0.077	+	0.077) / 2 ×	0.400	×	5.000	=	0.154	m3
(0.077	+	0.067) / 2 ×	0.400	×	4.914	=	0.142	m3
(0.067	+	0.067) / 2 ×	0.400	×	0.086	=	0.002	m3
(0.067	+	0.061) / 2 ×	0.400	×	1.474	=	0.038	m3
(0.061	+	0.059) / 2 ×	0.400	×	0.443	=	0.011	m3
(0.159	+	0.146) / 2 ×	0.400	×	3.083	=	0.188	m3
(0.146	+	0.129) / 2 ×	0.400	×	4.474	=	0.246	m3
(0.129	+	0.128) / 2 ×	0.400	×	0.455	=	0.023	m3
(0.128	+	0.128) / 2 ×	0.400	×	0.071	=	0.004	m3
(0.128	+	0.118) / 2 ×	0.400	×	5.000	=	0.246	m3
(0.118	+	0.108) / 2 ×	0.400	×	5.000	=	0.226	m3
(0.108	+	0.108) / 2 ×	0.400	×	3.346	=	0.145	m3
(0.108	+	0.107) / 2 ×	0.400	×	0.604	=	0.026	m3
(0.107	+	0.105) / 2 ×	0.400	×	1.650	=	0.070	m3
(0.105	+	0.106) / 2 ×	0.400	×	4.400	=	0.186	m3
(0.106	+	0.115) / 2 ×	0.400	×	4.600	=	0.203	m3
(0.115	+	0.115) / 2 ×	0.400	×	0.400	=	0.018	m3
(0.115	+	0.117) / 2 ×	0.400	×	0.969	=	0.045	m3
(0.117	+	0.124) / 2 ×	0.400	×	3.031	=	0.146	m3
(0.124	+	0.126) / 2 ×	0.400	×	0.975	=	0.049	m3
(0.126	+	0.128) / 2 ×	0.400	×	1.025	=	0.052	m3
(0.128	+	0.134) / 2 ×	0.400	×	2.000	=	0.105	m3
(0.134	+	0.155) / 2 ×	0.400	×	5.730	=	0.331	m3

合計 **3.660** **m3**

③左区間 自由勾配側溝 寸法表

計第18-5表

種別	延長 L (m)	製品規格 w×h	幅(m)			インバート高さ(m)		基礎コン高 (m) T2
			製品 B	基礎コン B1	基礎砕石B2	左側 TL	右側 TR	
標準	1.200	400 × 1500	0.610	0.710	0.810	0.155	0.118	0.060
標準	0.839	400 × 1500	0.610	0.710	0.810	0.152	0.052	0.060
標準	1.948	400 × 1400	0.610	0.710	0.810	0.052	0.130	0.060
合計	3.987							

③左区間 インバートコンクリート数量計算

計第18-6表

算式										
(TL	+	TR)/2 ×	w	×	L	=	V1	m3
(0.155	+	0.118)/2 ×	0.400	×	1.200	=	0.066	m3
(0.152	+	0.052)/2 ×	0.400	×	0.839	=	0.034	m3
(0.052	+	0.130)/2 ×	0.400	×	1.948	=	0.071	m3

合計 0.171 m3

構造物撤去工集計表

計第19表

工種	種別	細別	規格	単位	合計	摘要
構造物撤去工						
	構造物取壊工	コンクリート	無筋構造物	m3	70.5	
		アスファルト		m2	201.0	
	舗装版切断	コンクリート	t≤15cm	m	5.7	
		アスファルト	t≤15cm	m	96.3	
	運搬処理工					
		殻運搬	コンクリート	m3	70.5	
			アスファルト	m3	7.3	
		殻処分	コンクリート	t	165.7	2.35(t/m3)
			アスファルト	t	16.4	
	撤去工					
		ガードパイプ	H=1.1	m	11.8	
		グレーチング蓋	40kg/枚以下	枚	2.0	
		グレーチング蓋	40kg/枚超え170kg以下	枚	69.0	
	現場発生品					
		発生品積込		t	4.572	0.145+4.388+0.039
		発生品運搬		t	4.572	
		スクラップ処分		t	4.572	

計第 24 表 [取壊撤去工] 舗装版破碎 (アスファルト) 計算書										
測 点	距 離	C(As3)			t=3cm			幅 員	平 均	面 積
		幅 員	平 均	面 積	幅 員	平 均	面 積			
(左側)										
		0.0								
No. 0 + 12.0	5.2	2.4	1.20	6.2						
No. 1	8.0	1.6	2.00	16.0						
No. 2	20.0	2.2	1.90	38.0						
No. 3	20.0	1.5	1.85	37.0						
No. 4	20.0	2.4	1.95	39.0						
	15.4	2.4	2.40	37.0						
	2.0	0.0	1.20	2.4						
小 計	m 90.6	m2 175.6								
		t= 3cm V= 175.6×0.03=			m3 5.3					
合計		A= 175.6 V= 5.3								

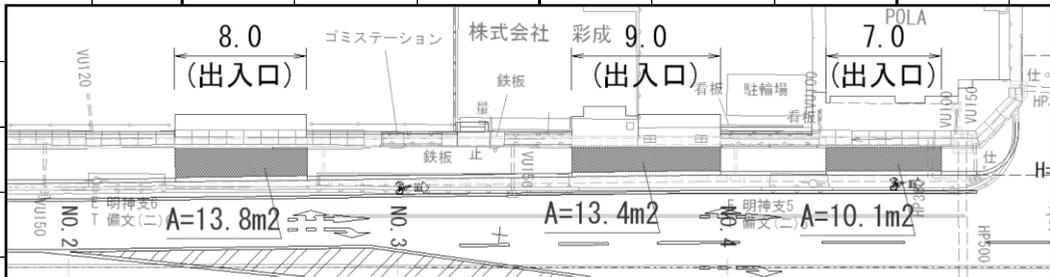
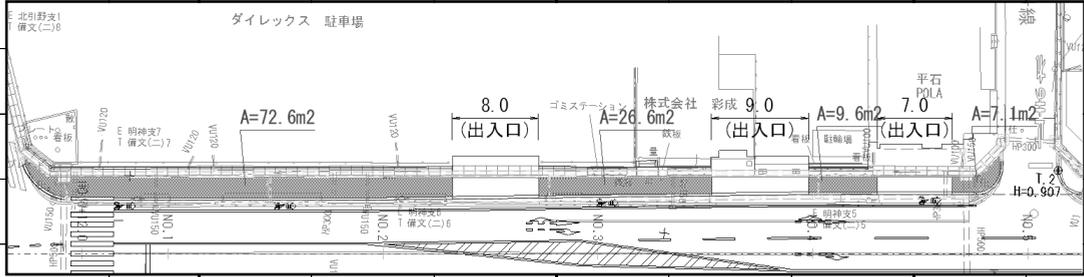
計第 26 表 [取壊撤去工] ガードパイプ(H=1.1) 延長調書					
(左 側)			(右 側)		
測 点	延長	摘 要	測 点	延長	摘 要
No. 3 + 0.47 ~ No. 3 + 2.53	2.0	参考重量 12.3kg/m			
No. 3 + 6.50 ~ No. 3 + 10.49	4.0				
No. 3 + 19.70 ~ No. 4 + 5.48	5.8				
左側計	m 11.8		右側計	m 0.0	
合計	m 11.8	t 0.145			

計第 26-2 表		[取壊撤去工]		グレーチング		枚数調書	
(左側 40kg超/枚)			(左側 40kg以下/枚)				
測点	枚	摘要	測点	枚	摘要		
No. 0 ~ No. 3	55.0	参考重量 63.6kg/枚					
			No. 3 ~ No. 4	2.0	参考重量 19.7kg/枚		
No. 4 ~ No. 5	14.0	参考重量 63.6kg/枚					
左側計	69.0	t 4.388	左側計	2.0	t 0.039		

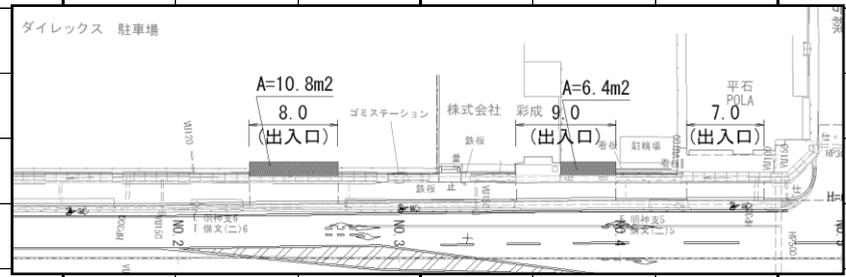
計第 30 表 [舗装工] 歩道舗装 (5-10) 計算書

測点	距離	(1.4m>W)		W8	(1.4m ≤ W ≤ 3.0m)		W8	幅員	平均	面積
		幅員	平均	面積	幅員	平均	面積			
(左側)										
平面図より				10.8			72.6			
				6.4			26.6			
							9.6			
							7.1			
							13.8			
							13.4			
							10.1			

(1.4m ≤ W ≤ 3.0m)



(1.4m>W)

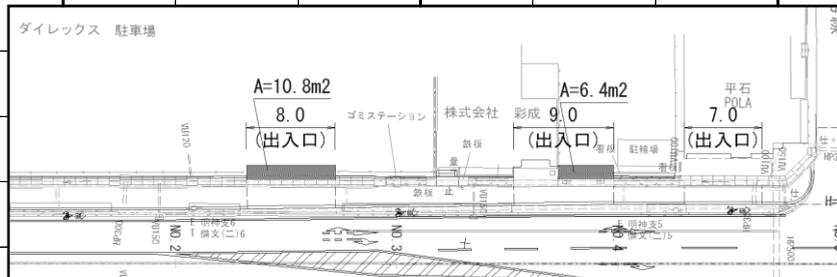


左側計	m		m ²	17.2		m ²	153.2			
合計			m ²	17.2		m ²	153.2			

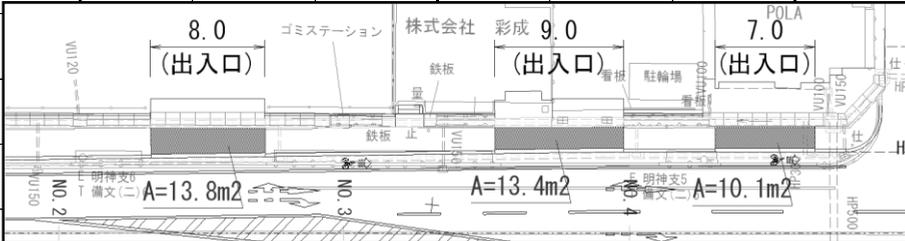
計第 32 表 [舗装工] 歩道および取付舗装-2 (5-15) 計算書

測 点	距 離	(1.4m>W)		W10	(1.4m ≤ W ≤ 3.0m)		W10	幅 員	平 均	面 積
		幅 員	平 均	面 積	幅 員	平 均	面 積			
(左側)										
平面図より				10.8			13.8			
				6.4			13.4			
							10.1			

(1.4m>W)



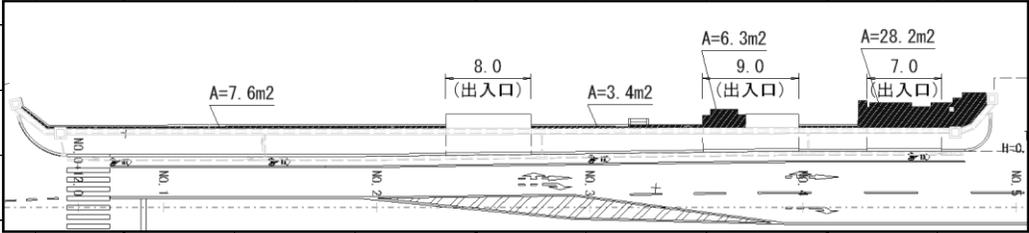
(1.4m ≤ W ≤ 3.0m)



左側計	m			m²			m²			
				17.2			37.3			
合 計							m²			54.5

計第 33 表 [舗装工] コンクリート舗装 (10-15) 計算書

測 点	距 離	コンクリート		路盤		W14				
		幅 員	平 均	面 積	幅 員	平 均	面 積	幅 員	平 均	面 積
(左側)										
平面図より				7.6			7.6			
				3.4			3.4			
				6.3			6.3			
				28.2			28.2			



左側計	m		m ² 45.5			m ² 45.5				
左右合計			m ² 45.5			m ² 45.5				

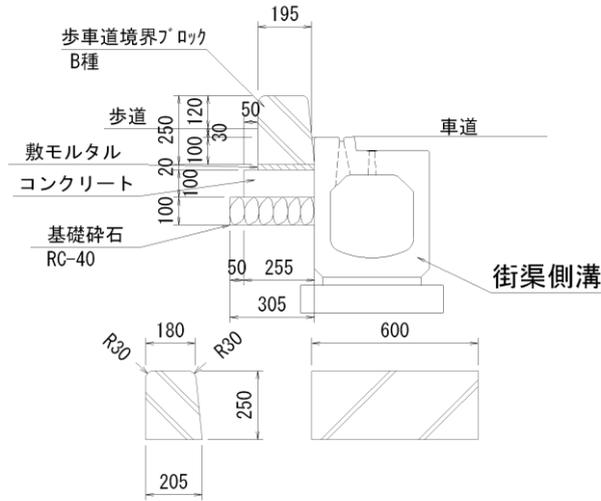
計第 34 表

[舗装工] 平張コンクリート

計算書

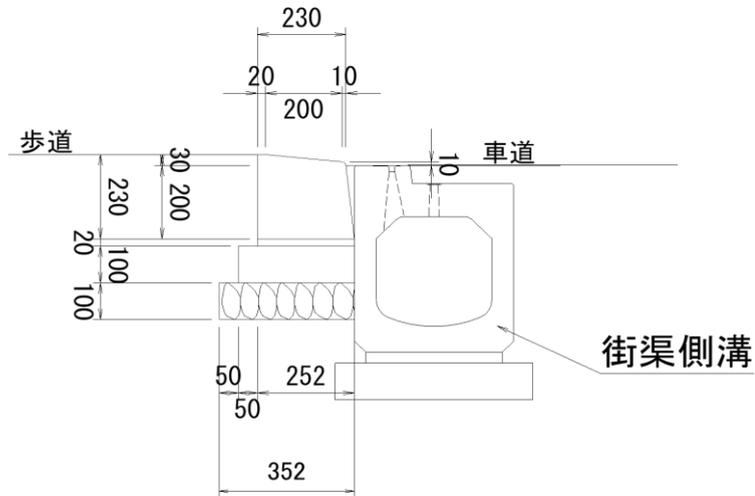
測 点	距 離	コンクリート W15		t=7cm							
		幅 員	平 均	面 積	幅 員	平 均	面 積	幅 員	平 均	面 積	
(左側)											
		0.05									
No. 0 + 12.00	6.6	0.05	0.05	0.3							
No. 1	8.0	0.05	0.05	0.4							
No. 2	20.0	0.07	0.06	1.2							
	6.5	0.07	0.07	0.5							
		0.11									
No. 3	5.5	0.11	0.11	0.6							
	3.5	0.11	0.11	0.4							
		0.07									
No. 4	0.4	0.07	0.07	0.0							
	5.1	0.07	0.07	0.4							
左側計	m 55.6				m2 3.8						
左右合計					3.8						

構造図 S=1:20



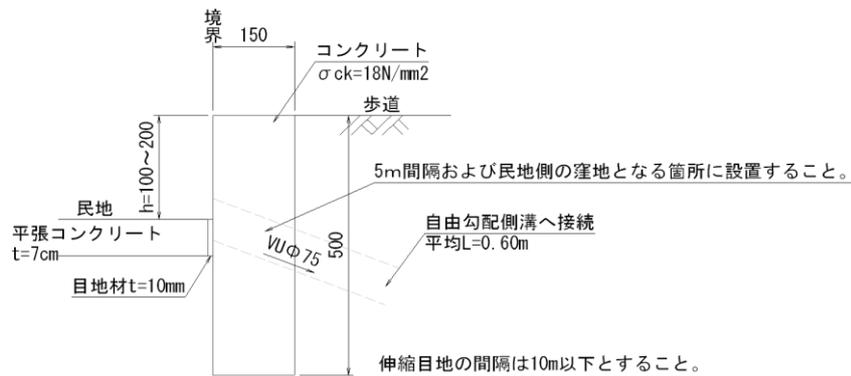
種 別	規 格	算 式	単 位	数 量
歩車道境界 ブロック	B種両面R	$10.00 \div 0.605$	個	16.5
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N}/\text{mm}^2$	$0.255 \times 0.100 \times 10$	m^3	0.255
型 枠	無筋構造物	0.100×10.00	m^3	1.000
基礎砕石	RC-40 t=10cm	0.305×10.0 $0.305 \times 10.0 \times 0.100$	m^2 m^3	3.050 0.305
敷モルタル	1 : 3 高炉B	$0.205 \times 0.020 \times 10$	m^3	0.041

構造図 S=1:20



種 別	規 格	算 式	単 位	数 量
ブロック	福山市型	$10.00 \div 0.605$	個	16.5
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$0.302 \times 0.100 \times 10.0$	m^3	0.302
均しコン型枠	無筋構造物	0.100×10.0	m^3	1.000
基礎碎石	RC-40 t=10cm	0.352×10.0	m^2	3.520
		$0.352 \times 10.0 \times 0.100$	m^3	0.352
敷モルタル	1 : 3 高炉B	$0.252 \times 0.020 \times 10.0$	m^3	0.050

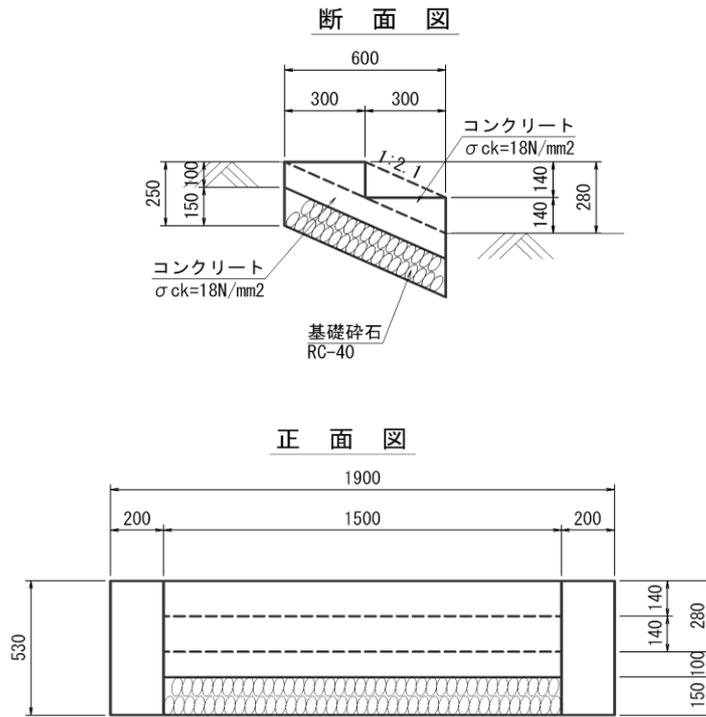
構造図



種 別	規 格	算 式	単 位	数 量
コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	断面積 0.150 × 0.500 = 0.075 V= 0.075 × 10.00	m ³	0.750
型 枠		A= (0.500 + 0.500) × 10.00	m ²	10.000
目地材	t=10mm	A= 0.07 × 10.0 + 0.150 × 0.500	m ²	0.775
塩ビ管	VUΦ75	L= 10.0 ÷ 5.0 × 0.60	m	1.200

N=1:2.1, W=1.5m

構 造 図 (NO. 3+4.5左側)



種 別	規 格	算 式	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	地覆部 $V = ((0.250+0.530)/2 \times 0.6 - 0.300 \times 0.140/2) \times 0.400 = 0.085$ 蹴上がり部 $V = (0.300 \times 0.140/2 \times 2 + 0.100 \times 0.600) \times 1.500 = 0.153$ <hr/> 合 計 = 0.238	m^3	0.238
型 枠		地覆部 $A = ((0.250+0.530)/2 \times 0.6 - 0.300 \times 0.140/2) \times 4 + (0.250+0.390) \times 0.200 \times 2 = 1.108$ 底版部端部 $A = 0.100 \times 1.500 \times 2 = 0.300$ 蹴上がり部 $A = (0.140+0.140) \times 1.500 = 0.420$ <hr/> 合 計 = 1.828	m^2	1.828
基礎碎石	RC-40 (t=150mm)	$A = 0.600 \times 1.500 = 0.900$	m^2	0.900

内 訳 書

計算第49表

工事件名：自転車通行空間整備工事（南蔵王南手城幹線・7-1）

購入	品 名	規 格	数量	単位	備考
	東部陸橋南交差点				
	機器材料				
	車両用灯器	横三位 L=2.0	1.0	灯	再利用
	超音波式車両感知器	1車線用 L=4.0m	1.0	基	再利用
○	端子函（屋外用差込式）	4T	1.0	個	
○	端子函（屋外用差込式）	8T	1.0	個	
○	600Vビニル絶縁電線（撚り線）	IV 2.0 SQ	4.0	m	
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV 2.0-4C	5.0	m	
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-4C	28.0	m	
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-8C	25.0	m	
○	薄銅電線管	19	3.0	m	
○	薄銅電線管	31	4.0	m	
○	制御器接続チューブ	MC-13 L450 31コネクタ付	1.0	組	
○	エントランスキャップ	31	1.0	個	
○	パイプ留金物	KBP-25 (19~26.5)	2.0	個	
○	パイプ留金物	KBP-40 (33~42)	3.0	個	
○	自在バンド	IBT-208	5.0	個	
○	車両用灯器用アーム取付バンド	TSWBD-CP25/φ250-φ310	1.0	組	
○	車両感知機用取付バンド	TSABD-CP25	1.0	組	
○	接地棒	丸型 E-B3φ10×1000	1.0	本	